

令和6年度 社会福祉法人なでしこ会 事業報告書

《 基本理念 》

明るく誰もが温もりを感じ、夢のある生活の実現

社会福祉法人なでしこ会は、地域住民の自主的な福祉活動、保健活動等のための場を提供し、誰もが日常的に相互に支えあい、住み慣れたところで安心して自立した生活が続けられる地域社会の実現に寄与して参りました。

《 経営基本方針 》

3S（スリーエス）

SMILE（スマイル）	笑顔にあふれたアットホームなサービスを提供します。
SPACE（スペース）	快適な環境作りに努めます。
SERVICE（サービス）	利用者の立場になって生活を支援します。

《 経営施設・実施事業 》

・法人本部

横浜市市営住宅等生活援助員派遣事業

・特別養護老人ホーム夢の里（介護保険指定事業所番号 1470600121）

介護老人福祉施設 短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護

横浜市高齢者食事サービス事業

・横浜市岩崎地域ケアプラザ（介護保険指定事業所番号 1470600063・1490600019）

通所介護事業・介護予防通所介護 居宅介護支援事業

介護予防支援事業 地域包括支援事業

地域活動・交流事業 生活支援体制整備事業

・横浜市常盤台地域ケアプラザ（介護保険指定事業所番号 1470601400・1490600085・1490600093）

通所介護事業・介護予防通所介護 認知症対応型通所介護

居宅介護支援事業 介護予防支援

地域包括支援事業 地域活動・交流事業

生活支援体制整備事業

・横浜市保土ヶ谷地域ケアプラザ（介護保険事業指定事業所番号 1470602812・1400600076）

居宅介護支援事業 介護予防支援

地域包括支援事業 地域活動・交流事業

生活支援体制整備事業

以上の基本理念、経営基本方針をもって、下記のことを推進していきます。

記

事業項目

1) 利用者へのサービス提供

自立と主体性を尊重し、利用者本位のサービスを目指しました。

集団生活という生活環境の中で、利用者一人ひとりの生活づくりに努めました。

役職員をはじめ、家族、親近者等が協同のパートナーとして利用者の援助に取り組みました。

利用者の心身両面の維持向上のため、必要な援助を絶えず追及していきました。

安全に継続的にサービス提供がなされるよう万が一に備え、日常的な防災予防を図るとともに、定期的な訓練等の実施により、防災対策に万全を期して参りました。

社会福祉施設の一つの重要な役割として、人材育成の観点から実習生や中学校の総合学習の一環としての介護体験、高校におけるインターシップ等の受け入れを実施して参りました。また見学者やボランティアにつきましても、引き続き積極的に受け入れて参りました。

2) 地域福祉の推進

子供から高齢者まで、地域福祉の多様なニーズに応えられるよう総合福祉施設の機能を充実させ、子育て支援や在宅高齢者福祉の推進及び福祉教育等、地域福祉の拠点としての役割に努めました。

隣接法人である学校法人聖ヶ丘学園には、付属育和幼稚園及びひかりの風保育園が開園されております。新型コロナウイルス予防により園児や学生との日常的な交流はありませんが、今後も法人が経営、運営する施設及び事業を積極的に活用して頂けるようにしてまいります。

施設、各種学校、地元自治会、民生委員、児童委員協議会、地区社会福祉協議会、老人クラブ及び各種学校等との交流を深めることに努めました。

災害非常時には災害弱者などに対する地域の緊急避難場所としての役割を果たせるよう、体制及び非常災害用備蓄を整えて参りました。

3) 法令・規程規則等の遵守

役職員は社会福祉法人として求められている「社会的責任」「社会貢献」を自覚し、専門職として職務倫理を身につけ、法律及び関係法令等並びに法人定款、規程を理解しつつ遵守し、社会規範を尊重して日常の業務を適正に遂行して参りました。

中長期計画

令和6年度より第3期中期計画(令和6年度～令和11年度の5年間)について、第1期及び第2期のビジョン・内容等は大きく変更されておりましたが、将来への課題として人材確保及び育成について重点的に実施して参ります。長期計画(財務状況の安定化及び施設の修繕計画長期計画)においても、安定的な経営、黒字化に向けて人材確保及び育成は必要不可欠な事項と位置づけております。令和6年度から第2期長期計画(令和6年度～令和16年度)となりますが、第1期長期計画で達成できなかった黒字化と修繕・設備入替計画の見直し等を行ってまいります。

中長期計画を策定するうえでの考え方

法人理念に基づき、

【誰もが】 ご利用者・地域・職員のすべて

【明るく・温もりを感じて生活できる】 にはどうするのか

項目	ビジョン	中期計画	長期計画
ご利用者様 地 域	サービスの充実と サービス水準の向上	満足感のあるサービスを提供 家族・地域住民の方が気楽に来所できる施設として、その地域のニーズに基づいた特色をつくる。 利用者に合った施設・設備の提供 職員スキルの向上	
職 員	職員満足度の向上 サービス水準の向上	働き甲斐のある環境整備 ・安定した経営、組織、運営 ・多様な働き方への対応 ・現有施設のリフォーム ・安定した職員の確保 組織 ・組織体制と役割分担の明確化 ・定期的な人事異動の実施 ・情報の開示 ・法令、規則遵守の推進 個人情報保護の意識向上の取組 資質向上の機会の確保 ・研修計画の策定 研修体制の整備、実施 ・法人、施設内外の研修参加の推奨 ・人事考課制度の実施 制度設計	
事 業	新規事業の展開	随時検討	
資金計画	事業収入目標 6 億円 最終収支差額目標 収入の3 %以上	余剰金を本部へ集約、資金の一元管理・確保し、余剰資金の効果的な利用を図る。(社会福祉充実残高への対応) 介護報酬改定されても事業収入6億円を確保するような事業の運営・展開及び・拡大を行う。 年間1,000万円を現有施設のリフォームへ	

夢の里修繕計画実施状況

1) 設備更新

	設置年月	概算見積額	期間	備 考
ボイラー	開所時	8,880,000 円	中	
エレベーター	"	25,000,000 円	長	
自動ドア	"	850,000 円	長	
ナースコール	"	5,600,000 円	長	
冷暖房設備(旧)	"	11,000,000 円	中	H29～30 年度 実施済
クーリングタワー撤去	"	3,850,000 円	長	
業務用洗濯脱水機	平成7年9月	2,200,000 円	長	R03 年度 実施済
業務用乾燥機	平成6年7月	2,200,000 円	長	R02 年度 実施済
機械浴槽	開所時	8,800,000 円	短	H28 年度 実施済
自家発電機(非常用)	"	7,480,000 円	長	
合 計		75,860,000 円		

2) リフォーム

	設置年月	概算見積額	期間	備 考
2Fリフォーム	開所時	30,855,000 円	中	
内) クロス張替		6,435,000 円		
内) Pタイル張替		3,300,000 円		
内) 天井張替		2,970,000 円		
内) ベッド入替		18,150,000 円		
LED改修工事	開所時	8,000,000 円	短	令和元年度 実施済
合 計		38,855,000 円		

3) 外観

	設置年月	概算見積額	期間	備 考
外壁躯体・タイル	開所時	12,412,000 円	中	横浜市補助事業対象予定 (防水は除く) 仮設・監督費・諸経費 込み
シーリング工事	"	7,900,000 円		
鉄部・外壁塗装	"	9,000,000 円		
防水	H20年6月	15,188,000 円		
合 計		44,500,000 円		

修繕計画 合計 159,215,000 円

内) 実施済 実額 22,636,280 円

修繕計画残額 127,015,000 円

役職員報告

役職員の資質向上のため、自己啓発を促して行く事はもとより、各種研究会、研修会へ積極的に参加していくこととしておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、法人内外の研修会の中止や研修会参加の自粛をしましてまいりました。新しい研修体制として、オンライン研修への参加申込を推奨していくとともに、感染予防を念頭に置きながら、研修体制の構築を下半期も図って参ります。

1) 理事・監事・顧問

定 数	理事 6 名以上 7 名以下	監事 2 名
任 期	令和 7 年 6 月	定時評議員会まで
理 事 長	佐瀬 一裕	
常務理事	町田 貴宏	
理 事	関 寛	瀬戸 謙一 古城 高之 亀山 貢
監 事	荻原 信吾	山本 みや子
顧 問	石井 和男	
開催実績	5 月 2 0 日	監事監査（令和 5 年度事業報告、決算報告）
	2 9 日	事業報告、決算報告 等
	8 月 2 8 日	令和 6 年第 1 四半期収支報告について 等
	1 1 月 1 3 日	令和 6 年度上半期事業報告 等
	3 月 2 6 日	令和 7 年度当初予算（案）等 決議の省略

2) 評議員

定 数	7 名以上 8 名以下
任 期	令和 1 0 年 6 月 定時評議員会まで
評 議 員	浅野 高嶺 荒川 朱美 石川 源七 内田 伸子 橋本 文伸 原 正子
開催実績	6 月 2 5 日（定時） 事業報告、決算報告 等
	1 1 月 2 6 日 令和 6 年度上半期事業報告 等

3) 評議員選任・解任委員会

定 数	3 名
任 期	令和 8 年 6 月 定時委員会まで
委 員 長	山口 和秀 : 委 員 小川 浩之、荻原 信吾（監事兼務）
開催実績	6 月 2 5 日

4) 理事長及び常務理事 業務執行状況報告

社会福祉法第 4 5 条の 1 6 第 3 項の規定に基づき、理事長及び常務理事の自己の職務の執行状況について、下記のとおり報告いたします。

- 1 報告期間 令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月
- 2 会議・打ち合わせ（上記理事会・評議員会・評議員選任・解任委員会以外）
本部会議（参加者：理事長、常務理事、理事）
令和 6 年 4 月 1 0 日 令和 6 年度組織体制
2 4 日 令和 6 年 3 月分実績報告、収支報告
5 月 8 日 評議員選任状況報告 等
6 月 1 2 日 人事考課評価分布、充実残高算定報告 等
8 月 1 4 日 経営指標自己診断チェックシート、給与規程改訂 等

	9月11日	労働基準監督署臨検報告、認知デイ取扱見直しについて	等
	25日	令和6年8月分実績報告、収支報告	
10月	9日	人事考課制度について	等
	23日	令和6年9月分実績報告	等
12月	11日	人事考課について	等
	25日	令和6年11月分実績報告、収支報告	等
令和7年	1月8日	岩崎CP指定管理者公募について	等
	22日	令和6年12月分実績報告、収支報告	等
	2月12日	岩崎CP指定管理者公募申請について	等
	26日	令和7年1月分実績報告、収支報告	等
	3月11日	令和7年度当初予算(案)について	等
その他			
令和6年	4月22日	特別養護老人ホーム夢の里	全体職員会議
	26日	横浜市常盤台地域ケアプラザ	全体職員会議
	5月22日	横浜市保土ヶ谷地域ケアプラザ	全体職員会議
	6月19日	横浜市保土ヶ谷地域ケアプラザ	運営協議会
	24日	横浜市福祉事業経営者会	定時総会
	26日	横浜市常盤台地域ケアプラザ	運営協議会
		横浜市常盤台コミュニティハウス	運営委員会
	7月2日	神奈川労働局報告徴収	
	17日	横浜市岩崎地域ケアプラザ	運営協議会(理事長欠席)
	9月3日	横浜市岩崎地域ケアプラザ	横浜西労働基準監督署臨検
	10月30日	横浜市常盤台地域ケアプラザ	運営協議会
		横浜市常盤台コミュニティハウス	運営委員会
	11月14日	横浜市社会福祉大会	
	18日	特別養護老人ホーム夢の里	横浜市実地指導監査
	27日	横浜市岩崎地域ケアプラザ	全体職員会議
	12月4日	神奈川県社協	理事長研修
令和7年	1月11日	保土ヶ谷区賀詞交歓会	
	15日	横浜市保土ヶ谷地域ケアプラザ	運営協議会
	16日	横浜市岩崎地域ケアプラザ	指定管理者公募説明会
	18日	常盤台地区賀詞交歓会	
	24日	横浜市保土ヶ谷地域ケアプラザ	横浜市実地指導監査
	2月19日	横浜市岩崎地域ケアプラザ	運営協議会
	3月26日	横浜市岩崎地域ケアプラザ	全体職員会議(理事長欠席)

3 会計

寄附金の受入

夢の里 故職員ご家族様 車いす1台(100,000円)

4 提出物等

4月 令和6年度介護職員等処遇改善加算申請

5月 確定申告(消費税)

6月 現況報告書及び社会福祉充実残額の算定

経済構造実態調査（産業横断調査）

7月 高齢者雇用状況及び障害者雇用状況報告書
令和5年度介護職員等処遇改善加算実績報告
公益法人等の損益計算書等の提出
健康保険組合及び年金機構 算定基礎届

10月 令和7・8年度横浜市入札参加資格申請

令和6年度財務実績

1) 目標

法人全体の収支状況の改善

2) 改修・修繕実績

3) 固定資産及びリース物品購入実績

防災カーテン（常盤台C P）リース契約 単独随意（継続）1,056,000円

防災カーテン（夢の里）リース契約 見積合わせ 4,080,000円

4) 建設時借入金償還状況

建 物	横浜市常盤台地域ケアプラザ				
借 入 先	独）福祉医療機構 借入年月日 （平成21年12月18日）		社福）横浜市社会福祉協議会 借入年月日 （平成21年9月4日）		合 計
内 訳	元 金	利 子	元 金	利 子	
貸付金額	20,000 千円	3,320 千円	40,000 千円	-----	63,320 千円
償還済額	14,000 千円	2,984 千円	28,000 千円	-----	44,984 千円
当期予定額	1,000 千円	96 千円	2,000 千円	-----	3,096 千円
残 額	5,000 千円	240 千円	10,000 千円	-----	15,240 千円
令和6年度 返 済 額	1,000 千円 内）補助額 750 千円 内）法人負担額 250 千円	96 千円 内）補助額 96 千円 内）法人負担額 0 千円	2,000 千円 内）補助額 1,500 千円 内）法人負担額 500 千円	-----	3,096 千円 内）補助額 2,346 千円 内）法人負担額 750 千円

法人事務局

平成26年度から各施設より独立した役割・機能、事務手続きの集約を進めております。また、夢の里の事務所兼務や生活援助員派遣事業、高齢者食事サービス事業など、多岐に渡り多くの業務を行っております。

令和5年4月から横浜市保土ヶ谷地域ケアプラザが開所し、拠点数が4拠点となったことで増える業務に対応するため、事務業務の効率化や業務見直しを行いました。

1) 重点項目

給与システムの入替について

現状のクライアント方式で1社、クラウド方式で3社と、金額面・安全性等を含めシステム検討を進めております。

2) 実施・担当事業

横浜市生活援助員派遣事業

高齢者自らが望む生活を実現するために、生活援助員の役割である 1.居住形態に配慮しながら、居住者のニーズに対し適切な機関につなげるコーディネート 2.関係機関・専門職、地域コミュニティとの連携。3.日常的に行う安否の確認・緊急対応 を行いながら、各住宅につき週2回づつ派遣し、居住者の状態像や住宅形態に応じて居住継続のサポートを行いました。

また、新型コロナウイルスの対応について、昨年度に引き続き援助員の体調に充分気をつけ、保健衛生物品（マスク・アルコール消毒液）が不足しないよう各相談室へ配布を行いつつ、事業を継続して参りました。ただし、安否確認時の自宅への訪問については、極力インターホン越しに声かけを行うなど、緊急時以外において援助員と入居者様の接触を控えるよう配慮し事業を行いました。令和6年度も引き続き制度改正によるワクチン接種にかかる相談が数多く寄せられたため、横浜市からのワクチン情報を法人にて印刷し各住戸へその都度配布し、また、電話及びインターネットを使った予約申込みのサポートを行いました。

住宅名	3月末世帯数	要介護状態	新入居 退 去	安否確認 延べ件数	相談 延べ件数
岩崎町住宅 対象戸数 27戸	二人世帯 3戸 単身世帯 22戸	要支援 1名 要介護 3名	2名 1名	1,231件	81件
ミカーサ横浜 対象戸数 21戸	二人世帯 2戸 単身世帯 16戸	要支援 4名 要介護 4名	1名 2名	781件	77件
シャイニング 横浜 対象戸数 36戸	二人世帯 2戸 単身世帯 29戸	要支援 3名 要介護 7名	4名 2名	1,289件	110件
ライブリー さくら 対象戸数 18個	二人世帯 1戸 単身世帯 14戸	要支援 1名 要介護 3名	1名 2名	693件	36件
桜ヶ丘 グリーンハイツ 対象戸数 30戸	二人世帯 5戸 単身世帯 21戸	要支援 4名 要介護 4名	4名	1,282件	56件

以 上

令和6年度 特別養護老人ホーム夢の里 事業報告書

・実施事業

- ・介護老人福祉施設 定員 57名 (平成31年3月1日より50名より変更)
- ・短期入所生活介護事業 定員 8名 (平成31年3月1日より15名より変更)
- ・高齢者食事サービス事業 (横浜市委託事業)

・令和6年度事業報告

1. 総括

(1) 特養・短期入所の稼働率実績

令和6年度の稼働率といたしましては、91.1%・59.24名(特養93.4%・53.27名 短期入所74.7%・5.98名)となり、目標稼働率98.5%・64名(特養99%・56.5名 短期入所93.3%・7.5名)を大幅に下回る結果となりました。

昨年度3回の新型コロナウイルスへの感染、内2回は感染が拡大しクラスター対応となりました。蔓延予防対策のため感染者も含めご利用者の隔離対応により体調不良、体力低下となり複数名の方が入院することとなりました。この期間中は、感染予防の為ご利用者(特養・短期入所)の受入を停止していたことも有り厳しい運営状況となりました。

特養の入退所につきましては、20名の退所と15名の入所となりました、入所調整の遅れ調査済み待機者の保留・辞退にともない満床での運営が厳しい状況となりました。

次年度は、より入所者の確保が厳しくなると想定されることから、特養の申込確認後ただちに入所希望者を確保するためにスムーズな入所案内、調整が出来るよう早急に連絡調整を行ってまいります。また、医療処置の必要な入所者が多くなり入院者が増加傾向にある為、日頃よりご利用者様の健康管理観察を職員全体で行い、安心した生活が送れるよう対応してまいります。

短期入所につきましては、3回の新型コロナウイルスへの感染により受入停止したことが影響し、稼働実績が低下いたしました。本入所を希望されている方に短期入所のご案内させていただき稼働率を改善いたしました。来年度も新規の登録者を増やす為に、本入所の入所調査時に短期入所のご案内と居宅介護支援事業所への空床情報の提供を継続するとともに、緊急の依頼にも積極的に受け入れを行ってまいります。

(2) 感染症(新型コロナウイルス・インフルエンザ)等に関する対応

令和5年5月より新型コロナウイルス感染症は5類へ移行しましたが、感染の報告は日々継続し定期的に流行の波も発生しております。夢の里では、「高齢者施設における感染症対策マニュアル改訂版」に基づき感染予防に努めるとともに、全職員出勤時・業者来所時の体温確認、手指消毒、マスク着用の推進、健康チェックを行い感染症持込予防対策を継続実施いたしました。

__今年度は3回の新型コロナウイルスへの罹患があり、原因究明の為感染経路を検証いたしました。1回目は短期入所のご利用者からの感染が濃厚、2・3回目について感染経路は不明確でしたが職員及び面会時の可能性が考えられました。感染拡大の経路はご利用者間での会話や食事席ではないかと検証いたしました。職員も感染拡大させる可能性がある為に再度、感染予防対策・手指消毒の啓蒙と、体調不良時の申告がしやすい環境作りを行ってまいります。

1回目 令和6年7月7日より7月26日までの19日間 保健所連絡 クラスター対応
25名(ご利用者様20名 職員5名)

2回目 令和6年8月2日より8月10日までの9日間

3名(ご利用者様3名 職員 発症無)

3回目 令和7年3月19日より4月4日までの19日間 保健所連絡 クラスター対応

32名(ご利用者様28名 職員4名)

3回の合計 感染者数 60名(ご利用者様 51名 職員9名) 隔離期間47日間

施設協力医・保土ヶ谷区保健所の指導の下、蔓延防止対策を実施するとともに、職員はかなり
厳しい勤務体制となりましたが一丸となり必要なサービス提供を維持することが出来ました。

(3) 新規加算の取得

新規 科学的介護推進体制加算(LIFE)の算定すべく準備中です。

(4) 介護職員の人材確保と資質向上

利用者の受入窓口である相談員を今年は1名体制にて対応することといたしましたが、職員の異動により利用調整が滞り施設の利用率が低下した現状もあることから、次年度は複数名体制を整えられるよう調整いたします。

介護職員については契約職員を数名採用出来ましたがまだ介護職員不足の解消にいたっておりません、今後も介護職員不足を解消する為に継続的な求人(学校求人・ハローワーク・新聞折込・電子媒体など)・紹介・派遣会社を活用してまいります。

職員の資質向上を目的にした研修につきましては、昨年度同様に新型コロナウイルスの流行による感染予防対策として外部研修への参加を見合わせました。内部研修についても多数職員が参加となるため中止いたしました。研修による自己啓発も必要となるため下半期につきましては、ウェーブ研修を実施、外部研修については、ウェーブにて開催される研修は参加出来るよう体勢を構築してまいります。

2. 行事等活動報告

(1) 主な行事計画

安全で楽しく、またご家族様にも一緒に楽しんでいただける行事を計画いたしましたが、本年度は新型コロナウイルス感染予防のため、誕生会・敬老会以外の行事は中止と致しました。その為、季節ごとの行事を少しでも感じて頂けるよう、行事食を提供させていただきました。

4月 誕生会(17日)・

5月 八十八夜(1日)・菖蒲湯(345日)端午の節句(5日)・誕生会(15日)

6月 誕生会(19日)

7月 七夕(7日)・誕生会(17日)・土曜の丑(24日)

8月 誕生会(21日)・夏祭り献立(18日)

9月 敬老祝賀会(16日)・誕生会(18日)

10月 運動会(13日)・誕生会(16日)

11月 常盤台北部自治会合同防災訓練中止・誕生会(20日)

12月 誕生会&餅つき(18日)・クリスマス会(24日)・ゆず湯(19~21日)

1月 新年祝賀会(1日)・七草粥(7日)・鏡開き、お汁粉(11日)・誕生会(15日)

2月 節分(2日)・誕生会(19日)

3月 ひな祭り(3日)・誕生会(19日)

(2) クラブ活動

昨年度は新型コロナウイルス感染予防のため活動を休止いたしました。今年度は一部再開いたしました。

書道クラブ・1回(8月) 生け花クラブ・行事で使用する花を活けていただきました
(3) 地域交流及びボランティア

本年度は新型コロナウイルス感染予防のため、ボランティア活動は中止といたしました。

< 聖ヶ丘学園 >

聖ヶ丘教育福祉専門学校専攻科の廃止に伴い実習は中止となりました。

学生のボランティア活動は受け入れてまいりますが、新型コロナウイルス感染予防のため中止といたしました。

< 育和幼稚園 >

11月の交流会はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染予防のため中止といたしました。

< ひかりの風保育園 >

例年は、散歩の途中で窓越しに手を振り合うなどの交流を行ってまいりましたが、本年度もインフルエンザ・新型コロナウイルス感染予防のため交流はありませんでした。

< 中学校体験学習 >

本年度は新型コロナウイルス感染予防のため中止となりました。

< 大学生教員免許取得の為の実習受入 >

本年度は新型コロナウイルス感染予防のため受入を中止といたしました。

< 横浜市新任職員福祉活動実習受入 >

本年度は新型コロナウイルス感染予防のため横浜市より依頼の辞退がありました。

< ボランティアの受け入れ >

本年度はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染予防のため受入を中止といたしました。

< 夏休みボランティア体験(ちょいボラ) >

本年度は新型コロナウイルス感染予防のため受入を中止といたしました。

< 介護相談員派遣事業受け入れ >

毎年、区役所より派遣された介護相談員2名により、入居されている方・ご家族様からサービスに関する疑問・不満等を聴取していただき、施設との橋渡しを行って頂いておりましたが新型コロナウイルス等の感染予防のため活動を休止しております。

< 家族会 >

新型コロナウイルス感染予防のため中止といたしました。

役員会については2回開催し近況報告を行いました。

< 部屋貸し >

新型コロナウイルス感染予防のため中止といたしました。

3. 医務

(1) 健康管理

ご利用者様の個々のニーズに的確に関わる看護を目指し、嘱託医と協力し、介護度が改善・安定できるような看護を目指すため、以下の取り組みを行いました。

- 1 看護と介護の連携を密に協力し、24時間態勢にて生活の援助に努めました。
- 2 体調の変化に常に重点をおき、急変時のバイタル測定、主治医への報告、処方薬の服薬介助などの的確な対応をいたしました。
- 3 必要時の受診の対応、援助をいたしました。
- 4 6月の老人健診は新型コロナウイルス感染症予防対策を行い実施いたしました。

- 5 体調の変化の目安とするため、毎月体重測定と毎週血圧の測定を行いました。
- 6 10月から11月にご利用者様及び職員へインフルエンザの予防接種を行いました。
- 7 新型コロナウイルスワクチン接種を行いました。6回目(6月)・7回目(11月)

(2) 感染症・食中毒防止

1年を通じて、感染症や食中毒の予防及び万一の発生時には蔓延の防止に取り組みました。

新型コロナウイルス感染症に関しましては、3回の感染(令和6年7月・8月・令和7年3月)が有り、47日間の隔離と のべ60名の感染者が発生いたしました。施設協力医・保土ヶ谷区保健所の指導の下、蔓延防止対策を実施するとともに、職員はかなり厳しい勤務体制となりましたが職員一丸となり必要なサービス提供を維持することが出来ました。

1 インフルエンザ対策

ご利用者様及び職員に対して嘱託医と協力し、10月にご利用者様・職員に予防接種を実施いたしました。また、11月より手洗い、うがい等の啓蒙、施設入り口には来所者用のマスクとアルコール消毒液を常備し予防策の援助を行いました。また、職員の出勤時に体温測定を実施し体調チェック表への記入をする事により自己の体調管理及び啓発を行いました。

10月～3月の期間は、全居室での加湿器の使用と、カウンター前の加湿器及びインフルエンザ感染者専用部屋の加湿器には塩素系の消毒液を入れ対応いたしました。

インフルエンザまん延予防対策として、施設内でインフルエンザ罹患者が確認された場合は、ご利用者様及び職員に対して予防薬を7日間服用することと継続いたしました。

職員の同居家族で罹患者が発生した場合も、施設内への蔓延予防対策として予防薬を実施いたしました。

2 ノロウイルス対策

看護、介護、栄養士及び調理師がお互いに協力し、ノロウイルスの発生が多い10月～3月まで、使用した食器を塩素消毒する等の予防対策を実施しました。また、万一嘔吐や下痢、発熱などの症状のあるご利用者様がでた場合のために、汚物処理の方法や施設内の消毒方法などの研修を全職員対象に実施し、まん延予防対策の徹底も図りました。

3 新型コロナウイルス対策

令和5年5月より新型コロナウイルス感染症は5類へ移行しましたが、当施設は高齢者施設としての対応が求められており、「高齢者施設における感染症対策マニュアル改訂版」に基づき感染予防に努めるとともに、令和2年2月より実施中の、全職員出勤時・出入業者来所時の体温確認、手指消毒、マスク着用の推進、健康チェックを行い感染症持込予防対策を継続実施いたしました。

感染症対策で使用する物品(マスク・グローブ・消毒用アルコール・ガウン)は通常時より在庫を増やし感染症対策が行なえるよう対応しています

ご利用者様への対応として、1)熱発者は施設協力医の判断により検査(抗原検査・PCR検査等)を迅速に実施 2)短期入所ご利用者様より新型コロナウイルスの施設へ持ち込みがないよう、入所前の検温体調確認の協力依頼等の対応をいたしました。

面会・施設見学につきましては、事前予約制とし1Fロビーにて実施しております。感染予防対策として居住スペースへの立ち入りについては、現在でもご遠慮いただいております。

新型コロナウイルス感染症は、現在でも一定数の感染者が発生しています、今後も行政からの通知を確認しながら感染予防対策を検討してまいります。

(3) 褥瘡対策

褥瘡はご利用者様にとって身体的、精神的にとっても負担の大きいものです。褥瘡ゼロを目指し嘱託医、看護、介護、栄養士及び調理師がお互いに協力し褥瘡予防を積極的に取り組みました。また、数件ですが褥瘡の発症・初期状態の発赤・表皮剥離の発症がありましたが、主治医との連携のもと、体位交換皮膚の清潔保持や栄養管理などの確な処置により早期治癒いたしました。全利用者様を3グループに分け3月に一回調査を行い多職種で状況確認を行いました。

(4) ADL向上に向けて

嚥下体操、口腔ケア、リハビリなど個人にあったケアを取り入れて継続的に実施いたしました。

昼食前またはおやつの前後に、身体機能の維持を目的に看護師を中心に実施いたしました。

(5) 感染症・食中毒施設内研修実績

令和6年7月7日 新型コロナウイルス・ノロ対応蔓延予防等研修 ・ 実技研修
コロナ発症時に職員に周知するために実施いたしました。

(6) 横浜市民間特別養護老人ホーム医療対応促進助成の活用

助成の対象となる医療依存度の高い方の入所受入を継続しサービス提供を行ってまいります。

4. 厨房

(1) 食事管理

ご利用者様の個々の状態に合わせた食事の形態や適正なカロリー、栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、美味しく安全な食事を提供いたしました。

嚥下困難な方へのトロミ剤の使用方法及び適正な濃度について統一濃度で提供できる体制を整え職員への周知を行い、ご利用者様に合わせたトロミ形態で提供を行いました。

(2) 行事食

その月の行事や季節の催し物に因んだ行事食や月1回の誕生会の昼食を行事食とし美味しくまた、見た目にも楽しめる食事を提供いたしました。

(3) クラブ活動

クラブ活動(料理クラブ)を通じて、その季節の催し物にあったおやつをご利用者自身が作るにより、季節感と食との繋がりを大事にして参ります。

お楽しみクラブでは、鍋パーティーや鉄板焼きなど普段の食事とは異なる食事を提供していくとともに、利用者自身が自分で作って食べることでできるメニューを検討して参ります。

(4) 経口維持加算の算定

摂食機能障害のあるご利用者様が、自分の口からの安全に食事の摂取が維持できるよう多職種が連携して経口維持計画書を作成し支援をいたしました。

(5) 栄養ケア計画の継続実施

ご利用者様が、自分の口からの食事摂取・栄養状態の改善できるよう多職種が連携して栄養ケア計画を作成し支援をいたしました。

5. 横浜市高齢者食事サービス事業

食事サービス事業を通して、居宅生活者の安全と安心を見守り、併せて、食生活の改善を促進し健康な生活をサポートいたしました。令和6年度実績は前年度と比べ910食の増加、1日平均では18.3個(前年度15.8個 1日平均+2.5個)となりました。

令和6年度の新規ご利用者様は11名、中止となった方は16名と中止された方の人数が多いですが、スポット利用を積極的に受け入れていった結果、前年度より配達個数が増加いたしました。

令和7年4月より横浜市の助成制度が廃止となる影響で、2月から3月にかけて前倒しで中止となる方が増えましたが、事業の継続と今後の事業方針を引き続き検討していきます。

令和6年度配達実施地域

保土ヶ谷区：常盤台、峰沢町、岡沢町、鎌谷町、宮田町、岩間町、西久保町（ＪＲ線以北のみ）
神戸町、天王町、川辺町、和田町、釜台町、上星川町、峰岡町、星川町、桜ヶ丘
月見台、霞台、帷子町、岩崎町 明神台

神奈川区：羽沢南

横浜市常盤台地域ケアプラザ：通所介護ご利用者様向け お持ち帰り弁当（令和5年6月開始）

6. 防災・防火

1 利用者・職員及び地元自治会の人命安全、被害防止のため防災計画・地元自治会との防災協定及び特定避難場所の協定に基づいた非常災害対策の適切な実施を今後も継続してまいります。

- ・非常災害時の緊急連絡網、関係機関への通報及び連携体制構築の確認。

- ・職員に対する防災計画及び連絡体制の周知。

- ・消防設備点検 依頼業者により年2回 4月・10月に実施いたしました。

自主点検は年2回 7月・1月に担当職員にて実施いたしました。

- ・新任（現任）職員対象に消防計画の説明及び消火設備・放水訓練を実施いたしました。

- ・避難訓練を年2回実施いたしました。

6月26日 昼間想定 通報・消火・避難誘導訓練・新任職員研修

3月10日 夜間想定 地震対応・通報・消火・避難誘導訓練・新任職員研修

常盤台北部自治会合同防災訓練は新型コロナ感染予防の為に中止いたしました。

- ・非常食の備蓄 900食（100名×3食×3日分）

夢の里利用者分として65名分の非常食3日分備蓄しています。

夢の里職員分として15名分の非常食3日分備蓄しています。

特定避難場所として20名分の非常食3日分備蓄しています。

- ・消防署 査察関係

消防・警防査察 本年度実施無し

2 火災対策として、以下の火災予防策・防火安全体制の再確認、指導の徹底をして参ります。

- ・喫煙等の火気管理の徹底。

- ・暖房機器や厨房機器等の火気使用設備・器具の管理。

- ・階段、通路などの避難経路及び防火戸、防火区画の管理。

- ・寝具・布張り家具（ソファ等）に防火性能及び着火防止性能を有する製品の使用。

. 令和6年度稼働実績

施設サービス稼働実績

単位：人 稼働率：%

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特 養	定員		1,710	1,767	1,710	1,767	1,767	1,710	1,767	1,710	1,767	1,767	1,596	1,767
	利 用 人 数	延べ	1,685	1,731	1,653	1,727	1,658	1,576	1,616	1,585	1,618	1,579	1,437	1,577
		空床 利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合 計		1,685	1,731	1,653	1,727	1,658	1,576	1,616	1,585	1,618	1,579	1,437	1,577
	稼働率		98.5	98.0	96.7	97.7	93.8	92.2	91.5	92.7	91.6	89.4	90.0	89.2
	日平均		56.17	55.84	55.10	55.71	53.48	52.53	52.13	52.83	52.19	50.94	51.32	50.87
短 期	定 員		240	248	240	248	248	240	248	240	248	248	224	248
	利 用 人 数	延べ	221	235	201	148	166	144	144	159	176	228	178	182
		予防	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		自費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合 計		221	235	201	148	166	144	144	159	176	228	178	182
	稼働率		92.1	94.8	83.8	59.7	66.9	60.0	58.1	66.3	71.0	91.9	84.8	73.4
日平均		7.37	7.58	6.70	4.77	5.35	4.80	4.65	5.30	5.68	7.35	6.36	5.87	
利用総計			1,906	1,966	1,854	1,875	1,824	1,720	1,760	1,744	1,764	1,807	1,615	1,759
総計稼働率			97.7	97.6	95.1	93.1	90.5	88.2	87.3	89.4	89.0	89.7	88.7	87.3
日平均			63.53	63.42	61.80	60.48	59.84	57.33	56.77	58.13	57.87	58.29	57.68	56.74

実績人数

満床人数

令和6年度 稼働率 (全体) 21,624 ÷ 23,725名 = 91.1% 59.24名
(特養) 19,442 ÷ 20,805名 = 93.4% 53.27名
(短期) 2,182 ÷ 2,920名 = 74.7% 5.98名

参考 令和5年度実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特養 人数	1,595	1,705	1,680	1,718	1,659	1,644	1,745	1,697	1,747	1,706	1,588	1,730
稼働率	93.3	96.5	98.2	97.2	93.9	96.1	98.8	99.2	98.9	96.5	96.1	97.9
	53.17	55.00	56.00	55.42	53.52	54.80	56.29	53.57	56.35	55.03	54.76	55.81
短期 人数	229	207	198	180	185	208	216	220	217	239	200	206
稼働率	95.4	83.5	82.5	72.6	74.6	86.7	87.1	91.7	87.5	96.4	86.2	83.1
	7.63	6.68	6.60	5.81	5.97	6.93	6.97	7.33	7.00	7.71	6.90	6.65
利用者 総計	1,824	1,912	1,878	1,898	1,844	1,852	1,961	1,917	1,964	1,945	1,788	1,936
総計 稼働率	93.5	94.9	96.3	94.2	91.5	95.0	97.3	98.3	97.5	96.5	94.9	96.1
	60.80	61.68	62.60	61.23	59.48	61.73	63.26	63.90	63.35	62.74	61.66	62.45

令和5年度 稼働率 (全体) 95.5% 62.07名
(特養) 96.9% 55.23名 (短期) 85.6% 6.84名

入所状況（令和6年度 月別集計）

単位：人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所	男	1	1	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	6
	女		1	1	0	1	1	1	0	1	2	0	1	9
合計		1	2	2	0	2	1	2	0	1	3	0	1	15

57 56 56 57 55 55 53 54 53 53 53 52 52

入所前状況

在宅からの入所 11名 老人保健施設入所者 2名

病院からの入所 1名 有料老人ホーム 1名

入所待機者状況

3月現在 68名（男性 36名 女性 32名）

退所状況（令和6年度 月別集計）

単位：人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
退所	男	1	2	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	7
	女	1	0	1	1	2	2	1	1	1	2	1	0	13
合計		2	2	1	2	2	3	1	1	1	3	1	1	20

医療機関への入院 2名

施設での看取り 18名

介護度状況（令和7年3月31日 現在）

単位：人

		介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計
介護度	男	0	0	5	7	3	15
	女	0	0	6	18	13	37
合計		0	0	11	25	16	52
割合		0%	0%	21%	48%	31%	

平均介護度 全体 4.10 男性 3.87

女性 4.19

年齢状況（令和7年3月31日 現在）

単位：人

		～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100以上	合計
年齢	男	1	2	1	3	0	6	2	0	0	15
	女	1	0	0	4	8	9	7	7	1	37
合計		2	2	1	7	8	15	9	7	1	52

平均年齢 全体 85.67歳 男性 80.80歳

女性 87.65歳

高齢者食事サービス稼働実績

単位：人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
昼食	食数	113	115	144	153	156	167	168	155	173	141	184	153
	平均	3.7	3.7	3.8	4.9	5.0	5.5	5.4	5.1	5.6	5.0	6.5	4.9
夕食	食数	425	452	418	466	417	406	424	408	416	366	341	316
	平均	14.1	14.5	13.9	15.0	13.4	13.5	13.6	13.6	13.5	13.1	12.1	10.2
合計	食数	538	567	532	619	573	573	592	563	589	507	525	469
	平均	17.8	18.2	17.7	19.9	18.4	19.0	19.0	18.7	19.1	18.1	18.6	15.1
昨年	食数	319	372	430	477	462	523	561	564	538	455	489	547
	平均	10.6	11.9	14.3	15.3	14.8	17.4	18.0	18.8	17.5	16.2	17.4	17.6

令和 6年度 平均 6, 647食 ÷ 362日 = 18.3食

令和 5年度 平均 5, 737食 ÷ 363日 = 15.8食

・医務

来受診状況 (令和6年度 月別集計)

単位：人

	内科	外科	整形外科	歯科 (往診含)	眼科	皮膚科	脳外科	精神科	その他	合計
4月	13	0	1	36	1	14	0	13	2	80
5月	5	0	2	45	0	10	0	10	15	77
6月	6	0	3	37	0	9	0	9	1	65
7月	8	0	1	9	0	8	0	15	1	42
8月	5	0	0	27	9	10	2	14	2	69
9月	6	0	1	34	0	14	2	13	3	73
10月	7	0	1	40	4	11	0	12	1	76
11月	8	0	2	45	3	11	0	16	2	87
12月	5	1	5	35	3	12	0	16	3	80
1月	6	0	3	18	1	9	0	16	1	54
2月	3	0	3	39	2	14	0	16	1	78
3月	9	0	5	20	2	10	0	13	9	68
合計	81	1	27	385	25	132	4	163	31	849

人健診及び職員検診の実施

老人健診 令和6年 6月 7日に実施。 60名(本入所56名 短期入所4名)

職員健診 令和6年 6月 7日に実施 8名(夜勤対応職員対象8名)

令和6年11月 8日に実施 50名(全職員対象)

インフルエンザ 予防接種 入所者・職員対象 令和6年10月29日～12月に実施しました

入所者 51名 職員 32名

新型コロナワクチン予防接種 (11月～12月にかけて接種しました)

入所者 44名

入退院状況 (令和6年度 月別集計)(入退院日は日数から除く)

単位:人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院	2	1	3	4	4	3	2	2	2	0	2	7	32
退院	2	0	3	1	5	5	1	3	2	1	0	2	25
延べ日数	22	22	40	21	86	74	53	35	39	24	32	66	514
昨年	43	0	0	0	47	53	5	0	3	40	58	33	282

3月末日入院者7名

入院理由

脳梗塞 蜂窩織炎 腸閉塞 悪性腫瘍 骨折 胆管炎 低血糖 肺炎(誤嚥性肺炎含む)

貧血 薬剤調整 白内障 尿路感染 等

. 厨房

行事食

	行事食(昼食・おやつ)メニュー
4月	17日 誕生会
5月	1日 開所記念 ・ 1日 八十八夜 ・ 5日端午の節句 ・ 15日 誕生会
6月	19日 誕生会
7月	7日 七夕 ・ 17日 誕生会 ・ 24日 土用の丑
8月	21日 誕生会 ・ 18日 お祭り献立
9月	16日 敬老会 ・ 18日 誕生会 ・ 17日 十五夜 ・ 22日 彼岸おはぎ
10月	16日 誕生会・13日運動会
11月	20 誕生会
12月	18 誕生会&餅つき ・ 19日 冬至 ・ 24日 クリスマス ・ 31日 年越しそば
1月	1日 新年祝賀会 ・ 7日 七草粥 ・ 11日 鏡開き ・ 15日 小正月 ・ 15 誕生会 ・ 31日 晦日正月
2月	2日 節分 ・ 14日 パレンティン ・ 19日 誕生会
3月	3日 ひなまつり ・ 19日 誕生会 ・ 20日 春分の日

以上

令和6年度 横浜市岩崎地域ケアプラザ事業報告

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

<基本理念>

- (1) 地域における市民の自主的な福祉活動、保健活動等のための場を提供し、市民の誰もが日常的に相互に支えあい、住み慣れたところで安心して自立した生活が続けられる地域社会の実現に資する。
- (2) 地域住民の方が、生活に関する相談全般について「まずプラザで相談してみよう。」と思われる施設となりたい。

<運営方針>

- (1) 利用者を主体としたサービスの提供と生活支援。
- (2) 快適な環境作り。
- (3) 笑顔のもと明るくてきばきとした対応。
- (4) 地域福祉の拠点となるため、自治会・ボランティア団体・学校・社会福祉協議会等との連携、協力をすすめる。
- (5) 地域住民をはじめとした実習生、介護体験、見学者、ボランティアの受け入れを通じて当施設の理解の増進および人材育成の役割を担います。

<施設全体としての～振り返り～>

- (1) 横浜型地域包括ケアシステムの実現に向けた、多職種の協働による個別ケースの地域ケア会議の実施と地域包括地域ケア会議の実施による地域課題の把握と新たな社会資源の創設に取り組みました。
- (2) 地域の乳幼児から高齢者等に対して、総合相談・支援事業の実施をはじめ、各関係機関との支援ネットワーク構築や関係団体との連携強化、協働作業等の環境づくりを積極的に推進に努めました。
- (3) 地域支えあい推進として、地域のインフォーマルサービスの整備と新たな自主事業を展開し、様々な担い手づくり、子育て支援の環境づくり、地域資源の活用に取り組みました。
- (4) 地域にプラザを再周知すると共に、必要な情報が届けられるよう、様々な媒体の取組みを実施し必要な人に的確に支援が届くよう地域との連携・協議の場を拡充し福祉保健活動拠点としての役割に努めました。
- (5) 人材不足の課題解決に向け、地域福祉を推進するための環境づくりや課題解決へ向けた人材確保と育成を図り職員がやりがいをもって業務を行うことができるよう、今まで以上に職場環境の改善に努めました。
- (6) 今後、ますますケアプラザ機能に求められる業務拡大の対応として、ケアプラザ内での協働・密接な連携が図れる組織体制の構築と機能強化を図り、特に職種間連携に努めました。
- (7) 様々な感染症の感染拡大防止に向けた正しい認識をもつとともに、感染症対策マニュアルを通して日頃の備え、感染防止の基本等を含めた共通理解に取り組みました。

<令和7年度に向けた課題>

- (1) 横浜型地域包括ケアシステム構築に向けた保土ヶ谷区アクションプランの推進と社会資源創設に努めます。
- (2) 関係団体との連携強化、協働作業等の環境作りを積極的に推進していきます。
- (3) 様々な世代へ新たな自主事業を展開し、担い手の発掘と地域資源の活用を進めていきます。
- (4) 福祉保健活動拠点として地域へ必要な支援が十分に届けられるよう役割を拡充していきます。
- (5) 全職員が働きやすい労働環境整備と人材の育成・確保に努めていきます。
- (6) 組織体制の確立と個々のスキルアップを図っていきます。
- (7) サービスが安定的・継続的に提供されるよう事業を実施していきます。(BCP)
- (8) 収支改善に向けた効率的な事業の実施に努めていきます。

I. 地域包括支援センター事業 事業報告

令和7年3月末現在

地域包括支援センターは、高齢者の皆様が住み慣れた地域でいつまでも充実した毎日を過ごして頂くために総合的な相談・支援を行う機関であり、3職種にてお互いに連携して日常生活の支援や様々な相談に応じています。事業内容は総合相談支援・権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント、介護予防ケアマネジメント、自主事業を実施している。各事業毎の実績は以下の通りである。

1. 総合相談・支援事業 (令和6年4月～令和7年3月末日迄の実績)

地域の高齢者等に対して面接、電話等による相談を実施し、必要な支援内容を把握するとともに、地域における適切な機関、制度、サービスの利用に繋げる等の支援を行うほか、相談者からの依頼を受けて必要がある場合に、相談者の自宅等を訪問し、安否確認、情報提供、各種福祉保健サービスの申請受付等に努めている。

相談事業実績 合計 614 件 前年度(3月末日) 587 件

利用方法別

分 類		手 段			時 間 帯	
新規	継続	面接	電話	FAX・その他	9～17	17～21
238	376	104	503	7	613	1
合計	614 件	合計	614 件		合計	614 件

対象者別 合計 614 件

65歳以上					40～64歳	
自立	事業対象者	要支援	要介護	その他	要支援・要介護	その他
5	0	98	144	347	5	15

相談者別 合計 659 件 (重複有り)

本人	家族	地域住民	サービス事業者	施設・医療	区役所	区社協	他のケアプラザ	その他
128	323	53	61	54	25	0	5	10

相談内容別 合計 837 件 (重複有り)

介護保険	介護予防事業	包括支援事業	行政サービス	インフォーマルサービス	介護医療	施設入所入院	日常生活課題	苦情	成年後見	虐待	その他
364	12	0	3	30	75	14	263	1	12	8	55

訪問事業実績 合計 137 件 前年度(3月末日) 131 件

利用方法別

分 類		訪 問 先			時 間 帯	
新規	継続	家庭	病院・施設	その他	9～17	17～21
5	132				137	0
合計	137 件	合計	0 件		合計	137 件

対象者別 合計 137 件

65歳以上					40～64歳	
自立	事業対象者	要支援	要介護	その他	要支援・要介護	その他
7	0	26	21	81	2	0

援助内容別 合計 225 件 (重複有り)

安否確認 状況確認	介護・保健等 指導助言	申請受付		他機関等との サービス調整	情報提供	その他
		介護保険	行政サービス			
16	57	51	0	57	34	10

2. 地域ケア会議 (令和6年4月～令和7年3月末日迄の実績)

多職種による個別事例の検討を通じ、高齢者の自立に資するケアプランにつなげていくとともに、個別事例の検討を積み重ねることにて、地域課題を発見し、新たな資源開発につなげていく。

個別地域ケア会議 (令和6年4月～令和7年3月末日迄の実績)

開催月	内 容	参加人数
合計	0回	0人

3. 権利擁護事業 (令和6年4月～令和7年3月末日迄の実績)

福祉保健関係者とのネットワークを構築し、支援を要する方を早期発見し相談に繋げられるように体制を整備すると共に、研修に参加し業務遂行に必要な実践的知識・情報の習得に努めている。また、地域の方へ情報を提供している。

認知症連絡会・虐待担当者会議・成年後見サポートネット会議(保土ヶ谷区)

開催月	内 容	参加人数
5月10日	認知症担当者部会	15人
6月20日	成年後見サポートネット専門職会議・全体会	21人
7月12日	認知症担当者部会	13人
8月9日	認知症担当者部会	13人
9月13日	認知症担当者部会	15人
9月19日	成年後見サポートネット専門職会議・全体会	24人
11月8日	認知症担当者部会	15人
11月13日	高齢者虐待防止に関する医療機関との連絡会	26人
11月15日	成年後見サポートネット分科会	28人
12月19日	成年後見サポートネット全体会	61人
1月10日	認知症担当者部会	16人
2月19日	保土ヶ谷区認知症高齢者等SOSネットワーク連絡会	32人
3月11日	保土ヶ谷区認知症初期集中支援チーム検討委員会	28人
3月14日	認知症担当者部会	14人
合計	14回	321人

認知症・権利擁護関係研修

職員が研修に参加し業務遂行に必要な実践的知識・情報の習得に努めている。

開催月	内 容	参加人数
7月23日	令和6年度保土ヶ谷区包括・区職員向け高齢者虐待防止研修	1人
7月26日	相談支援機関等向け研修「権利擁護支援・地域連携ネットワークの実践」	1人
9月3日	後見開始等申立書統一書式の説明会	1人
10月22日	令和6年度チームオレンジ事業説明・取組報告	1人
10月30日	令和6年度在宅高齢者虐待防止事業基礎研修(動画視聴)	1人
11月13日	令和6年度認知症初期集中支援チーム員基礎研修	1人
2月17日	令和6年度保土ヶ谷区デイサービス職員向け高齢者虐待対応力向上研修	1人
合計	7回	7人

権利擁護講座・相談会

事業所、地域の方への情報提供、普及啓発、利用促進のための事業。

開催月	内 容	参加人数
6月20日	くらしの相談会(権利擁護相談会)	1人
9月19日	くらしの法律相談会(権利擁護相談会)	2人
11月6日	権利擁護相談会	1人
11月11日	権利擁護相談会	2人
12月19日	くらしの相談会(権利擁護相談会)	0人
2月24日	くらしの相談会(権利擁護相談会)	1人
3月20日	エンディングノートの案内とミニ講座「相続と遺言」	16人
合計	7回	23人

介護者のつどい

地域の方々を対象に介護に関する情報提供や医療に関する勉強会を開催し在宅生活の安定を図る。

開催月	内 容	参加人数
6月20日	福祉用具の展示と相談会	12人
7月21日	ケアプラザのよろず相談会	0人
11月3日	ケアプラザのよろず相談会	0人
12月21日	講座&ゆったりとーく(介護者のつどい)	1人
2月1日	講座&ゆったりとーく(介護者のつどい)	4人
合計	5回	17人

4. 包括的・継続的ケアマネジメント事業 (令和6年4月～令和7年3月末日迄の実績)

地域における包括ケア体制の構築のために地域の介護支援専門員を対象とした専門家との相談会、研修会・意見交換会(ケアマネ連絡会、合同ケアマネ連絡会、地域ケア会議)を実施している。
また、地域の方々へ情報発信とは別に介護・医療セミナーを開催している。

ケアマネ連絡会

開催月	内 容	参加人数
5月15日	区内8包括合同ケアマネ連絡会「高次脳機能障害」	24人
6月27日	ほどがやケアマネット 令和5年度第1回研修会「障害の支援について」	39人
6月19日	区内8包括合同ケアマネ連絡会「介護保険制度改正」	28人
9月19日	区内8包括合同ケアマネ連絡会「パーソナリティ障害」	34人
11月26日	岩崎地域ケアプラザ第1回ケアマネ連絡会「事例検討会」	30人
1月15日	区内8包括合同ケアマネ連絡会「介護予防ケアマネジメント伝達研修」	34人
1月28日	岩崎地域ケアプラザ第2回ケアマネ連絡会「意見交換会」	45人
2月25日	岩崎地域ケアプラザ民生ケアマネ連絡会	30人
合計	8回	264人

サービス担当者会議の開催支援や抱えている困難事例等への相談支援の実施。また新任・就労予定のケアマネジャーが円滑に業務が進められるよう、区単位で実習の受入調整・支援を実施している。

ケアマネジャー相談支援

	相談件数	相談内容														対応											
		介護保険制度 政サービス情報関連 行	地域情報関連	ケアプランの作成・内容等	支援困難事例への内訳											地域情報の提供	制度・行政サービス等の説明・情報提供	ケアプラン・ケアマネジメントの助言・指導	対応・他機関との調整							同行訪問	その他
					認知症	精神疾患	ターミナル	医療的支援	独居・高齢世帯介護力不足	サービス・支援拒否	家族の対応・支援	経済的問題	虐待	成年後見制度・費者被害	その他				居宅サービス事業者等	インフォーマルサービス	在宅医療連携拠点（在宅医療相談室）	施設・医療機関	区役所	その他			
4月	4人	0	0	0	0	2	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3		
5月	3人	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0			
6月	1人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1			
7月	13人	0	0	0	2	0	0	3	0	4	2	0	0	3	1	1	1	3	0	0	3	4	3	2	3		
8月	5人	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	2			
9月	5人	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	1	1		
10月	6人	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5		
11月	0人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
12月	2人	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2		
1月	5人	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0	1	0	2	2	2		
2月	6人	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3	1	2	1	0	0	0	1	1	0	0	2	0	2	3		
3月	15人	0	0	0	3	1	0	0	2	0	8	1	0	2	1	0	0	0	3	0	0	1	3	2	8		
合計	65人	1人	1人	0人	8人	4人	1人	3人	3人	8人	23人	2人	4人	13人	5人	2人	2人	4人	4人	2人	0人	3人	12人	6人	13人	30人	

新任・就労予定ケアマネジャー研修

	内 容	参加人数
第1日目	9/26行政サービス・かるがもの会・あんしんセンター・予防プラン・生活保護・精神保健業務・ふれあい収集について	19人
第2日目	実習(同行訪問)	
第3日目	11/20施設紹介、反町福祉機器センター見学及び「在宅リハビリテーション事業」「住環境整備事業」について講義	13人
合計	3回	32人

地域密着型サービス運営推進会議他

地域密着型サービスの運営推進会議参加。運営状況等確認、アドバイス。

開催月	内 容	参加人数
6月21日	ツクイ横浜グループホーム	6人
7月10日	小規模多機能型居宅介護 われもこう	5人
7月10日	グループホーム 若草の丘	6人
9月11日	グループホーム若草の丘	6人
9月11日	小規模多機能型居宅介護 われもこう	4人
10月18日	ツクイ横浜グループホーム	6人
12月20日	ツクイ横浜グループホーム	6人
3月12日	小規模多機能型居宅介護 われもこう	5人
合計	8回	44人

5. 介護予防事業

(令和6年4月～令和7年3月末日迄の実績)

地域において自主的な介護予防に資する活動が広く実施され、地域の高齢者が自ら活動に参加し、介護予防に向けた取組が自主的に実施されるような地域社会の構築を目指して、介護予防に関する活動の普及・啓発と育成・支援を実施している。

介護予防事業実績

介護予防普及啓発事業 合計 39人

開催日	事業名	種別	参加人数
9月19日	すこやか健康教室第1回 栄養編	介護予防普及啓発	4人
10月3日	すこやか健康教室第2回 口腔編	介護予防普及啓発	3人
10月17日	すこやか健康教室第3回 運動編	介護予防普及啓発	7人
12月19日	ケアプラザでポッチャをやろう	介護予防普及啓発	8人
3月10日	春の健康教室 こころとからだのリフレッシュ体操	介護予防普及啓発	4人
3月13日	春の健康教室 栄養相談カフェ	介護予防普及啓発	3人
3月20日	もくようびのすまいる 健康測定会	介護予防普及啓発	6人
3月26日	春の健康教室 お口の健康教室	介護予防普及啓発	4人
合計	8回		39人

介護予防活動支援事業 合計 53人

開催日	事業名	種別	参加人数
4月12日	さくらコスモス会 体力測定	介護予防活動支援	14人
6月24日	第2桜寿会	介護予防活動支援	8人
12月8日	芝桜の会 体力測定会①	介護予防活動支援	16人
1月12日	芝桜の会 体力測定会②	介護予防活動支援	15人
合計	4回		53人

6. 介護予防支援、介護予防ケアマネジメント事業

(令和6年4月～令和7年3月末日迄の実績)

「要支援1」「要支援2」に認定された方の介護予防支援サービス・支援計画書の作成を実施している。また、業務の一部を居宅介護支援事業者の介護支援専門員に委託できることとなっており、介護予防支援サービス・支援計画書作成委託契約の上、介護予防支援、介護予防ケアマネジメントをお願いし、管理・実施をしている。

介護予防支援、介護予防ケアマネジメント事業実績

指定居宅介護支援事業所に委託している件数 延合計 1768人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	委託利用者数
新規	2	6	6	5	2	7	8	3	1	2	4	2	48
継続	145	145	146	150	147	145	144	140	145	140	136	137	1720
合計	147	151	152	155	149	152	152	143	146	142	140	139	1768

	直 接				委 託				直接	委託	合計
	要支援1		要支援2		要支援1		要支援2				
	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続			
4月	0	0	0	1	1	31	1	114	1	147	148
5月	0	0	0	1	2	31	4	114	1	151	152
6月	0	0	0	1	1	27	5	119	1	152	153
7月	0	0	0	1	4	27	1	123	1	155	156
8月	0	0	0	1	1	30	1	117	1	149	150
9月	0	0	0	1	3	32	4	113	1	152	153
10月	0	0	0	1	6	31	2	113	1	152	153
11月	0	0	0	1	1	30	4	108	1	143	144
12月	0	0	0	1	0	31	1	114	1	146	147
1月	0	0	0	1	1	29	1	111	1	142	143
2月	0	0	0	1	2	29	2	107	1	140	141
3月	0	0	0	1	0	28	2	109	1	139	140
合計	0	0	0	12	22	356	28	1362	12	1768	1780

7. 協力医による相談

無料医療相談

月に1～3回程度ケアプラザへ来所して頂き、地域活動交流・地域包括支援センター事業に関する協力を実施する。現在は、無料医療相談会・医療的な講義を実施している。

開催日	区分	相談内容等	相談人数
合計		0回	0人

8. 自主事業 (令和6年4月～令和7年3月末日迄の実績)

キャラバン・メイト連絡会→(仮)認知症交流会へ今年度より変更

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り支援する市民(認知症サポーター)を一人でも多く増やすための普及啓発活動や認知症の人が住み慣れた地域で自立した生活を継続できるサポート体制の構築するための連絡会と講座を開催する。

開催日	内 容	参加人数
9月20日	保土ケ谷CP合同キャラバン・メイト連絡会	4人
10月25日	保土ケ谷CP合同キャラバン・メイト連絡会	1人
11月15日	保土ケ谷CP合同キャラバン・メイト連絡会	4人
12月20日	保土ケ谷CP合同キャラバン・メイト連絡会	1人
2月21日	保土ケ谷CP合同キャラバン・メイト連絡会	2人
3月21日	保土ケ谷CP合同キャラバン・メイト連絡会	3人
合計	6回	15人

認知症サポーター養成講座

開催日	場 所	参加人数
合計	0回	0人

出張講座

地域で行っているサロン等に参加し、ケアプラザが身近な存在であることを理解して頂く。
地域包括支援センターの役割を理解して頂き、介護保険制度・介護予防の必要性や取り組み方等、いざに備え安心して生活を送っていただくことを目的に実施している。

開催日	内 容	場 所	参加人数
5月29日	葵の会「連絡ノートについて」	初音ヶ丘地区センター	29人
9月9日	桜ヶ丘第1桜寿会「連絡ノートについて」	桜ヶ丘自治会館	29人
12月11日	岩崎中学校福祉教育「高齢者のくらしについて」	岩崎中学校	28人
1月22日	東部民児協勉強会「介護保険について」	桜ヶ丘自治会館	21人
2月24日	コープ保土ヶ谷自治会「エンディングノートをかいてみよう」	コープ保土ヶ谷集会所	36人
合計	5回		143人

情報啓発等

介護予防、介護保険制度、権利擁護の周知、啓発等
来所が難しい地域住民に対して健康相談、生活相談等を受け、必要な制度資源につなげる。

開催日	内 容	場 所	参加人数
7月21日	桜ヶ丘グリーンハイツ「生活の困り事と介護保険」	桜ヶ丘コミュニティハウス	30人
合計	1回		30人

Ⅱ. 地域活動・交流事業 事業報告

令和7年3月末現在

地域活動・交流事業は、子どもや高齢者、障害者等、地域に暮らす全ての人たちが孤立することなく地域の一員として、自分らしく支え合って暮らせるように地域特性に合った住民主体の地域づくりを、関係機関と連携し事業を展開しました。

また昨年度に引き続き第4期地域福祉保健計画の推進をベースとし、今まで構築してきた地域の関連機関・団体との関係をより深め、関係機関同士が相互に顔の見える関係作りから協働体制の構築が出来るように努めました。

令和5年度より保土ヶ谷地域ケアプラザ開所に伴い、担当する地域が分割され3連合地区と変更になり、今までよりもより深く連携が図れるようになり、地域包括支援課・地域生活支援課と密な連携・協働にて各地域の状況やニーズ把握に努め、地域住民と地域の目指す姿を共有できるよう努めました。

今後の自主事業の実施にあたり、地域ケアプラザ内のみならず、アウトリーチの視点を大切にし、地域に出向いた形での事業を積極的に実施していきます。

(1) 地区支援取組状況

第4期地域福祉保健計画地区別計画の推進に向けて、所長および地域包括支援課、地域生活支援課と協働し区役所、区社会福祉協議会とともに各地域の状況やニーズ把握に努めています。

地域住民主体の活動を後押しできるよう、地域住民と地域の目指す姿を共有し、住民主体の地域づくりが更に推進するよう努めています。

地 区	頻 度	参 加	内 容
保土ヶ谷地区	2ヶ月に1回 (その他必要に応じ随時)	22回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・保土ヶ谷地区ほっとなまちづくり実行委員会 (地区社会福祉協議会定例会) ・地区民生委員児童委員協議会定例会・あんしん訪問員研修 ・みんなでキッチンスタッフ会議・ご近助隊かりばスタッフ会議
保土ヶ谷中地区	3ヶ月に1回 (その他必要に応じ随時)	10回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・地区社会福祉協議会定例会 ・地区民生委員児童委員協議会 ・保土ヶ谷中地区ほっとなまちづくり実行委員会
保土ヶ谷東部地区	2ヶ月に1回 (その他必要に応じ随時)	20回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・地区社会福祉協議会役員会 ・ほっとなまちづくり委員会 ・地区民生委員児童委員協議会定例会 ・あんしん訪問員研修

(2) ネットワーク関係

○岩崎サポートネットワーク(ボランティア連絡会・CM連絡会・介護予防連絡会)

話し合いの場を持ち、問題を解決する方法を模索していくための連絡会です。

開催回数 1 回 参加者 7 名

○子育て支援連絡会全体会

全体会は区域で子育て支援を行っている施設や団体、個人のネットワークを広げたり、他のエリアの事例を聞き勉強し、地域の子育て支援を実施して行く目的で開催されています。

開催回数 2 回 参加者 240 名

○ほどがやこどもニコニコフェスタ

誰もが安心して子育てしやすいまちづくりを推進することを目的に開催しています。

開催回数 0 回 参加者 0 組

○岩崎エリア子育て支援連絡会

子育て支援連絡会は地域で子育て支援を行っている施設や団体、個人のネットワークを広げ、地域の子育て支援を実施して行く目的で開催されています。

開催回数 2 回 参加者 59 名

※上記の連絡会に向けての協議や地域状況の共有等を目的とした事務局会議を適宜実施しています。

開催回数 6 回 参加者 48 名

(3) 自主事業(当初計画および状況報告)共催事業含む

計 画 事 業 名	実施日・頻度等	講 師 等	参加者	内 容
こどもランド	毎月第1、第3土曜日 10:00～14:00(全12回)	—	47名	未就園児の子と保護者対象にイベント・フリースペース等親子の集いの場、近隣保育園等との交流
ほっとフレンズ夏 及びボランティア研修	7月28日	—	16名	障がい児の余暇支援で「運動会」という目的で、親子で参加者を募り、区内コーディネーターと関係機関及びボランティアが参加者と一緒にパラバルーン、景品釣り、キャブテンリノ巨大版、ダンシング玉入れなどで楽しむ企画(7/20 ボランティア研修会 6名)
ほっとフレンズ春 及びボランティア研修	3月23日	—	19名	障がい児の余暇支援でポッチャを参加者全員で楽しもうという企画。親子で募集。区内コーディネーターと関係機関及びボランティアが参加者と一緒にパラバルーン、景品釣り、キャブテンリノ巨大版、ダンシング玉入れなどで楽しむ(3/1 ボランティア研修会 9名)
もくようびのすまいる	6月20日	高山恵美子(他5名)	15名	スマートフォン教室。高齢者対象、スマートフォン操作とラインアプリ基礎を学ぶ
	6月20日	宮原康平(他2名)	12名	福祉用具の展示と相談会の実施
	6月20日	高橋行政書士(他1名)	1名	行政書士による相談会
	9月19日	工藤さとみ	5名	ボランティア入門。ボランティアとはなにか、参加の仕方等を学ぶ
	9月19日	田中由美(管理栄養士) 大氣(区役所保健師)	4名	すこやか健康教室。高齢者対象、フレイル予防で栄養について学ぶ。
	9月19日	なし	6名	体験！ポッチャ。ポッチャを知り、楽しみながら体を動かす。
	9月19日	中西司法書士	2名	くらしの相談会
	12月19日	一柳直人(他1名)	8名	ケアプラザでポッチャをやる。元気に外出するために必要な知識や体操を学びポッチャを楽しむ。
	12月19日	青木陽佳	10名	体験！ヨガ。
	12月19日	高橋行政書士 (コスモス 成年後見サポートセンター)	0名	行政書士による相談会
	3月20日	なし	6名	ポッチャの体験、居場所作り
	3月20日	なし	6名	健康測定
	3月20日	なし	9名	ちくちくサロンの普及
	3月20日	司法書士会東部支部 (上村行政書士)	16名	エンディングノートと相談会
眼の講座と眼の健康チェック	1月16日	清水映輔 (横浜けいあい眼科理事長)	10名	講座と眼の健康チェック
リズムあそび	毎月第1 水曜日	柿崎 美也子	現在 休止中	リトミックを取り入れた音楽遊びと親子の居場所づくり デイサービスでの世代間交流

※現在、所内会議およびコーディネーター会議にてコロナによる影響で休止中の事業を早期に再開が出来るよう協議・検討を重ねています。

(4) 他ケアプラザ、関係機関等との共催事業(当初計画および状況報告)

計 画 事 業 名	実施日・実施予定日	参加者	内 容
幼稚園ママにきいちゃおう	未実施	-	保土ケ谷区地域子育て支援拠点こころ共催事業、先輩幼稚園ママに入園に対する助言や日頃の生活のアドバイスや意見交換を実施

(5) 後方支援事業

自主事業等から発足した団体等の後方支援を行い、活動団体運営の安定化を図っております。

事 業 名	実 施 日	頻 度	内 容
肉体美改造計画	毎月第4 金曜日	随時	介護予防普及・啓発 玄米ダンベルを用いた体操の実施及びメンバー間の交流促進
さくら会 コスモス会	さくら会 第2・4金曜日 コスモス会 第1・3金曜日	随時	介護予防普及・啓発 脳トレやリボンを用いた体操の実施及びメンバー間の交流促進 助成金申請方法や団体継続のアドバイスや相談等 必要に応じて体力測定等を実施

Gスマイル	毎月第2・4 木曜日	随時	介護予防普及・啓発 椅子に座ったままできる体操の実施及びメンバー間の交流促進、団体継続や活動のアドバイスや相談等
アシスト岩崎	定例会 毎月第4 金曜日	随時	生活支援ボランティア 団体継続や活動のアドバイスや相談等 令和6年12月で活動終了

(6) 広報誌の発行

発行回数 毎月発行 発行部数 2,000部/月
自主事業のパンフレットは、近隣自治会の掲示板にも掲示。

(7) 貸し館状況

今後ますます進展する超高齢社会において、地域ケアプラザを中心とした横浜型地域包括ケアシステムの構築と近年相談件数が大きく増加している地域ケアプラザの日中の相談支援の充実・強化を図るため、地域ケアプラザの夜間利用方法を変更しています。これまで夜間時間帯に勤務していた職員を、この変更により可能な範囲で日中勤務とすることで、高齢者の介護相談・生活相談の充実や、地域の自治会町内会、民生委員・児童委員、医療・福祉施設の皆様との連携強化など、地域支援の充実を図る目的に令和5年4月より地域ケアプラザ夜間開閉館施設として以下の対応を取らせて頂いております。

・ 月～土:9～21時(※) 日・祝:9～17時(年末年始及び月1回の施設点検日は休館)

・件数実績(R6.4-R7.3)

期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計
多目的ホール	92件	81件	100件	96件	369件
調理室	10件	10件	5件	8件	33件
ボランティア室	0件	11件	11件	10件	32件
地域ケアルーム	16件	26件	24件	24件	90件
合計	118件	128件	140件	138件	524件
	88日	89日	86日	84件	347日

・利用率(R6.4-R7.3)/利用可能日数

別	多目的ホール	調理室	ボランティア室	地域ケアルーム
9-12時	65%	4%	4%	9%
12-15時	35%	4%	4%	9%
15-18時	8%	1%	2%	5%
18-21時	1%	1%	1%	0%

・前年度件数実績(R5.4-R6.3)

部屋別	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計
多目的ホール	89件	87件	100件	100件	376件
調理室	12件	7件	14件	7件	40件
ボランティア室	2件	3件	3件	3件	11件
地域ケアルーム	28件	25件	38件	21件	112件
合計	131件	122件	155件	131件	539件

・前年度利用率(R5.4-R6.3)/利用可能日数

時間帯	多目的ホール	調理室	ボランティア室	地域ケアルーム
9-12時	70%	5%	2%	6%
12-15時	32%	5%	5%	9%
15-18時	4%	1%	1%	5%
18-21時	0%	0%	0%	0%

※小数点以下切り捨て

(8) ボランティア関係

団体名	内容	登録者数	実施回数
きさらぎの会	中途障害者の居場所づくり	11人	9回
アシスト岩崎	高齢者等のお宅の草刈、修繕、手伝いなど	10人	13回
さくら会	高齢者の健康と体力の維持・増進	20人	18回
コスモス会	高齢者の健康と体力の維持・増進	20人	15回
ご近助隊かりば	生活支援ボランティア団体	20人	42回
すぎなの会	高齢者の健康と体力の維持・増進	14人	13回
りぼんクラブ	手芸やクラフトを通しての地域交流や居場所づくり	10人	8回
桜の木体操クラブ	高齢者の健康と体力の維持・増進	20人	15回
スポーツ愛好会	高齢者の健康と体力の維持・増進	14人	2回

(9) その他

項目名	頻度	実施	内容
地域活動・交流CO連絡会	毎月1回	12回	区内他地域ケアプラザコーディネーターとの情報共有、共催事業についての協議・検討、研修会等の実施
保土ヶ谷区障害者地域自立支援協議会 代表者会議全体会	随時	2回	分野・業種を問わず顔の見える関係性の構築を目指すとともに、区自立協における運営状況の共有を行う機会として実施
保土ヶ谷区障害者地域自立支援協議会 こども余暇部会事務局会議	随時	1回	保土ヶ谷区内の障害のある児童・生徒やそのご家族が地域で安心して暮らして行くために関係機関で意見交換や課題検討を実施
アクションポート横浜連携事業	随時	-	学生と地域とつなぐアクションポート横浜と連携を図り、学生が地域の取組に参加することにより地域の活性化を図る

Ⅲ. 生活支援体制整備事業 事業報告

令和7年3月末現在

地域のインフォーマルサービスの整備や担い手の発掘、地域の基盤整備等地域の様々な活動把握を行い、ニーズに応じて運営をしております。
地域の発展やニーズに応えるため、出張講座や地域の取組への参加、介護保険事業所や民間企業との連携、協議体、自主事業等を行っております。
また、地域の見守りについて強化を図る為、担当の3地区に全てにおいて共有する機会を設け、地域と民間企業、地域ケアプラザが繋がるきっかけづくりを行っております。
地域の活動団体の継続を目標とし、継続に対するノウハウを伝えたり、共に考えることで、地域と一緒に動くことを念頭に置き支援しております。また、オンラインでの研修開催や、地域への発信方法の変更検討を重ね、地域との信頼関係が継続できるように努めております。

(1) 自主事業(生活支援課共催事業【他事業所共催含】)

事業名	実施日	講師など	参加者	内 容	開催
さくらコスモス体力測定	4月12日	無	14名	介護予防 活動団体支援	包括共催
葵の会「連絡ノートについて」	5月29日	保土ヶ谷区医師会 (土田美夏)	29名	介護予防 活動団体支援	包括共催
スマートフォン教室 (もくようびのすまいる内)	6月20日	パソコンよこはま宿 (高山恵美子)他5名	15名	高齢者対象、スマートフォン操作と ラインアプリの基礎を学ぶ	地活包括共催
福祉用具の展示と相談会 (もくようびのすまいる内)		サクラサービス株式会社 (宮原康平)他2名	12名	福祉用具の展示と相談会の実施	地活包括共催
行政書士によるくらしの相談 会 (もくようびのすまいる内)		コスモス青年後見 サポートセンター (高橋行政書士)他1名	1名	法律相談会の実施	地活包括共催
ちくちくサロン	9.10.11. 12.2.3月	無	延べ29名	9月～再開。高齢者対象、 裁縫等を通じての社会参加交流	自主事業
ボランティア入門 (もくようびのすまいる内)	9月19日	区社協(工藤さとみ) ボランティア団体 アシスト岩崎4名	5名	地域住民対象、ボランティアとは何 か、 参加の仕方等を学ぶ	地活包括共催
すこやか健康教室(栄養) (もくようびのすまいる内)		管理栄養士(田中由美) 区役所保健師(大氣)	4名	高齢者対象、 フレイル予防で栄養について学ぶ	地活包括共催
体験！ボッチャ (もくようびのすまいる内)		無	6名	ボッチャを知り、楽しみながら体を動か す	地活包括共催
司法書士によるくらしの法律相談 会 (もくようびのすまいる内)		司法書士会東部支部 (中西司法書士)	2名	くらしの相談会の実施	地活包括共催
すこやか健康教室(口腔)	10月3日	歯科衛生士 (大浦千恵)	3名	高齢者対象、 フレイル予防で口腔について学ぶ	包括共催
すこやか健康教室(運動)	10月17日	理学療法士 (林野翔太)	7名	高齢者対象、 フレイル予防で運動について学ぶ	包括共催
芝桜の会体力測定①	12月8日	理学療法士 (森敦子)	16名	介護予防 活動団体支援 出張講座	包括共催

ケアプラザでボッチャをやろう!! (もくようびのすまいる内)	12月19日	みんなの訪問看護 リハビリステーション (一柳直人)他1名	8名	元気に外出するために必要な知識や 体操を学び、ボッチャを楽しむ	地活包括共催
体験！ヨガ (もくようびのすまいる内)	12月19日	レアレアの会 (青木陽佳)	10名	ヨガを知り、楽しみながら体を動かす	地活包括共催
行政書士によるくらしの相談 会 (もくようびのすまいる内)		コスモス青年後見 サポートセンター (高橋行政書士)	0名	法律相談会の実施	地活包括共催
芝桜の会体力測定②	1月12日	理学療法士 (森敦子)	15名	介護予防 活動団体支援 出張講座	包括共催
ケアマネ連絡会	1月28日	無	21名	意見交換会、 インフォーマルサービス紹介	包括共催
ゲームスポーツで介護予防	2月4日	横浜市(伊木達哉) 他2名	14名	ゲームスポーツを通じた交流・介護予 防	横浜市 共催事業
民生ケアマネ連絡会	2月25日	無	30名	関係づくり	包括共催
春の健康教室(運動)	3月10日	理学療法士 (森敦子)	7名	高齢者対象、 フレイル予防で運動について学ぶ	包括共催
岩崎サポートネットワーク	3月11日	無	7名	貸室団体交流、ケアプラザ利用説明	地活共催
春の健康教室(栄養)	3月13日	管理栄養士 (森田千雅子)	3名	高齢者対象、 フレイル予防で栄養について学ぶ	包括共催
Let'sボッチャ (もくようびのすまいる内)	3月20日	無	6名	ボッチャの体験、居場所作り	地活包括共催
健康測定会 (もくようびのすまいる内)		無	6名	口と歩行の健康測定	地活包括共催
エンディングノートの説明 &ミニ講座 (もくようびのすまいる内)		司法書士会東部支部 (上村政行政書士)	16名	エンディングノートと相談会	地活包括共催
ちくちくサロン体験 (もくようびのすまいる内)		無	9名	自主事業ちくちくサロンの普及	地活包括共催
春の健康教室(口腔)	3月26日	北村歯科医院 歯科医師 (池田亜紀子)	4名	高齢者対象、 フレイル予防で口腔について学ぶ	包括共催

(2) 地域活動・団体立ち上げ・継続支援・後方支援(岩崎CP以外での活動等)

団体・活動名	地区	運営	対象	内 容	支援
ご近助隊かりば	保土ヶ谷 地区	保土ヶ谷地区 社会福祉協議会	保土ヶ谷 地区	生活支援ボランティア団体の設立・運 営(草刈り・家事・家具移動等)	運営支援
みんなでキッチン	保土ヶ谷 地区	保土ヶ谷地区 社会福祉協議会	保土ヶ谷 地区	地域食堂(狩場町東部自治会館を使用)子どもが遊べるスペースの確保・ 子ども、高齢者に限らず地域の方全 てでカレーやジャンボリアの食事を提 供	継続支援

こひつじ食堂	保土ヶ谷 東部地区	保土ヶ谷東部地区 社会福祉協議会	保土ヶ谷 東部地区	地域食堂(保土ヶ谷カトリック教会を使用)子どもが遊べるスペースの確保・子ども、高齢者に限らず、地域の方全て対象持帰りの弁当又は手作りの食事を提供	継続支援
わかば食堂	保土ヶ谷 中地区	保土ヶ谷中地区 社会福祉協議会	保土ヶ谷 中地区	地域食堂(元町自治会館を使用)子どもが遊べるスペースの確保・子ども、高齢者に限らず、地域の方全て対象手作りの食事を提供	継続支援
移動販売 (狩場町第三公園)	保土ヶ谷 地区	保土ヶ谷地区 社会福祉協議会	保土ヶ谷 地区	マルエツ井土ヶ谷店より移動販売車が来る。買い物支援や居場所づくり、安否確認の場をねらいとする	団体立ち上げ 継続支援
移動販売 (東伸ふれあい公園)	保土ヶ谷 地区	保土ヶ谷地区 社会福祉協議会	保土ヶ谷 地区	マルエツ井土ヶ谷店より移動販売車が来る。買い物支援や居場所づくり、安否確認の場をねらいとする	団体立ち上げ
移動販売 (狩場町第一公園)	保土ヶ谷 地区	保土ヶ谷地区 社会福祉協議会	保土ヶ谷 地区	マルエツ井土ヶ谷店より移動販売車が来る。買い物支援や居場所づくり、安否確認の場をねらいとする	団体立ち上げ
移動販売 (県営花見台住宅)	保土ヶ谷 東部地区	県営花見台住宅 自治会	保土ヶ谷 東部地区	横浜旬果より移動販売車が来る。買い物支援や居場所づくり、安否確認の場をねらいとする	継続支援

(3) 後方支援事業

岩崎地域ケアプラザ自主事業から発足した団体の後方支援を行い、団体の安定化を図っております。

事業名	実施日	頻度	内 容
肉体美改造計画	毎月第4 金曜日	随時	介護予防普及・啓発 玄米ダンベルを用いた体操の実施及びメンバー間の交流促進 助成金申請方法や団体継続のアドバイスや相談等
さくら会コスモス会	さくら会 第2・4金曜日 コスモス会 第1・3金曜日	随時	介護予防普及・啓発 脳トレやリボンを用いた体操の実施及びメンバー間の交流促進 助成金申請方法や団体継続のアドバイスや相談等
Gスマイル	毎月第2,4 木曜日	随時	介護予防普及・啓発 椅子に座ったままできる体操の実施及びメンバー間の交流促進 団体継続や活動のアドバイスや相談等
キャラバン・メイト連絡会	随時	随時	認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り支援する市民(認知症サポーター)を一人でも多く増やすための普及啓発活動や認知症の人が住み慣れた地域で自立した生活を継続できるサポート体制の構築するための連絡会を実施
アシスト岩崎	定例会毎月第 4金曜日	随時	生活支援ボランティア 団体継続や活動のアドバイスや相談等

(4) 地区支援取組状況

担当する3地区の会議等に参加し、地域のニーズや目指す方向性の確認、検討を行っております。

地 区	頻度	参 加	内 容
保土ヶ谷地区	定例会は 2ヶ月に1回 (その他必要に 応じ随時)	22回	<ul style="list-style-type: none"> ・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・保土ヶ谷地区ほっとなまちづくり実行委員会(地区社会福祉協議会定例会) ・地区民生委員児童委員協議会定例会 ・ご近助隊かりばスタッフ会議 (移動販売説明会打合せ)

保土ケ谷中地区	定例会は 4ヶ月に1回 (その他必要に 応じ随時)	10回	<ul style="list-style-type: none"> ・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・地区社会福祉協議会定例会 ・地区民生委員児童委員協議会 ・保土ケ谷中地区ほっとなまちづくり実行委員会
保土ケ谷東部地区	役員会は 1ヶ月に1回 (その他必要に 応じ随時)	20回	<ul style="list-style-type: none"> ・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・地区社会福祉協議会役員会 ・ほっとなまちづくり委員会 ・地区民生委員児童委員協議会定例会 (移動販売説明会打合せ)

(5) 生活支援取組状況

生活支援関係のニーズ把握や、地域との関係作りの為、下記の取組を行って参りました。
地域包括支援課、地域活動交流事業課と連携を図り、地域からの講座依頼等には、積極的に
参加や協力をしております。

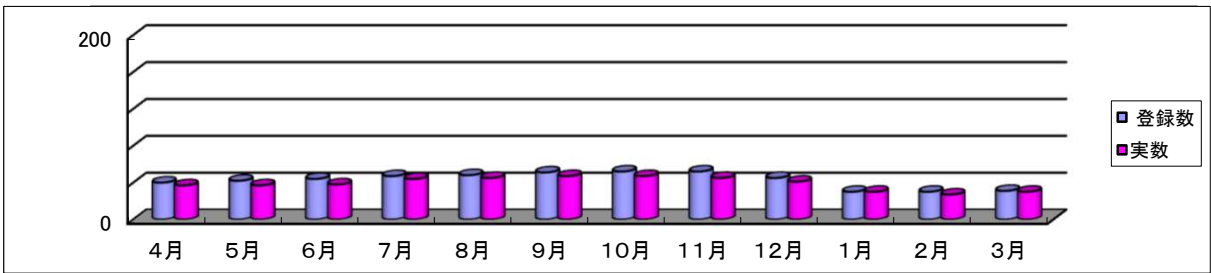
参加項目名	内容	頻度	参加
生活支援Co連絡会等の開催	区版指針の作成、他のコーディネーターの取組の共有、研修報告、勉強会等の実施	毎月1回	12回
地域の取組への参加	福祉教育、防災訓練、交流会、民生委員会、お祭り等への参加、地域食堂の視察	随時開催	必要に応じて
生活支援関係研修への参加	生活支援コーディネーター研修・共通研修、介護予防研修(情報交換、Ayamu、勉強会)	随時開催	必要に応じて
所内6職種会議への参加	地域包括支援課・地域活動事業課・地域生活支援課での合同会議による、各課の情報共有と業務進捗状況の把握	毎月1回	12回
区役所・区社会福祉協議会との合同カンファレンス	地域包括支援課、地域活動事業課、地域生活支援課、区役所、区社協と生活支援についての合同カンファレンス	毎月1回	12回
コーディネーター会議への参加	地域活動事業課と合同で開催。自主事業の展開や地域のつながり作りについて検討	毎月1回	12回
「通いの場」について	高齢者の通いの場について、Ayamuを活用しながら内容把握をする。他機関とも連携し、追加や休止、参加人数の変化などを確認する。		
地区別データの分析	各地区の高齢化率、人口、インフォーマルサービス等を一覧として整理し、分析を行う		
地域包括支援課総合相談表分析	地域包括支援課総合相談票より、課題ニーズの把握と分析(生活支援の部分を中心に)		

Ⅳ. 居宅介護支援事業 事業報告

令和7年3月末現在

1. サービス利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録数	40	42	44	47	48	51	52	52	45	30	30	31	512
実数	37	37	38	44	45	47	47	45	41	30	27	30	468
割合	92.5%	88.1%	86.4%	93.6%	93.8%	92.2%	90.4%	86.5%	91.1%	100.0%	90.0%	96.8%	91.4%
前年実数	43	43	38	35	33	35	33	33	34	33	30	31	421

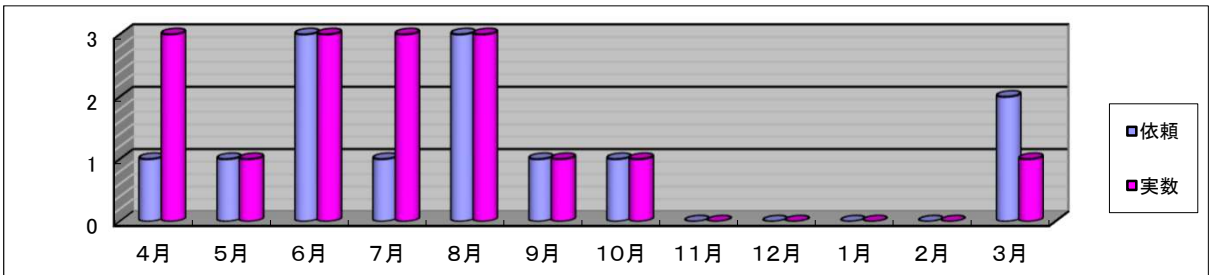


2. 新規サービス開始

令和7年3月末現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
依頼	1	1	7	1	3	1	1	0	0	0	0	2	17
実数	3	1	4	4	3	1	1	0	0	0	0	1	18
割合	16.7%	5.6%	22.2%	22.2%	16.7%	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	100.0%

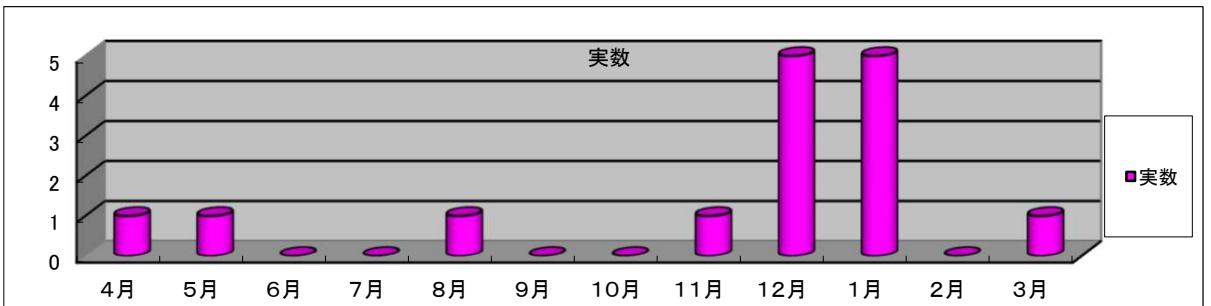
担当件数は、介護給付35件、予防給付8件とする。入院・入所者等の状況に合わせて件数を調整する。



3. サービス利用中止

令和7年3月末現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録数	40	42	44	47	48	51	52	52	45	30	30	31	512
実数	1	1	0	0	1	0	0	1	12	9	0	1	26

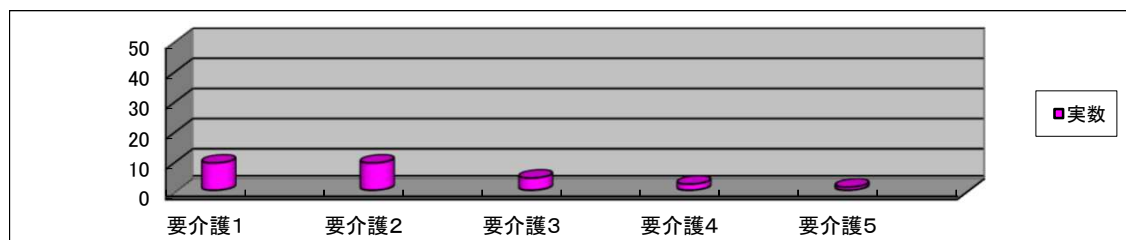


4. 介護度別実績

令和7年3月末現在

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
実数	10	10	5	3	2	30

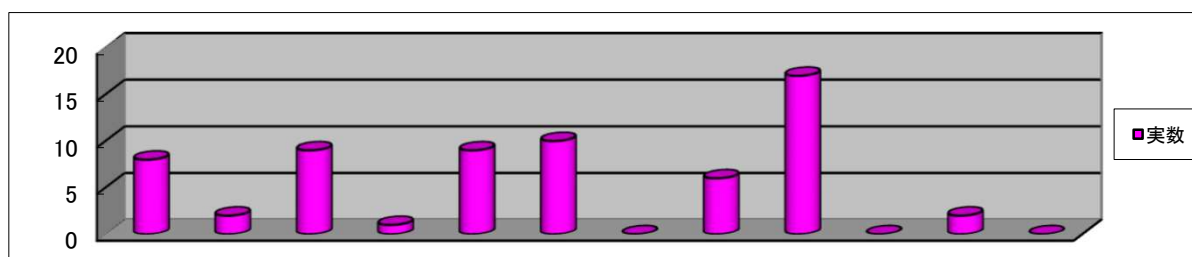
※月末日において認定結果が出ていない方は除いています。



5. サービス種類別分布

令和7年3月末現在

	訪問介護	訪問入浴	訪問看護	訪問リハ	通所介護	通所地域	通所認知	通所リハ	福祉用具	療養管理	短期入所生活介護	短期入所療養介護	合計
業者数	4	1	7	1	5	9	0	2	7	0	2	0	38
実数	8	2	9	1	9	10	0	6	17	0	2	0	64
割合	12.5%	3.1%	14.1%	1.6%	14.1%	15.6%	0.0%	9.4%	26.6%	0.0%	3.1%	0.0%	100.0%

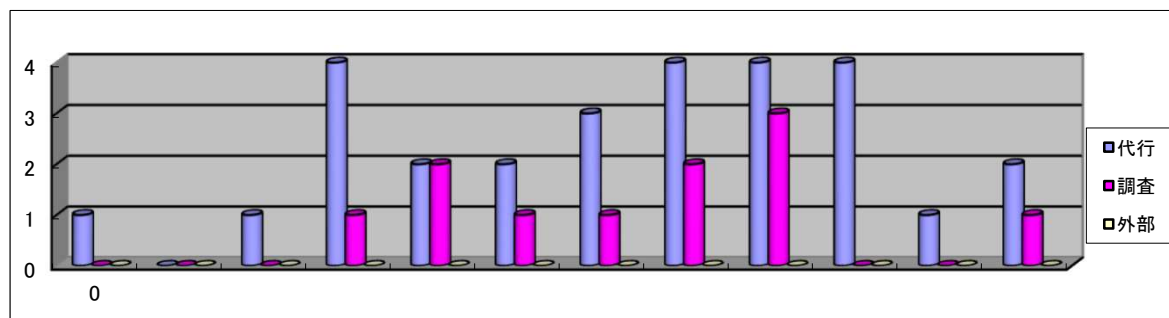


6. 認定調査申請代行件数・認定調査(調査:通常 外部:市外等)実施件数

令和7年3月末現在

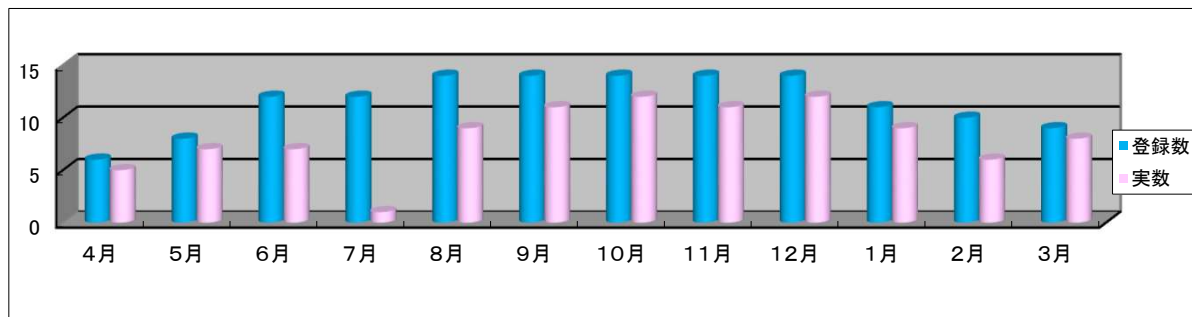
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
代行	1	0	1	4	2	2	3	4	4	4	1	2	28
調査	0	0	0	1	2	1	1	2	3	0	0	1	11
外部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

申請代行は、担当している件数。認定調査は、担当者分＋地域包括支援課からの依頼分含む。



7. 介護予防利用者実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録数	6	8	12	12	14	14	14	14	14	11	10	9	138
実数	5	7	7	1	9	11	12	11	12	9	6	8	98
割合	83.3%	87.5%	58.3%	8.3%	64.3%	78.6%	85.7%	78.6%	85.7%	81.8%	60.0%	88.9%	71.0%
前年実数	13	12	12	13	13	15	14	14	14	13	14	15	162



8. まとめ

職員が減員するも入職者が無く、予定していた件数を受け持つことが難しく目標達成には至っていない。また主任介護支援専門員の不在や新たな介護支援専門員の増員が無く、特定事業所加算や件数増加に繋がっていない。

現在の要介護度別利用割合は要介護1 33% 要介護2 33% 要介護3 17%
要介護4 10% 要介護5 7%となっています。

V. 通所介護事業 事業報告

令和7年3月末現在

今年度も、レクリエーションや生活リハビリの個別化、送迎範囲を広げ、より多くの方にご利用いただける様々な事業展開を行ってまいりました。

身体を動かす機会が少ない方に、簡単で分かり易い体操を考案し、楽しみながら自然に体を動かしてもらいました。ゆったりと思ひ思ひの時間を、過ごしていただけるように、楽しい雰囲気作りを目指し、介護支援専門員と相談しながらサービス提供を行いました。

1 利用実績 (令和6年 4月 1日 ~ 令和7年 3月31日までの実績)

	予防	介護	全体
総利用人数	805名	6506名	7311名
総可動日数	359日	359日	359日
平均利用者人数	2.2名	18.1名	20.3名

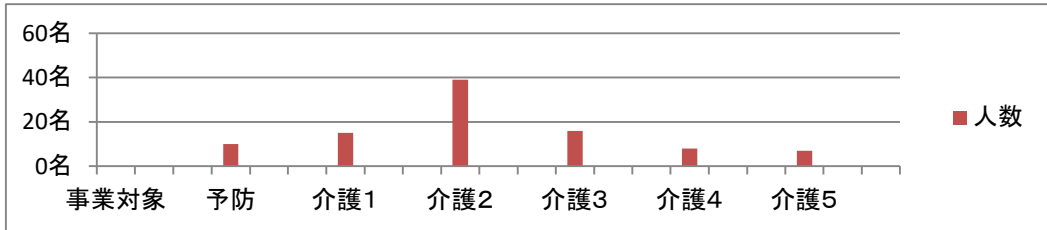
2 申し込み状況 (延べ件数)

申し込み件数 36 件 開始件数 36 件 中止 34 件

中止理由 ① 死亡 7件 ③ 入院 4件 ⑤ 体調不良 2件 ⑦ 転居 0件
 ② 入所 15件 ④ 不希望 3件 ⑥ 他施設利用 3件 ⑧ その他 0件

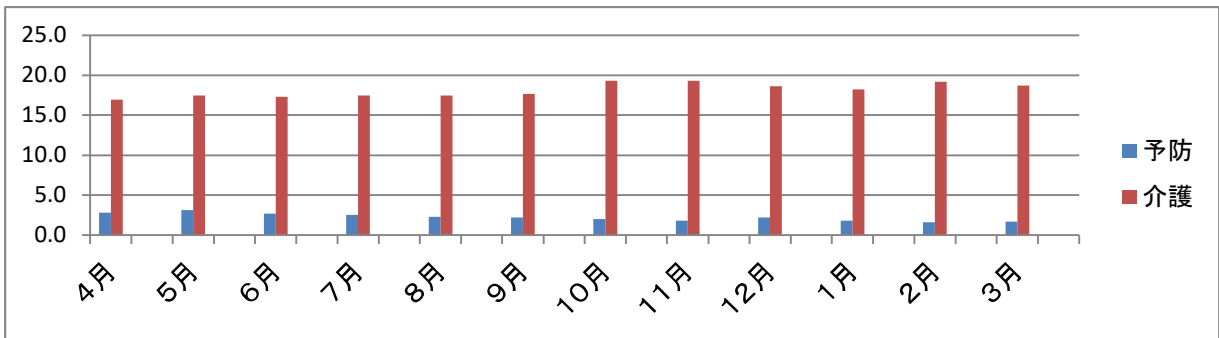
3 要介護度別利用人数と割合

	事業対象	予防	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
登録	0名	10名	15名	39名	16名	8名	7名	95名
実数	0名	9名	13名	37名	12名	8名	6名	85名
%	0.0%	10.6%	15.3%	43.5%	14.1%	9.4%	7.1%	100.0%



4 月別利用人数と平均

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
予防	84	97	80	79	71	66	62	55	61	51	46	53	805 名	予防
介護	508	541	518	542	542	530	597	580	521	509	537	581	6506 名	介護
全体	592	638	598	621	613	596	659	635	582	560	583	634	7311 名	全体
日	30	31	30	31	31	30	31	30	28	28	28	31	359 日	日
予防	2.8	3.1	2.7	2.5	2.3	2.2	2.0	1.8	2.2	1.8	1.6	1.7	2.24 名	予防
介護	16.9	17.5	17.3	17.5	17.5	17.7	19.3	19.3	18.6	18.2	19.2	18.7	18.12 名	介護
全体	19.7	20.6	19.9	20.0	19.8	19.9	21.3	21.2	20.8	20.0	20.8	20.5	20.365 名	全体
前年人数	783	799	748	729	689	768	750	784	656	675	676	766	8823 名	全体

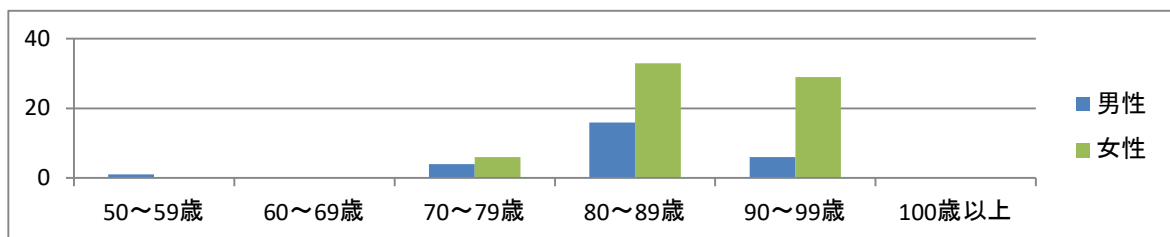


5 町別利用者数 (登録者95名の内訳)

1 岩井町	4 名	7 神戸町	2 名	13 初音ヶ丘	12 名	19 保土ヶ谷	2 名
2 岩崎町	13 名	8 桜ヶ丘	16 名	14 花見台	2 名	20 峰岡	0 名
3 岩間町	4 名	9 瀬戸ヶ谷	5 名	15 藤塚町	0 名	21 明神台	1 名
4 霞台	11 名	10 月見台	3 名	16 仏向町	2 名	22 狩場	9 名
5 帷子町	3 名	11 天王町	0 名	17 法泉	1 名	23 その他	1 名
6 川辺町	1 名	12 西久保	3 名	18 星川	0 名	24	
				合計			
				95 名			

6 利用者平均年齢

	男性	女性		男性	女性
最高年齢	96 歳	99 歳	50～59歳	1 名	0 名
最低年齢	59 歳	71 歳	60～69歳	0 名	0 名
平均年齢	84.9 歳	87.7 歳	70～79歳	4 名	6 名
全体の平均	86.9 歳		80～89歳	16 名	33 名
人数構成	27 名	68 名	90～99歳	6 名	29 名
			100歳以上	0 名	0 名



7 依頼居宅支援事業者 (総件数 95件の内訳)

他事業所	88件 (32事業所)	自事業所	7件 (包0件)
------	---------------	------	----------

8 年間行事

4月	10月	体力測定 避難訓練 (1週間)
5月	11月	
6月 体力測定 避難訓練 (1日)	12月	クリスマス会
7月 夏祭り	1月	
8月	2月	
9月 敬老週間	3月	節分レクリエーション

9 まとめ

令和6年度の月間目標平均人数は、24.3名と設定しておりますが、令和6年4月から令和7年3月までの月の平均人数は20.3名となり、目標を4名少ない結果となりました。入所される方が多く、登録者数が減っている状況です。

今後、登録者数を増やし安定した利用ができるよう、他事業所や介護支援専門員との連携強化をより一層行って参ります。また、新規利用者の柔軟かつ早急な受け入れ態勢を整え、利用者・家族のニーズに合わせたサービスの提供が出来るように内容の見直し検討を行って参ります。今後も、安定した運営ができるよう詳細な部分も考慮するとともに、臨時利用、欠席の振り替えを積極的に行い、利用者及びご家族様により安心したサービス提供できるように努めてまいります。

また、認知症加算が取れるように、職員の研修を実施してまいります。個別機能訓練やニーズに合わせたプログラムの提案、送迎範囲の検討、パンフレットの配布、事業所の挨拶周り、他部署との連携等、他事業所との関係づくりを積極的に行い、利用者のニーズに応えられるようにサービスを提供して参ります。

令和6年度 横浜市常盤台地域ケアプラザ事業報告

＜施設理念＞

- (1) 明るく誰もが温もりを感じることのできる施設運営の実現
- (2) 地域住民主体で夢のあるコミュニティづくりの支援
社会福祉法人なでしこ会は、福祉保健サービスを必要とされる方に対して、個々のニーズに即した積極的な援助を行っていきます。

＜事業目的＞

- (1) 地域ケアプラザの果たすべき役割である「地域における市民の健康で安心・安全な生活」の実現に向けて、横浜市と連携・協働して活動します。
- (2) 福祉・保健の拠点として地域に根差し、「地域包括ケア」推進機関として、また各種自主事業実施施設として具体的な目標設定をして事業運営を行います。
- (3) 介護保険事業に関しては、介護保険法の運営基準に従いながら、ご利用者様満足度の高いサービスの実現を図ります。

＜施設全体として～振り返り～＞

- (1) 第4期地域福祉保健計画(ほっとなまちづくり)の推進に向けて、連合町内会毎に、支援チームの一員として地区懇談会にケアプラザ職員が参加し、地区別計画推進の一助を担いました。
- (2) 横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた『保土ケ谷区アクションプラン』を踏まえた『地域包括ケア』関連事業として、介護予防、認知症支援、ケアマネジャー支援、権利擁護等を実施しました。
- (3) BCP計画を作成、研修して、災害対策及び感染症対策を検討致しました。
- (4) 横浜国立大学(常盤台まちづくり応援団)と協働でワークショップを企画し、『居場所づくり』をテーマに6回開催しました。また、8月・11月にイベント『ときわあそびフェス』『はざわあそびフェス』を開催いたしました。
- (5) 7月『七夕コンサート』10月『秋の利用者発表会&作品展』を開催しました。
- (6) 7月常盤台小学校3年生の社会学習施設見学を実施しました。
- (7) 9月育和幼稚園園児とデイサービスの『敬老交流会』を実施しました。
- (8) チームオレンジのモデル事業を受託して、認知症カフェを実施しました。
- (9) 地域包括支援センターは5月から人員交代(人事異動、新任職員入職)、生活支援コーディネーターは8月から新任職員入職がありましたが、所長及び5職種でカバーしながら事業実施に努めました。
- (10) デイサービスは新規利用者獲得に向けた営業活動を実施しました。利用者数の増加に一定の効果がみられました。
- (11) 事故・苦情については、軽微な車両事故が数件発生致しましたが、物損のみで人身に被害は及びませんでした。引き続き注意喚起等再発防止に努めてまいります。また、昨年度の居宅介護支援事業管理者の介護支援専門員証有効期限切れによる介護報酬の返還を実施致しました。
- (12) 昨年度から継続して経営改善計画を実施しました。一定の収入増につながりましたが、物価高騰などによる経費も増加しており収支改善までには至りませんでした。

＜令和7年度に向けた課題＞

- (1) 『横浜型地域包括ケアシステムの構築』を踏まえた『地域包括ケア』関連事業の継続推進。
(地域ケア会議、多職種連携、介護予防、認知症支援(チームオレンジ等)、ケアマネジャー支援、権利擁護等)基本的な感染症対策の徹底。オンラインでの相談・事業などICTの活用も検討する。
- (2) 第5期 保土ケ谷区地域福祉保健計画(ほっとなまちづくり)の策定支援。
- (3) 高齢者だけでなく、子育て世代や障がい者も含めた多様な地域住民に向けた事業展開。
- (4) 生活支援の充実。地域アセスメントに基づく見守り・支え合いの仕組みづくり。
- (5) ボランティアの発掘・育成と活動範囲の拡充。
- (6) 5職種連携の推進と地域課題の共有。
- (7) 『羽沢横浜国大駅』周辺地域におけるまちづくりの推進。
- (8) 自然災害及び感染症拡大に対応する業務継続計画(BCP計画)の推進。
- (9) コンプライアンス対策の推進。苦情をきっかけとした施設運営の改善。
- (10) 経営状況の改善。収入増につながる利用率の向上と経営収支の改善を目指す。

I. 地域包括支援センター事業 事業報告

令和7年3月末現在

地域包括支援センターは、高齢者の皆様が住み慣れた地域でいつまでも充実した毎日を過ごすために総合的な相談・支援を行う機関であり、主任ケアマネジャー・社会福祉士・保健師の3職種にてお互いに連携して日常生活の支援や様々な相談に応じています。事業内容は総合相談支援・権利擁護包括的・継続的ケアマネジメント、介護予防ケアマネジメント、自主事業を実施している。各事業毎の実績は以下の通りである。

1. 総合相談・支援事業 (令和6年4月～令和7年3月末日迄の実績)

地域の高齢者等に対して面接、電話等による相談を実施し、必要な支援内容を把握するとともに、地域における適切な機関、制度、サービスの利用に繋げる等の支援を行うほか、相談者からの依頼を受けて必要がある場合に、相談者の自宅等を訪問し、安否確認、情報提供、各種福祉保健サービスの申請受付等に努めている。

相談事業実績 合計 1033 件 前年度(3月末日) 756 件

利用方法別		手 段			時 間 帯	
新規	継続	面接	電話	FAX・その他	9～17	17～21
308	725	152	864	17	1019	14
合計	1033 件	合計 1033 件			合計	1033 件

対象者別 合計 762 件					65歳以上	
自立	事業対象者	要支援	要介護	その他	40～64歳	要支援・要介護
112	0	221	259	170	20	11

相談者別 合計 1145 件 (重複有り)								
本人	家族	地域住民	サービス事業者	施設・医療	区役所	区社協	他のケアプラザ	その他
205	519	88	138	117	50	3	6	19

相談内容別 合計 1461 件 (重複有り)											
介護保険	介護予防事業	包括支援事業	行政サービス	インフォーマルサービス	介護医療	施設入所入院	日常生活課題	苦情	成年後見	虐待	その他
785	3	0	10	21	119	19	403	1	36	36	28

訪問事業実績 合計 71 件 前年度(3月末日) 10 件

利用方法別

分 類		訪 問 先			時 間 帯	
新規	継続	家庭	病院・施設	その他	9～17	17～21
58	13	69	2	0	71	0
合計	71 件	合計 71 件			合計	71 件

対象者別 合計 71 件

65歳以上					40～64歳	
自立	事業対象者	要支援	要介護	その他	要支援・要介護	その他
29	0	12	25	0	5	0

援助内容別 合計 109 件（重複有り）

安否確認 状況確認	介護・保健等 指導助言	申請受付		他機関等との サービス調整	情報提供	その他
		介護保険	行政サービス			
60	12	10	0	15	12	0

2. 地域ケア会議（令和6年4月～令和7年3月末日迄の実績）

多職種による個別事例の検討を通じ、高齢者の自立に資するケアプランにつなげていくとともに、個別事例の検討を積み重ねることによって、地域課題を発見し、新たな資源開発につなげていく。

個別地域ケア会議・包括圏域地域ケア会（令和6年4月～令和7年3月末日迄の実績）

開催月	内 容	参加人数
7月31日	認知症独居高齢者の在宅生活支援についての考え方	14人
10月30日	安心して暮らせる地域づくりに向けて（包括圏域）	30人
合計	2回	44人

3. 権利擁護事業（令和6年4月～令和7年3月末日迄の実績）

福祉保健関係者とのネットワークを構築し、支援を要する方を早期発見し相談に繋げられるように体制を整備すると共に、研修に参加し業務遂行に必要な実践的知識・情報の習得に努めている。また、地域の方へ情報を提供している。

認知症連絡会・虐待担当者会議(保土ヶ谷区)

開催月	内 容	参加人数
5月10日	認知症担当者部会(今年度の認知症事業の年間計画・打ち合わせ)	15人
6月20日	成年後見サポートネット専門職会議・全体会	28人
7月12日	認知症担当者部会(情報交換、メイト連絡会、講演会、SOS連絡会打ち合わせ)	13人
8月9日	認知症担当者部会(講演会打ち合わせ)	11人
9月19日	成年後見サポートネット専門職会議・全体会	27人
9月13日	認知症担当者部会(情報交換、講演会、区民祭り、SOS連絡会打ち合わせ)	16人
11月8日	認知症担当者部会(情報交換、SOS連絡会打ち合わせ)	15人
11月17日	市民後見サポートネット	28人
12月19日	成年後見サポートネット専門職会議・全体会	60人
1月10日	認知症担当者部会(情報交換、SOS連絡会打ち合わせ、来年度の計画について)	16人
2月19日	認知症高齢者等SOSネットワーク連絡会	32人
3月11日	認知症初期集中支援チーム検討委員会	28人
3月13日	成年後見サポートネット専門職会議	16人
3月14日	認知症担当者部会(情報交換、今年度の振り返り・来年度の計画、チームオレンジについて)	14人
合計	14回	202人

認知症・権利擁護関係研修

職員が研修に参加し業務遂行に必要な実践的知識・情報の習得に努めている。

開催月	内 容	参加人数
7月5日	地域包括支援センター基礎研修（権利擁護支援）	2人
7月23日	保土ヶ谷区包括・区職員向け高齢者虐待防止研修	2人
7月26日	権利擁護支援・地域連携ネットワークの実践研修	1人
8月20日	キャラバンメイト養成研修	2人
9月3日	後見開始等申立書統一書式説明会	1人
10月22日	チームオレンジ研修	1人
1月29日	研究会社会福祉士分科会申立て支援研修	1人
2月3日	生活困窮者自立支援制度セーフティネット会議	1人
2月17日	高齢者虐待対応力向上研修	1人
2月26日	在宅高齢者虐待防止事業応用研修	1人
合計	10回	13人

権利擁護講座・相談会

事業所、地域の方への情報提供、普及啓発、利用促進のための事業。

開催月	内 容	参加人数
6月5日	消費者被害・消費生活総合センターについての情報提供を実施	38人
8月23日	ときわcafé＋オレンジプラスにて高齢者施設についてミニ講義を実施	17人
9月12日	遺言・相続の講演会及び個別相談会を開催	21人
10月29日	成年後見制度についての講演会を開催	27人
合計	4回	103人

介護者のつどい

地域の方々を対象に介護に関する情報提供や医療に関する勉強会を開催し在宅生活の安定を図る。

開催月	内 容	参加人数
7月25日	介護施設の種類と費用について	29人
9月26日	懇談会	5人
11月27日	食事サービス試食会	4人
1月23日	エンディングノートについて	6人
3月27日	懇談会	4人
合計	5回	48人

4. 包括的・継続的ケアマネジメント事業（令和6年4月～令和7年3月末日迄の実績）

地域における包括ケア体制の構築のために地域の介護支援専門員を対象とした専門家との相談会、研修会・意見交換会(ケアマネ連絡会、合同ケアマネ連絡会、地域ケア会議)を実施している。

また、地域の方々へ情報発信とは別に介護・医療セミナーを開催している。

ケアマネ連絡会

開催月	内 容	参加人数
5月15日	合同ケアマネ連絡会「高次脳機能障害」	25人
5月16日	ときわの輪「心臓リハビリテーション」	18人
6月27日	ほどがやケアマネット「障害の支援について」	39人
7月24日	多職種連携会議	37人
6月19日	合同ケアマネ連絡会「介護保険制度改正について」	27人
9月19日	合同ケアマネ連絡会「パーソナリティ障害」	34人
10月23日	多職種連携会議全体会	63人
10月26日	ほどがやケアマネット「ケアマネジャーは何をするひとですか」	31人

12月19日	合同主任ケアマネジャー研修「ファシリテーションとは」	12人
1月15日	合同介護予防ケアマネジメント伝達研修	21人
2月27日	民生委員・児童委員とケアマネジャーの交流会	52人
合計		359人

サービス担当者会議の開催支援や抱えている困難事例等への相談支援の実施。また新任・就労予定のケアマネジャーが円滑に業務が進められるよう、区単位で実習の受入調整・支援を実施している。

ケアマネジャー相談支援

	相談件数	相談内容														対応										
		介護保険制度 行政サービス情報関連	地域情報関連	ケアプランの作成・内容等	支援困難事例への内訳											制度・行政サービス等の説明・情報提供	地域情報の提供	ケアプラン・ケアマネジメントの助言・指導	対応・他機関との調整						同行訪問	その他
					認知症	精神疾患	ターミナル	医療的支援	独居・高齢世帯介護力不足	サービス・支援拒否	家族の対応・支援	経済的問題	虐待	成年後見制度・消費者被害	その他				居宅サービス事業者等	インフォーマルサービス	在宅医療連携拠点（在宅医療相談室）	施設・医療機関	区役所	その他		
4月	1人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
5月	2人	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
6月	4人	0	0	0	0	1	0	2	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0	2	0	0	1	1	0	2	
7月	5人	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	3	0	0	0	1	0	1	
8月	2人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	
9月	3人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	
10月	3人	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	
11月	3人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	
12月	4人	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	1	2	0	0	4	0	0	0	1	0	0	
1月	7人	0	0	0	1	0	0	0	1	0	3	1	1	1	1	3	0	0	7	0	0	0	2	0	0	
2月	2人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	
3月	3人	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	1	0	1	0	0	0	1	0	0	
合計	39人	0人	0人	0人	3人	2人	0人	4人	2人	5人	11人	3人	4人	8人	7人	7人	2人	0人	17人	2人	0人	0人	8人	4人	2人	9人

新任・就労予定ケアマネジャー研修

開催月	内 容	参加人数
9月26日	横浜市一般行政サービス・社会福祉協議会・資源循環局サービス等座学	19人
11月20日	反町福祉機器センター見学	12人
合計		31人

地域密着型サービス運営推進会議他

地域密着型サービスの運営推進会議参加。運営状況等確認、アドバイス。

開催月	内 容	参加人数
6月6日	認知症対応型共同生活介護(みんなの家横浜三ツ沢公園)	7人
7月2日	地域密着型通所介護(早稲田イーライフ三ツ沢公園下)	4人
7月17日	地域密着型通所介護(デイサービスふるさと和田町)	3人
9月13日	認知症対応型共同生活介護(セントケアホーム保土ケ谷)	4人
9月27日	地域密着型通所介護(サロンデイリフレ和田町)	7人
11月8日	認知症対応型共同生活介護(セントケアホーム保土ケ谷)	3人
1月10日	認知症対応型共同生活介護(セントケアホーム保土ケ谷)	4人
1月11日	認知症対応型共同生活介護(セントケアホーム保土ケ谷)	3人
2月27日	合同運営推進会議(15事業所)	52人
3月14日	認知症対応型共同生活介護(セントケアホーム保土ケ谷)	3人
合計	6回	90人

5. 介護予防事業

(令和6年4月～令和7年3月末日迄の実績)

介護予防の普及啓発活動や地域からの情報提供、本人・家族からの相談等、様々な経路から情報収集を行い、要介護状態になる可能性が高い高齢者を早期に把握するよう努めている。自主化を目指した講座の開催や、フレイル予防のための居場所として新規の事業を立ち上げ、介護予防に対する取り組みを行っている。コロナ禍の影響を受けて活動意欲や参加者が減少している既存の活動グループの支援を行いながら事業を展開していく。

介護予防事業実績

介護予防普及啓発事業 合計

開催日	事業名	内容	参加人数
4月1日	ゆうゆうサロン	健康講座	25人
4月10日	男性かがやき塾コーヒー講座	おいしいコーヒーの淹れかたの知識と実践、自主グループ化支援	8人

6月19日	きらきら長寿ときめき塾inつながりサロン6/19.2/19	フレイル総論、ロコモ・フレイル予防+口腔機能向上+栄養改善 お薬のお話	45人
6月21日	きらきら長寿ときめき塾inほつとなサロン6/21.2/21	フレイル総論、ロコモ予防・脳トレ、栄養改善、口腔	60人
7月16日	アートで脳トレ♪	アートセラピーを通し認知症予防	11人
6月5日	健康講座～生活習慣病予防シリーズ～6/5.9/4.3/5	心筋梗塞、高血圧について、病態と予防行動、生活習慣改善	75人
9月26日	きらきら長寿ときめき塾9/26.10/10.10/24	ロコモ、脳トレ、栄養、口腔	45人
11月29日	足元から元気な体づくり～転ばない体づくりをしましょう～	フットケア	20人
1月21日	楽しくコグニサイズ	脳トレ、体操	10人
1月29日	アーティフィシャルフラワーアレンジメント	認知症予防	8人
2月17日	ゲームスポーツ体験出前講座	社会参加	14人
3月13日	春のフラワーアレンジメント(生花)	認知症予防	6人
合計	18回		327人

介護予防活動支援事業 合計

開催日	事業名	内容	参加人数
4月17日	つながりサロン		23人
4月25日	きらり峰沢		8人
8月28日	地域活動グループリーダー連絡会(運動系)	体力測定、個人とグループへ評価	16人
11月19日	ノルディックウォーキングin三ツ沢公園	ノルディックウォーキング	16人
12月5日	地域活動グループリーダー連絡会	運動グループのリーダーに集まっていたいただきフレイル総論、ロコモ予防、転倒予防、社会	17人
12月12日	きらり峰沢	体力測定、個人とグループへ評価、社会参加	15人
12月18日	つながりサロン	フレイル総論、ロコモ予防、体操、社会参加	12人
2月26日	ふれあいかまや	口腔フレイル、社会参加	12人
合計	8回		104人

6. 介護予防支援、介護予防ケアマネジメント事業

(令和6年4月～令和7年3月末日迄の実績)

「要支援1」「要支援2」に認定された方の介護予防支援サービス・支援計画書の作成を実施している。
また、業務の一部を居宅介護支援事業者の介護支援専門員に委託できることとなっており、介護予防支援サービス・支援計画書作成委託契約の上、介護予防支援、介護予防ケアマネジメントをお願いし、管理・実施をしている。

介護予防支援、介護予防ケアマネジメント事業実績

指定居宅介護支援事業所に委託している件数 延合計 2685人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	委託利用者数
新 規	9	6	6	5	11	8	4	7	7	6	6	13	88
継 続	213	118	220	226	221	233	235	231	228	225	224	223	2597
合 計	222	124	226	231	232	241	239	238	235	231	230	236	2685

	直 接				委 託				直接	委託	合計
	要支援1		要支援2		要支援1		要支援2				
	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続			
4月	0	2	0	5	3	60	6	153	7	222	229
5月	0	1	0	3	2	61	4	157	4	224	228
6月	0	0	0	2	3	63	3	157	2	226	228
7月	0	0	0	2	3	79	2	147	2	231	233
8月	0	0	0	2	7	68	4	153	2	232	234
9月	0	0	0	2	5	75	3	158	2	241	243
10月	0	0	0	2	0	76	4	159	2	239	241
11月	0	0	0	2	4	73	3	158	2	238	240
12月	0	0	0	2	2	74	5	154	2	235	237
1月	0	0	0	2	1	72	5	153	2	231	233
2月	0	0	0	2	4	70	2	154	2	230	232
3月	0	0	0	2	4	72	9	151	2	236	238
合計	0	3	0	28	38	843	50	1854	31	2785	2816

7. 協力医による活動

定期的にケアプラザへ来所して頂き、事業への協力をしていただく。

感染症対策を継続しながら、今後も協力を求めている。

開催日	区 分	相談内容等	相談人数
2024/6/26.10/30	ケアプラザ	運営協議会	23人
7月31日	ケアプラザ	個別地域ケア会議	14人
9月26日	ケアプラザ	地域住民の相談	16人
2025/2/28.3/26	ケアプラザ	職員等からの相談・情報提供	
合計		6回	53人

8. 自主事業

(令和6年4月～令和7年3月末まで)

キャラバン・メイト連絡会

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り支援する市民(認知症サポーター)を一人でも多く増やすための普及啓発活動や認知症の人が住み慣れた地域で自立した生活を継続できるサポート体制の構築するための連絡会と講座を開催する。

開催日	内 容	参加人数
8月20日	保土ヶ谷区キャラバンメイト連絡会	34人
合計	1回	34人

認知症サポーター養成講座

開催日	場 所	参加人数
7月2日	常盤台地域ケアプラザ(常盤台小学校3年生)	42人
7月3日	常盤台地域ケアプラザ(常盤台小学校3年生)	42人
7月14日	常盤台地域ケアプラザ(常盤台小学校3年生)	42人
8月22日	常盤台地域ケアプラザ(オレンジランプ作り①にて)	7人
8月29日	常盤台地域ケアプラザ(オレンジランプ作り②にて)	7人
9月25日	保土ヶ谷公会堂(認知症講演会)	351人
11月20日	横浜国立大学「都市科学部」	60人
1月24日	中央東部地区地域住民(鎌谷町自治会館)	12人
2月5日	中央東部地区地域住民(峰沢町岡沢町自治会館)	14人
2月20日	保土ヶ谷中学校3年生	293人
合計	10回	870人

出張講座

地域ケアプラザ並びに地域包括支援センターの役割や、介護予防、各種制度の周知等に加えて、地域の高齢者の実態把握を目的に実施している。また、地域の希望に応じて介護予防普及啓発の講座や健康講座も実施して

開催日	内 容	場 所	参加人数
7月19日	健口の話、お口の体操	常盤台東部食事会	13人
7月22日	脳トレ、お薬の話	たまり場	19人
8月15日	お独り様講座、エンディングノート、介護保険	サロン・ふらっと109	26人
9月16日	健口の話、お口の体操	ルネ上星川自治会	12人
10月16日	介護保険について	上星川東部自治会館	23人
12月2日	ゆうゆうサロン	峰沢町岡沢町自治会館	22人
合計	6回		115人

チームオレンジ

認知症サポーターの近隣チームを、認知症の人や家族に繋ぎ、生活面の早期からの支援等を行います。

今年度は以下のような取り組みが行われました。

開催日	内 容	場 所	参加人数
4月19日	Nカフェinイオン天王町スターバックス	天王町スターバックス	2人
5月17日	Nカフェinイオン天王町スターバックス	天王町スターバックス	3人
6月14日	オレンジガーデン(花の植え替え)	常盤台地域ケアプラザ	8人
6月21日	Nカフェinイオン天王町スターバックス	天王町スターバックス	2人
7月19日	Nカフェinイオン天王町スターバックス	天王町スターバックス	2人
8月22日	オレンジランプ作り① ステップアップ研修	常盤台地域ケアプラザ	7人
8月23日	ときわcafé＋オレンジプラス	常盤台地域ケアプラザ	17人
8月29日	オレンジランプ作り② ステップアップ研修	常盤台地域ケアプラザ	7人
9月20日	Nカフェinイオン天王町スターバックス	天王町スターバックス	2人
10月6日	利用者発表会(チームオレンジPR活動)	常盤台地域ケアプラザ	25人
10月18日	Nカフェinイオン天王町スターバックス	天王町スターバックス	2人
10月25日	ときわcafé＋オレンジプラス	常盤台地域ケアプラザ	28人
11月15日	Nカフェinイオン天王町スターバックス	天王町スターバックス	2人
11月22日	オレンジガーデン(花の植え替え)	常盤台地域ケアプラザ	2人
12月20日	Nカフェinイオン天王町スターバックス	天王町スターバックス	6人
12月27日	ときわcafé＋オレンジプラス	常盤台地域ケアプラザ	39人
1月17日	Nカフェinイオン天王町スターバックス	天王町スターバックス	3人
1月20日	「オレンジ・ランプ」上映会	常盤台地域ケアプラザ	46人
2月10日	丹野智文さん講演会「認知症と共に生きてゆく」	常盤台地域ケアプラザ	54人
2月21日	Nカフェinイオン天王町スターバックス	天王町スターバックス	2人
3月21日	Nカフェinイオン天王町スターバックス	天王町スターバックス	3人
合計	21回		262人

Ⅱ. 地域活動・交流事業 事業報告

令和7年3月末現在

地域活動事業は、子どもや高齢者、障がい者等、地域に暮らす全ての人たちが、孤立することなく地域の一員として、自分らしく支え合って暮らせる地域づくりを推進できるよう努めています。住民主体の地域づくりが推進するよう、地域福祉保健計画を軸とした事業展開を行い、子育て、障がい、高齢、ボランティア等の福祉に関する事業を実施します。ケアプラザは4連合地区を担当している為、ケアプラザでの実施だけではなく地域に出向いた形での出張講座をケアプラザ主催もしくは関係機関等と共催にて実施し、様々な交流の場を提供致します。また、福祉保健活動拠点としての役割を更に活かすため、地域のボランティア団体・自治会との連携を図り、活動団体へ向けた部屋利用促進も図っています。様々な取組等の検討を区役所および区社会福祉協議会と重ね、地域との信頼関係が継続できるように努めております。

(1) 地区支援取組状況

第4期地区別計画策定・推進に向けて、所長および地域包括支援課、地域生活支援課と協働し、区役所、区社会福祉協議会とともに各地域の状況やニーズ把握に努めています。地域住民主体の活動を後押しできるよう、地域住民と地域の目指す姿を共有し、住民主体の地域づくりが更に推進するよう努めています。

地 区	頻 度	参 加	内 容
常盤台地区	毎月第1金曜日	12 回	羽沢横国まちづくり協議会 広報部会での「地域まちづくりニュース」の作成
生活支援体制整備事業(4)を参照			

(2) ネットワーク関係

○子育て支援連絡会全体会

全体会は区域で子育て支援を行っている施設や団体、個人のネットワークを広げたり、他のエリアの事例を聞き勉強し、地域の子育て支援を実施して行く目的で開催されています。

開催回数 1 回 参加者 200 名

○常盤台エリア子育て支援連絡会

子育て支援連絡会は地域で子育て支援を行っている施設や団体、個人の子育て支援を広げていくために開催され

ています。一例として公園マップを作成し完成しました。又、関係機関とのネットワークをを広げていくための情報交換の場として開催されています。

開催回数 2 回 参加者 62 名

※上記の連絡会に向けての協議や地域状況の共有等を目的とした事務局会議を適宜実施しています。

開催回数 3 回 参加者 40 名

○その他 取り組み

2024 7/5・11/19・1/21常盤台地区子育て支援事務局会議
 2024 6/11・8/29 2025.2/5常盤台地区支援チーム会議
 2024 7/2・3・8 常盤台小学校 認知症サポーター養成講座へ参加
 2025 1/24 鎌谷町自治会館 //
 2025 2/5 峰沢岡沢町自治会館 //
 2025 2/20 保土ヶ谷中学校 //

(3) 自主事業（当初計画および状況報告）

計 画 事 業 名	実 施 予 定 頻 度	講 師 など	参 加 者	内 容
ときわの森 子育て広場	毎月第4 木曜日	佐藤 亜紀氏 緑川真紀子氏	119名	4月パラバルーン音とリズム遊び・小物づくり 5月緑川先生と親子で遊ぼう 6月音とリズム遊び・絵具と紙粘土 9月音とリズム遊び・お医者様のおはなし 10月緑川先生と親子で遊ぼう11月幼児向けアートセラピー 1月お話し会・おやつ試食会 2月ミニコンサート 3月ヒーローに変身・認知症について(父母向け)
ときわの森子育て広場 水遊び	7月25日 8月1日	子育てボランティア	28名	ケアプラザの外庭で噴水シャワー・魚釣り・シャボン玉や水でつぼうで遊ぶ。
ときわの森親子で楽しむ クリスマス	12月7日	佐藤 亜紀氏	8名	音とリズム遊びの内容でクリスマス会を開催 サンタからのプレゼントがあり、ボランティアも見守りながら参加した。

ときわの森 らくらくストレッチ体操教室	毎月1回 月末頃	緑川真紀子氏	90名	無理なく、安全にイスに座ってストレッチを行う。講師の楽しい会話を交えながら、わかりやすい動作で行う体操教室。
ときわの森 美と健康体操	毎月第1 水曜日	仲保裕美子氏	295名	体感とトレーニング・筋力アップのストレッチ・骨盤矯正・姿勢分析など、美しい姿勢を保つ事を意識しながら行う体操教室。
ときわの森 音と音楽で遊ぼう	毎月第1 水曜日	有富正子氏	18名	音楽療法のできる講師を招いて、発達にかたよりのある児童の統合調整を行う。
園芸ボランティア活動	毎月第3 月曜日	常盤台コミュニティハウス 共催	109名	2階の共有部分の中庭や花壇の整備をボランティアが中心になって季節の花などをみどりの協会より定期的に購入して植えていく。
ときわの森 おもちゃ病院	毎月第2 土曜日	おもちゃ病院ボランティ ア	64名	ボランティアのおもちゃドクターの協力により壊れたおもちゃを修理して、再び使えるようになる事で物を大切するところを伝える。
歌声サロン	毎月第1 火曜日	工藤 圭 氏	330 名	地域の中高年を対象に開催。皆で声を出して歌うことで地域住民同士の交流を図る又発声による健康維持も図る。
無料食品配布会	偶数月 第2金曜日	NPO法人ちゃっと NPO法人ぎんがむら	590名	寄付のあった食品や日用品を4・5点まとめて、子どもを含めて地域の方々に無料配布する。
ときわの森七夕コンサート	7月9日	横浜国立大学吹奏楽団	126名	横浜国立大学吹奏楽団の地域の方を招いての演奏会アンサンブル演奏や楽器の紹介と最後にフルアンサンブルの演奏、開演前にデイスービスで演奏も行う。
秋の利用者発表会&作品展	10月6日		250名	ケアプラザ、コミュニティハウスの利用団体が日頃の成果を披露、地域の方の観ていただく。
貸室お掃除大作戦	12月中		158名	登録団体の方に12月の部屋利用後にいつもより念入りに掃除をしていただく取り組み
アーティフィシャルフラワー アレンジメント	1月19日	横澤千佳子氏	8名	専用のワイヤーでねじったり巻き巻きしたり、手先を使って季節の花(造花)で壁飾りを作成していく。
ゲームスポーツ体験 出張講座	2月17日	横浜市より講師派遣	14名	横浜市eスポーツ×アクティブシニアプロジェクトの取り組みで太鼓のボーリングゲームを体験してもらう。
よこはまシニアボランティア ポイント研修会	3月3日	ケアプラザ職員	4名	65歳以上の高齢者にボランティア活動をやっていただくポイントが付与される横浜市の取り組みの研修会。
ときわ図書	閉館日以外 毎日		60冊	リサイクル本の貸出し図書を利用し、読み終わった読書感想を指定の用紙に書いていただいて、次に借りる方の参考にしてもらう。

(4) 他ケアプラザ、関係機関等との共催事業(当初計画および状況報告)

計 画 事 業 名	実施日・実施予定日	参 加 者	内 容
ほっとフレンズ2024夏 ボランティア研修	7月20日 7月28日	16名	岩崎地域ケアプラザで運動会を開催した。区、子ども方支援課 区内地域活動交流コーディネーター、区社会福祉協議会、保土ケ谷養 護学校、基幹支援センターと一緒に障がいをもったお子さんと父兄が参 加した
ほっとフレンズ2024春 ボランティア研修	3月1日 3月23日	19名	川島地域ケアプラザでボッチャ大会を開催。区、子ども方支援課 区内地域活動交流コーディネーター、区社会福祉協議会、保土ケ谷養 護学校、基幹支援センターと一緒に障がいをもったお子さんと父兄が参 加した。
ほどがや区民まつり	10月19日	600名	「ケアプラザ不思議発見」として地域住民向けにケアプラザを知ってもらう ためのクイズを行って景品を配る。

(5) 後方支援事業

自主事業等から発足した団体等の後方支援を行い、活動団体運営の安定化を図っております。

事 業 名	実 施 日	実施回数	内 容
手作りパン教室の会	5月11日7月13 日 9月14日11月9 日	6 回	自主事業で開催後自主グループとしてパン教室として活動をしている。 今後、ボランティアとしてイベントへ参加を予定している。
お楽しみ手芸教室	第4土曜日	6 回	ボランティアの協力のもと木目込み人形作成している自主グループ、利 用者発表会での作品展示に参加。 新型コロナウイルス感染拡大の影響で4月～8月は開催なし。

韓国語教室・じゃんけんぽん	第2・4 木曜日	48 回	第1回韓国語講座からの自主グループ。 横浜国立大学留学生講師に招いて韓国語を学ぶ。
韓国語教室・アンニョン	第1・3 火曜日	21 回	第2回韓国語講座からの自主グループ。 横浜国立大学留学生講師に招いて韓国語を学ぶ。
ダンスクラブ	第1・3 木曜日	20 回	ケアプラザ事業から発展して自主グループとなりジャズダンスを練習、イベントやデイサービスでのボランティア活動につながっている。
ヨーガ教室	第1・3 金曜日	23 回	ヨーガの基本的なポーズとストレッチを専門講師の指導のもと年代を問わず無理なく運動を進めていく。

(6) 広報誌の発行

発行回数 毎月発行 発行部数 1200部/月

主な自主事業のチラシは、自治会の掲示板にも掲示。

又、事業参加者募集に関しては、ホームページにも掲載依頼を行っております。

(7) 貸し館状況

・件数実績(R6.4-R7.3) 今年度

部屋別	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計
多目的ホール	142件	145件	136件	132件	555件
調理室	18件	32件	28件	27件	105件
ボランティア室	49件	63件	65件	55件	232件
地域ケアルーム	57件	70件	64件	61件	252件
合計	266件	310件	293件	275件	1144件

・前年件数実績(R5.4-R6.3)

部屋別	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計
多目的ホール	159件	141件	135件	154件	589件
調理室	13件	11件	26件	20件	70件
ボランティア室	57件	40件	54件	46件	197件
地域ケアルーム	64件	65件	71件	81件	281件
合計	290件	257件	286件	301件	1134件

・利用率(R6.4-R7.3) 今年度

時間帯	多目的ホール	調理室	ボランティア室	地域ケアルーム
9-12時	31%	14%	18%	22%
12-15時	60%	14%	19%	17%
15-18時	40%	7%	12%	14%
18-21時	13%	1%	12%	9%

前年利用率(R5.4-R6.3)

時間帯	多目的ホール	調理室	ボランティア室	地域ケアルーム
9-12時	39%	8%	16%	25%
12-15時	62%	8%	17%	16%
15-18時	46%	5%	10%	11%
18-21時	13%	3%	10%	6%

※横浜市の通知に基づき、様々な感染症の感染拡大防止に留意した施設運営を行っています。
社会情勢により都度の利用内容の変更が伴うこともありますが、貸室団体とのコミュニケーションを図りながら、
感染防止対策を徹底し、より多くの皆様にプラザを活用していただけるよう、引き続き努めていきます。

(8) ボランティア関係

団体名	内容	登録者数	実施回数
子育て広場 (水遊び・含む)	未就園児の自主事業内の見守り	3名	25回
ノルディックウォーキング	中高年のウォーキング	2名	14回
園芸ボランティア	ケアプラザ・コミュニティハウス内の庭の整備、花植え	8名	11回

おもちゃ病院	壊れたおもちゃを修理	1名	11回
デイサービス(個人)	デイサービスで、お話し相手・お茶出し、ドライヤーかけ	2名	96回
デイサービス(団体)	デイサービスで、横浜国立大学吹奏楽団による七夕コンサート デイサービスで なるこ会 踊り	10名 4名	2回
音と音楽で遊ぼう	発達にかたよりがある小中学生の余暇支援の見守り	1名	4回

※今後も引き続き活動が円滑に実施できるよう地域包括支援、地域生活支援と協働しながら支援に努めていきます。

(9) その他 取組状況

項目名	頻度	参加 回数	内容
地域活動・交流CO連絡会	毎月1回	12回	区内他ケアプラザコーディネーターとの情報共有、共催事業についての協議・検討、研修会等の実施。
子育て支援連絡会エリア別	年2回	6月28日 1月21日	子育て支援に関わるみんなが話し合い、身近な地域で安心して子育てができる地域づくりを目指ことを目的としている。
保土ケ谷区子育て支援連絡会事務局会議	年3回	7月5日 11月19日 1月21日	エリア別子育て支援連絡会が、各エリア別の地域福祉保健計画と連動して運営できるよう各エリアの課題などを共有し、区と関係機関と一緒に取組むことを目的に実施。
保土ケ谷区子育て支援連絡会全体会	年1回	3月7日	地域で安心して子育てができるための環境づくりを推進するため、子育て支援を行っている関係機関・者のネットワークを構築するとともに、子育て支援の情報の整理・共有、意識の工場を目指す。
ケアプラザ・コミュニティハウス会議	毎月1回	11回	各自主事業、共催事業、や施設管理の情報と共有打合せを行うことで施設間のコミュニケーションを図る。
ほっとフレンズ実行委員会	開催日まで	10回	保土ケ谷区学齢障がい児余暇支援事業としてほっとフレンズの開催にむけて区内ケアプラザのコーディネーターと関係機関の委員会を開催。

Ⅲ. 生活支援体制整備事業 事業報告

令和7年3月末現在

地域のインフォーマルサービスの整備や担い手の発掘、地域の基盤整備等地域の様々な活動把握を行い、ニーズに応じて運営をしております。
地域の発展やニーズに応えるため、出張講座や地域の取組への参加、介護保険事業所や民間企業との連携、協議体、自主事業等を行っております。
また、地域の見守りについて強化を図る為、担当の4地区に全てにおいて共有する機会を設け、地域と民間企業、地域ケアプラザが繋がるきっかけづくりを行っております。
地域の活動団体の継続を目標とし、継続に対するノウハウを伝えたり、共に考えることで、地域と一緒に動くことを念頭に置き支援しております。

(1) 自主事業(生活支援課共催事業【他事業所共催含】)

事業名	実施日	講師など	参加者	内 容	開催
ワークショップ	令和6年5月25日 7月20日、10月13日、 令和7年2月15日	横浜国立大学 藤岡泰寛氏	112名	地域住民と学生が話し合い、住みやすいまちづくりについて検討する。「地域の居場所づくり」をテーマに話し合いなどを行った。	横浜国立大学 (常盤台まちづくり応援団)共催
地域活動グループリーダー連絡会	令和6年8月28日 12月5日、12月12日、 12月18日、令和7年2月26日	さかいりハ訪問看護 ステーション・横浜 林野翔太氏	78名	運動系のグループにPTより体力測定や体操を行った。 また、必要に応じて個々のグループにも支援を行った。	地域包括共催
将来のリスクに備えるお独り様向け講座	8月15日	メモアール 粕谷昌郎氏	29名	市社協が提供する「企業の特徴を活かした地域向け無料講座」のプログラムを利用し、葬儀などの情報提供をする講座を行った。	地域包括共催
ときわあそびフェス	8月24日	横浜国立大学 藤岡泰寛氏	100名	地域の居場所づくりを目的に地域住民とのつながりを深めるイベントを行った。	横浜国立大学 (常盤台まちづくり応援団)共催
はざわあそびフェス	11月9日	横浜国立大学 藤岡泰寛氏	300名	地域の居場所づくりを目的に地域住民とのつながりを深めるイベントを行った。	横浜国立大学 (常盤台まちづくり応援団)共催
アーティフィシャルフラワー	1月29日	横澤千佳子氏	14名	地域住民に改めてケアプラザを知ってもらう機会を作る。 また、多世代交流の場とする。高齢者に対しては五感を使うことで認知症の予防も目的として行った。	地域包括・地域 活動交流共催
歯の健康講座	2月13日	小柳歯科クリニック 小柳弘男氏	21名	地域住民に歯の健康について学ぶ機会を提供し、重要性や必要性を理解したうえで自ら予防に取り組むきっかけにするため実施した。	地域包括・地域 活動交流共催
ゲームスポーツ体験出前講座	2月17日	株式会社 ブレイケア	14名	横浜市の「eスポーツ×アクティブシニアプロジェクト」より、ゲーム機の貸与と講師派遣を受け、ゲームスポーツの体験会を実施した。	地域包括・地域 活動交流共催
よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	3月3日	講師無し	4名	元気な高齢者の社会参加の促進や介護予防のため、「よこはまシニアボランティアポイント」の研修と登録会を実施。新たな人材の育成を行った。	地域活動交流 共催
春のフラワーアレンジメント	3月13日	小川洋子氏	6名	地域住民に改めてケアプラザを知ってもらう機会を作る。また、多世代交流の場とする。高齢者に対しては五感を使うことで認知症の予防も目的として行った。	地域包括・地域 活動交流共催

(2) 地域活動・団体立ち上げ・継続支援(常盤台CP以外での活動等)

団体・活動名	地区	運営	対象	内 容	支援
常盤台ささえあいネットワーク「ありが隊」	常盤台地区	常盤台地区 社会福祉協議会	常盤台地区	生活支援ボランティア団体の運営(窓口等)	運営支援 継続支援
羽沢横国まちづくり協議会	常盤台地区	羽沢横国まちづくり 協議会	羽沢地区・常盤台地区	「地域まちづくりプラン」の策定のため協議を行う。ケアプラザと横浜国立大学と共催で行うワークショップと連動している。ケアプラザは事務局を務めており、連絡・調整を行う。	運営支援
桜美林ハイツ・桜台ハイツ 買い物支援	常盤台地区	桜美林ハイツ・桜台 ハイツ自治会	中央東 部地区	買い物困難の解消のために協議体を持ち、買い物困難の解消を目指すために支援を行う。	協議体立ち上げ 継続支援
ときわステップ会	常盤台地区	ときわステップ会	どなたでも	スクエアステップを行う活動グループの継続支援	継続支援

(3) 後方支援事業

常盤台地域ケアプラザ自主事業から発足した団体の後方支援を行い、団体の安定化を図っております。

事業名	実施日	実施回数	内 容
男性かがやき塾 コーヒー編	月1回	7回	シニア男性を中心にコーヒーの入れ方を学ぶ講座。男性の居場所作りや活躍のきっかけ作り。

(4) 地区支援取組状況

担当する4地区の会議等に参加し、地域のニーズや目指す方向性の確認、検討を行っております。

地 区	頻度	参 加	内 容
常盤台地区	随時	12回	・常盤台地区連合町内会定例役員会議 ・常盤台地区社協便利マップづくり会議 ・羽沢横国まちづくり協議会(サインづくり推進会) ・常盤台ささえあいボランティアありが隊運営会議(協議体) ・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 等
和田・釜台地区	定例会は 2ヶ月に1回 (その他必要に 応じ随時)	6回	・たまり場/HO運営委員会(協議体) ・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 等
中央東部地区	定例会は 2ヶ月に1回 (その他必要に 応じ随時)	7回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 等 ・中央東部地区社協総会・役員会 ・ほっとなサロン ・シャキッと岡沢
上星川地区	必要に応じ随時	5回	・上星川地区社協総会・役員会、拡大執行会議 ・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 等 ・つながりサロン

(5) 生活支援取組状況

生活支援関係のニーズ把握や、地域との関係作りの為、下記の取組を行って参りました。
また、地域包括支援センター、地域活動交流事業と連携を図り、地域からの講座依頼等には、積極的に参加や協力しております。4地区担当をメリットと捉え、他地区の情報や知識を活かしながら、活動しております。

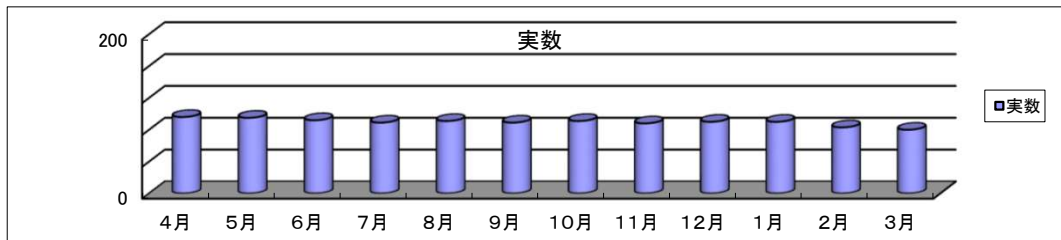
参加項目名	内 容	頻度	参加
生活支援Co連絡会の参加	区版指針の作成、他のコーディネーターの取組の共有、研修報告、勉強会等の実施。	毎月1回	7回
生活支援関係研修・講演会への参加	生活支援コーディネーター研修、介護予防研修、地域フォーラム等の研修・講演会への参加	随時開催	4回
地区別データの分析	各地区の高齢化率、人口、インフォーマルサービス等を一覧として整理し、分析を行う		
区役所・区社会福祉協議会との 合同カンファレンス	地域包括支援課3職種、地域活動・交流Co、生活支援Co、区役所、区社協と生活支援についての合同カンファレンス 新型コロナウイルス感染拡大防止の為、8月は中止。	毎月1回	7回
所内5職種会議への参加	地域包括・地域活動・生活支援での合同会議により、各課の情報共有と業務の進捗状況の把握	毎月1回	7回
Ayamu(ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビ)の 入力・編集・公開作業	地域で活動するグループ等の情報の更新、 ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビでの公開作業を行う		
Ayamu(ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビ)、 きらりシニアマップの周知	民生ケアマネ連絡会やケアマネジャーの事例検討会の場で、 ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビやきらりシニアマップの説明を行う		
チームオレンジの活動	横浜市のモデル事業として、認知症の方が安心して自分らしく暮らせる地域づくりに5職種で連携し取り組んでいる。チームオレンジの普及啓発活動を目的として、スターバックスの協力を得て認知症の方などの交流の場となる「Nカフェ」の定期開催、オレンジガーデンの整備、オレンジランプ製作等に取り組んだ。令和7年1月には映画「オレンジランプ」の上映会を実施、同年2月にはその映画のモデルになった、丹野智文氏をお迎えし、認知症の講演会を行い、認知症の普及啓発を行った。		

IV. 居宅介護支援事業 事業報告

令和7年3月末現在

1. サービス利用者数

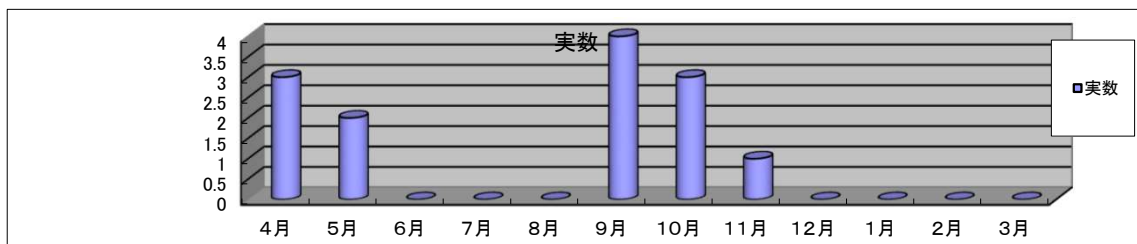
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録数	96	95	92	89	91	89	91	88	90	90	83	80	1074
実数	93	90	85	85	84	86	88	83	86	81	79	77	1017
割合	96.9%	94.7%	92.4%	95.5%	92.3%	96.6%	96.7%	94.3%	95.6%	90.0%	95.2%	96.3%	94.7%
前年実数	86	86	86	84	86	87	87	83	85	86	84	91	1031



2. 新規サービス開始

令和7年3月末現在

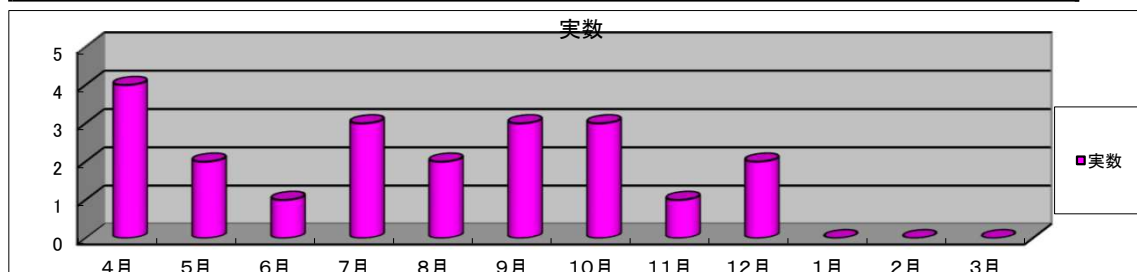
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
依頼	3	2	0	0	2	2	1	0	0	0	0	1	11
実数	3	2	0	0	0	4	3	1	0	0	0	0	13
割合	16.7%	10.0%	10.0%	20.0%	16.7%	10.0%	0.0%	3.3%	3.3%	3.3%	0.0%	6.7%	100.0%



3. サービス利用中止

令和7年3月末現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録数	96	95	92	89	91	89	91	88	90	90	83	80	1074
実数	4	2	1	3	2	3	3	1	2	0	0	0	21

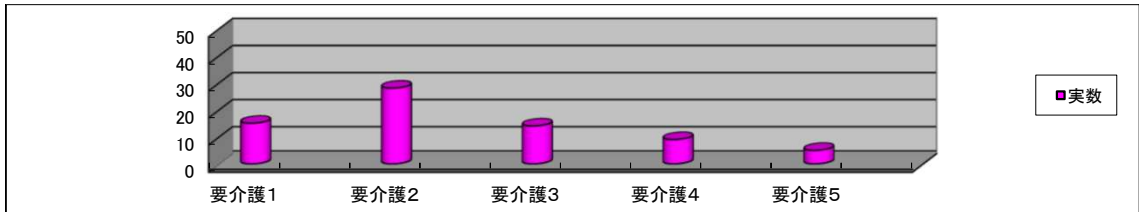


4. 介護度別実績

令和7年3月末現在

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
実数	16	29	15	10	6	76

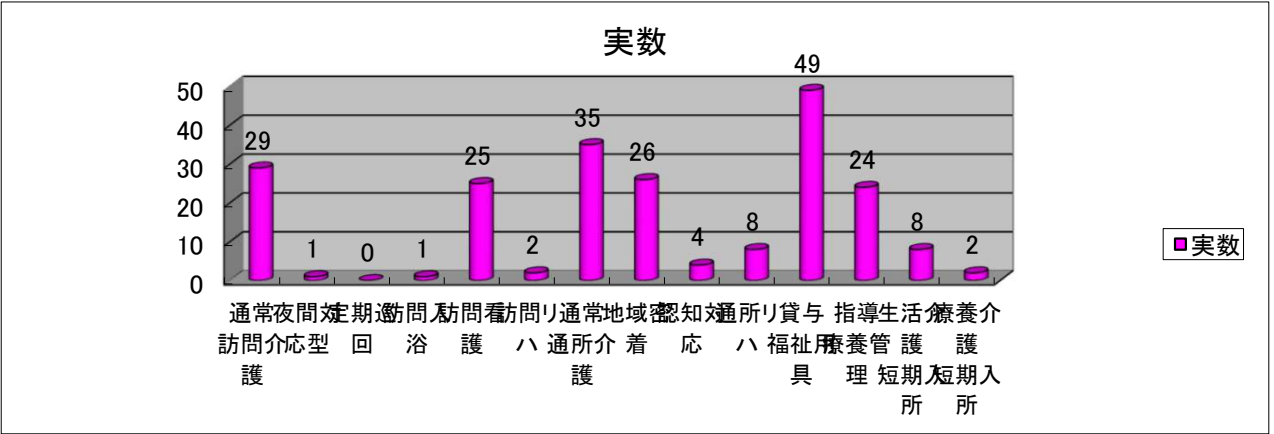
※月末日において認定結果が出ていない方は除いています。



5. サービス種類別分布

令和7年3月末現在

	訪問介護						通所介護				福祉用具貸与	療養管理指導	短期入所生活介護	短期入所療養介護	合計
	通常	夜間対応型訪問介護	定期巡回・随時対応型訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	通常	地域密着型	認知対応型	通所リハビリテーション					
業者数	7	1	1	1	9	2	6	11	2	4	16	17	7	2	86
人数	30	1	2	1	24	2	33	17	3	8	48	30	1	2	202
割合	14.9%	0.5%	1.0%	0.5%	11.9%	1.0%	16.3%	8.4%	1.5%	4.0%	23.8%	14.9%	0.5%	1.0%	100.0%

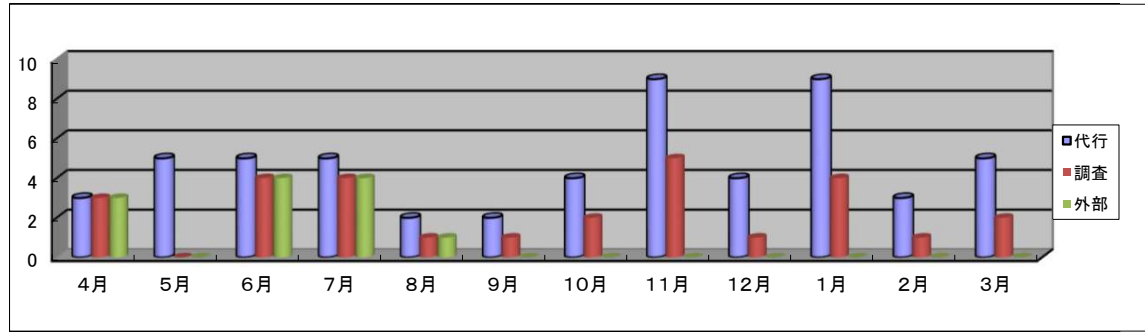


6. 認定調査申請代行件数・認定調査(調査:通常 外部:市外等)実施件数

令和7年3月末現在

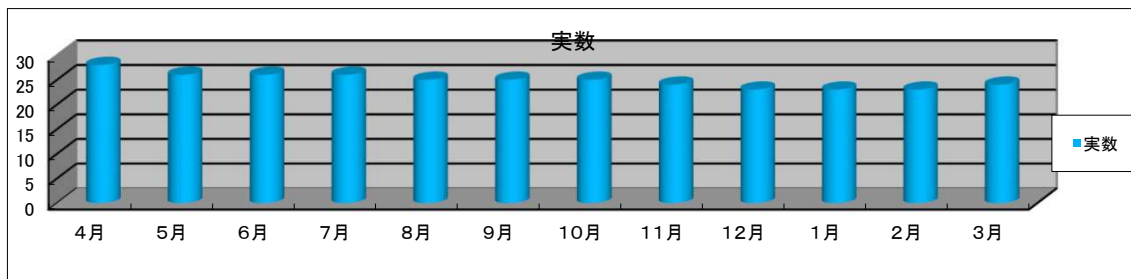
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
代行	3	5	5	5	2	2	4	9	4	9	3	5	56
調査	3	0	4	4	1	1	2	5	1	4	1	2	28
外部	3	0	4	4	1	0	0	0	0	0	0	0	12

申請代行は、担当している件数。認定調査は、担当者分＋地域包括支援課からの依頼分含む。



7. 介護予防利用者実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録数	28	27	27	27	26	25	25	24	23	24	23	24	303
実数	28	26	26	26	25	25	25	24	23	23	23	24	298
割合	100.0%	96.3%	96.3%	96.3%	96.2%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	95.8%	100.0%	100.0%	98.3%
前年実数	26	24	24	23	21	21	21	23	22	22	25	27	279



8. まとめ

○ご利用人数は介護利用者が前年対比約0.15%減、予防利用者は約0.7%増加致しました。5月から兼務2名(うち1名管理者)専従1名のケアマネジャー配置に変更しています。各々の担当バランスに配慮しながら事業実施してまいります。

○昨年度の居宅介護支援事業管理者の介護支援専門員証有効期限切れによる介護報酬の返還を実施致しました。

○令和6年度第28期神奈川県介護支援専門員実務研修生2名受け入れました。

Va. 通所介護事業 事業報告

令和7年3月末現在

本年度は、利用者一人ひとりに合わせたきめ細かいケアの実現と、レクリエーションや機能訓練のプログラムの充実を目標に事業運営を行いました。
通所介護事業所として、介護予防の対象の方には、これからも要介護状態にならないように又、要介護状態の方にも、今の身体状態を維持・向上できるように援助するとともに、地域に居住している高齢者としての交流の場・ゆとりのある入浴・きめ細やかな食事の提供・住み慣れた地域の中でいつまでも自分らしく生活できるように、介護支援専門員との調整を行いサービス提供を行いました。

1 利用実績 (令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日までの実績)

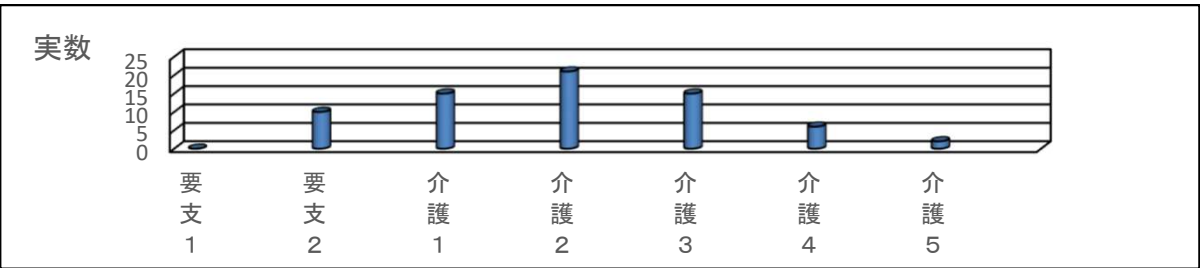
	予防	介護	全体
総利用人数	712名	6180名	6892名
総可動日数	309日	309日	309日
平均利用者人数	2.3名	20名	22.3名

2 申し込み状況 (延べ件数)

申し込み件数 21件 (内訳:介護 18件 予防 3件)
中止件数 16件 (内訳:介護 13件 予防 3件)
理由 ①入所 7件 ②ご逝去 5件 ③体調不良 3件 ③私用 1件

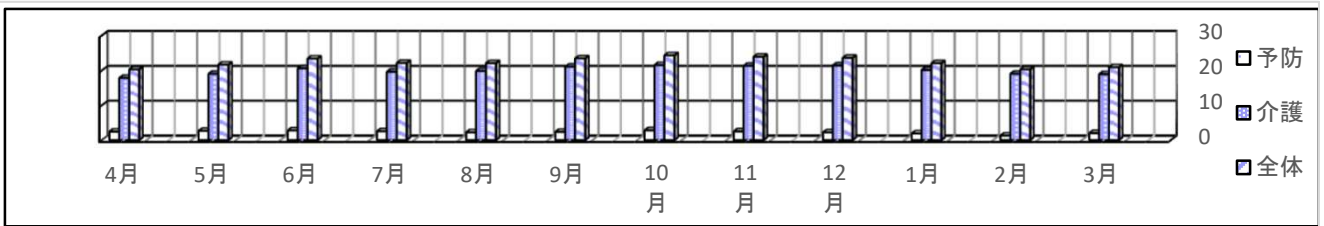
3 要介護度別利用人数と割合

	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
登録	0名	10名	15名	21名	15名	6名	3名	70名
実数	0名	10名	15名	21名	15名	6名	2名	69名
%	0.0%	14.5%	21.7%	30.4%	21.7%	8.7%	2.9%	100.0%



4 月別利用人数と平均

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
予防	63	71	69	68	60	59	75	66	52	46	32	51	712 名	予防
介護	463	513	515	529	535	526	581	555	514	483	474	492	6180 名	介護
全体	526	584	584	597	595	585	656	621	566	529	506	543	6892 名	全体
日	26	27	25	27	27	25	27	26	24	24	25	26	309 日	日
予防	2.4	2.6	2.8	2.5	2.2	2.4	2.8	2.5	2.2	1.9	1.3	2.0	2.30 名	1日平均
介護	17.8	19.0	20.6	19.6	19.8	21.0	21.5	21.3	21.4	20.1	19.0	18.9	20.0 名	1日平均
全体	20.2	21.6	23.4	22.1	22.0	23.4	24.3	23.9	23.6	22.0	20.2	20.9	22.3 名	1日平均
前年人数	495.0	535.0	534.0	532.0	553.0	499.0	548.0	547.0	493.0	491.0	474.0	495.0	6196 名	全体

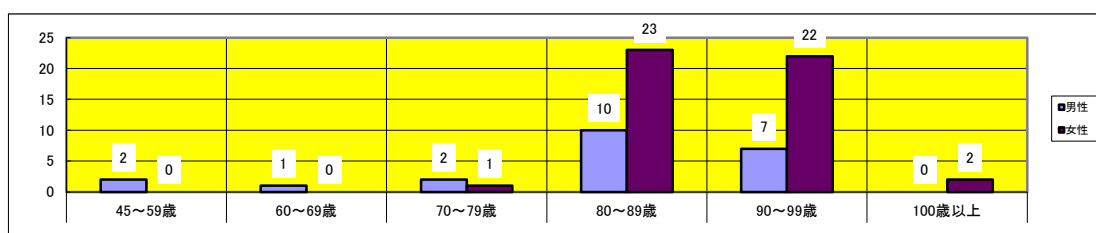


5 町別利用者数 (登録者70名の内訳)

1	常盤台	16名	7	和田	5名	13		名
2	峰沢	10名	8	羽沢南	5名	14		名
3	釜台	9名	9	坂本	3名	15		名
4	上星川	8名	10	峰岡	2名	16		名
5	岡沢	7名	11		0名	17		名
6	鎌谷	5名	12		0名	合計 70名		

6 利用者平均年齢

	男性	女性		男性	女性
最高年齢	96歳	100歳	45～59歳	2名	0名
最低年齢	56歳	78歳	60～69歳	1名	0名
平均年齢	83.9歳	89.2歳	70～79歳	2名	1名
全体の平均	87.6歳		80～89歳	10名	23名
人数構成	22名	48名	90～99歳	7名	22名
			100歳以上	0名	2名



7 依頼居宅支援事業者 (総件数 70件の内訳)

他事業所 40 (19事業所) 自事業所 30 (包括1件)

8 行事

4月	誕生会・レクリエーション	10月	誕生会・レクリエーション・体力測定
5月	誕生会・レクリエーション	11月	誕生会・レクリエーション
6月	誕生会・レクリエーション	12月	誕生会・レクリエーション
7月	誕生会・七夕コンサート・レクリエーション・常小交流	1月	誕生会・レクリエーション・お正月レク
8月	誕生会・夏祭りレク・レクリエーション	2月	誕生会・レクリエーション・節分レク
9月	誕生会・レクリエーション・育和幼稚園敬老交流会	3月	誕生会・レクリエーション

9 まとめ

○令和6年度の延べ利用人数は、前年対比で通所介護は約11%増(696名増)。認知症対応型通所介護は約0.7%増(20名増)となっています。全体としては新規申し込み21件に対して利用中止が16件となっており、新規利用者受付が利用中止者を上回りました。結果として前年対比で延べ利用者数が増加に転じております。更に新規ご利用者の獲得に努めて参ります。

○デイルーム内消毒、換気、マスク着用等、基本的な感染症対策を継続しました。令和7年1月～2月にかけて新型コロナウイルス感染症が蔓延したため、保健所や協力医の助言を得ながら感染対策を実施しました。

○7月七夕コンサート、8月夏祭り、10月体力測定など少しずつイベントを再開致しました。

○介護体験実習、臨地実習等、実習生の受け入れを再開いたしました。

○7月常盤台小学校社会見学、9月育和幼稚園交流会を実施しました。

Vb. 認知症対応型通所介護事業 事業報告

令和7年3月末現在

本年度は、利用者一人ひとりに合わせたきめ細かいケアの実現と、レクリエーションや機能訓練のプログラムの充実を目標に事業運営を行いました。

認知症対応型通所介護(みどりデイサービス)については、個別レクリエーションの充実と職員の認知症ケアに対する理解とスキルアップのための研修に力を入れました。

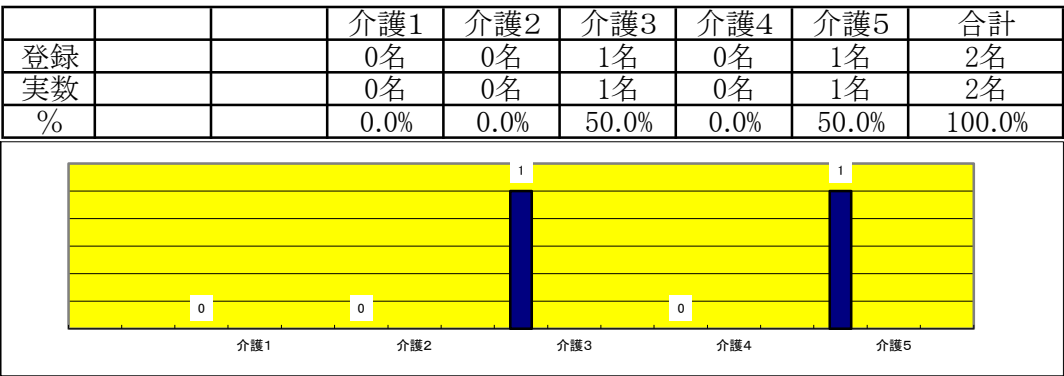
1 利用実績 (令和6年4月1日 ～ 令和7年4月30日までの実績)

	認知
総利用人数	256名
総可動日数	309日
平均利用者人数	0.8名

2 申し込み状況 (延べ件数)

申し込み件数	0件
中止件数	2件
内訳(入所2名)	

3 要介護度別利用人数と割合



4 月別利用人数と平均

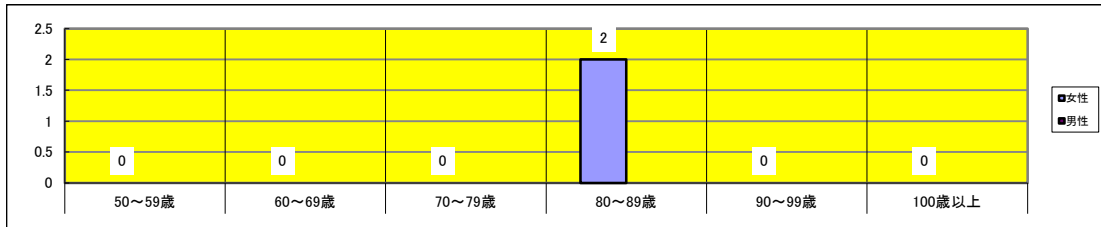


5 町別利用者数 (登録者2名の内訳)

1	鎌谷	1名
2	羽沢南	1名
3		
4		
5		
6		
	合計	2名

6 利用者平均年齢

	男性	女性		男性	女性
最高年齢	0 歳	87 歳	50～59歳	0 名	0 名
最低年齢	0 歳	86 歳	60～69歳	0 名	0 名
平均年齢	0 歳	86.5 歳	70～79歳	0 名	0 名
全体平均		86.5	80～89歳	0 名	2 名
人数構成	0 名	2 名	90～99歳	0 名	0 名
			100歳以上	0 名	0 名



7 依頼居宅支援事業者 (総件数 2件の内訳)

他事業所 0件 (事業所) 自事業所 2件

8 行事

- 4月 誕生会・個別レク(読み聞かせ・ことわざ・手作業)
- 5月 誕生会・個別レク(読み聞かせ・ことわざ・手作業)
- 6月 誕生会・個別レク(読み聞かせ・ことわざ・手作業)
- 7月 誕生会・七夕コンサート・個別レク(読み聞かせ・ことわざ・手作業)・常小交流
- 8月 誕生会・夏祭りレク・個別レク(読み聞かせ・ことわざ・手作業)
- 9月 誕生会・育和幼稚園敬老交流会・個別レク(読み聞かせ・ことわざ・手作業)
- 10月 誕生会・体力測定・個別レク(読み聞かせ・テーブルテニス・手作業)
- 11月 誕生会・個別レク(読み聞かせ・お手玉ターゲット・手作業)
- 12月 誕生会・個別レク(読み聞かせ・風船バレー・手作業)
- 1月 誕生会・すごろく・かるた大会・個別レク(読み聞かせ・ことわざ・手作業)
- 2月 誕生会・節分レク・脳トレ・個別レク(読み聞かせ・ことわざ・手作業)
- 3月 誕生会・脳トレ・個別レク(読み聞かせ・ことわざ・手作業)

9 個別レクリエーション カラオケ・塗り絵・卓球・壁絵作り

10 まとめ

※通所介護のまとめ欄を参照

令和6年度 横浜市保土ヶ谷地域ケアプラザ事業報告

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

＜基本理念＞

- (1) 地域における市民の自主的な福祉活動、保健活動等のための場を提供し、市民の誰もが日常的に相互に支えあい、住み慣れたところで安心して自立した生活が続けられる地域社会の実現に資する。
- (2) 地域住民の方が、生活に関する相談全般について「まずプラザで相談してみよう。」と思われる施設となりたい。

＜運営方針＞

- (1) 利用者を主体としたサービスの提供と生活支援。
- (2) 快適な環境作り。
- (3) 笑顔のもと明るくてきばきとした応対。
- (4) 地域福祉の拠点となるため、自治会・ボランティア団体・学校・社会福祉協議会等との連携、協力をすすめる。
- (5) 地域住民をはじめとした実習生、介護体験、見学者、ボランティアの受け入れを通じて当施設の理解の増進および人材育成の役割を担います。

＜施設全体としての～振り返り～＞

- (1) 横浜型地域包括ケアシステムの実現に向け、多職種の協働により地域課題を抽出し、新たな取組の検討や、地域の方が集まれる居場所づくり等社会資源の創設に取り組みしました。
- (2) 地域の乳幼児から高齢者等に対して、総合相談・支援事業の実施をはじめ、各関係機関との支援ネットワーク構築や関係団体との連携強化、協働作業等の環境づくりを積極的に推進することに努めました。
- (3) 地域支えあいの推進として、地域のインフォーマルサービスの整備と新たな自主事業を展開し、様々な担い手づくり、子育て支援の環境づくり、地域資源の活用に取り組みしました。
- (4) 地域にプラザを再周知すると共に、必要な情報が届けられるよう、様々な媒体の取組みを実施し必要人に的確に支援が届くよう地域との連携・協議の場を拡充し福祉保健活動拠点としての役割に努めました。
- (5) 法人全体の人材不足解決に向け、地域福祉を推進するための環境づくりや課題解決に向けた人材確保と育成を図り職員がやりがいをもって業務を行うことができるよう、今まで以上に法人全体の環境改善に努めました。
- (6) 法人間部門別会議を実施し、法人間連携や困りごとの相談等、風通しの良い環境づくりに努めました。
- (7) 今後、地域ケアプラザに求められる役割の対応として、ケアプラザ内・外での協働・密接な連携が図れる組織体制の構築と機能強化を図り、特に職種間連携に努めました。
- (8) リプラ保土ヶ谷1階地域交流スペースを活用した取組を実施し、施設内のみならず関係機関と連携を図り地域や活動団体と一緒に仕組みづくりに取り組みました。

＜令和7年度上半期に向けた課題＞

- (1) 横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた保土ヶ谷区アクションプランの推進と社会資源の創設に努めます。
- (2) 関係団体との連携強化、協働作業等の環境作りを積極的に推進していきます。
- (3) 様々な世代へ新たな自主事業を展開し、担い手の発掘と地域資源の活用を進めていきます。
- (4) 福祉保健活動拠点として地域へ必要な支援が十分に届けられるよう役割を拡充していきます。
- (5) 全職員が働きやすい労働環境整備と法人全体の人材確保に努めていきます。
- (6) 組織体制のさらなる強化と個々のスキルアップの為に教育体制を整えていきます。
- (7) 関係機関とのネットワークを活かしながら、リプラ保土ヶ谷1階地域交流スペースを活用した更なる取組を実施していきます。
- (8) 地域に集まれる居場所が継続できるように取組を進めていきます。

I. 地域包括支援センター事業 事業報告

令和7年3月末現在

地域包括支援センターは、高齢者の皆様が住み慣れた地域でいつまでも充実した毎日を過ごして頂くために総合的な相談・支援を行う機関であり、3職種にてお互いに連携して日常生活の支援や様々な相談に応じています。事業内容は総合相談支援・権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント、介護予防ケアマネジメント、自主事業を実施しています。各事業毎の実績は以下の通りです。

1. 総合相談・支援事業 (令和6年4月～令和7年3月末日迄の実績)

地域の高齢者等に対して面接、電話等による相談を実施し、必要な支援内容を把握するとともに、地域における適切な機関、制度、サービスの利用に繋げる等の支援を行うほか、相談者からの依頼を受けて必要がある場合に、相談者の自宅等を訪問し、安否確認、情報提供、各種福祉保健サービスの申請受付等に努めています。

相談事業実績 合計 1527 件 前年度(9月末日) 562 件

利用方法別

分 類		手 段			
新規	継続	面接	電話	FAX・その他	訪問
378	1149	252	973	6	296
合計	1527 件	合計 1527			
時 間 帯					
9～17	17～21				
1486	41				
合計	1527 件				

対象者別

自立	申請中	要支援	要介護	その他
135	295	340	342	415

相談者別

本人	家族	民生委員	地域住民	サービス事業者	在宅医療相談室	施設・医療	区役所	区社協	他のケアプラザ	その他
393	715	47	46	212	1	104	96	2	3	26

相談内容別

困りごと等				制度・サービス等						介護・医療				障害関係	苦情	その他
日常生活課題	消費者保護	成年後見制度	虐待	介護保険	介護予防	行政サービス	インフォーマルサービス	入院・施設入所	その他制度・サービス等	BPSD(認知症)	医療(認知症)	介護(認知症以外)	医療(認知症以外)			
391	3	56	1	1054	55	22	67	75	41	119	45	76	125	6	7	168

援助内容

訪問・安否確認	助言	情報提供(制度・行政サービス等、地域情報等)	申請		他機関との調整									傾聴のみ	その他
			介護保険	行政サービス	地域の福祉保健関係等	居宅サービス事業者等	インフォーマルサービス団体	在宅医療連携拠点	施設・医療機関	区役所	区社協	他の地域ケアプラザ	その他		
154	314	752	153	5	4	358	31	4	80	156	4	4	56	113	191

2. 地域ケア会議 (令和6年4月～令和7年3月末日迄の実績)

多職種による個別事例の検討を通じ、高齢者の自立に資するケアプランにつなげていくとともに、個別事例の検討を積み重ねることによって、地域課題を発見し、新たな資源開発につなげていきます。

個別地域ケア会議

開催月	内 容	参加人数
12月16日	高齢者住宅にお住まいで身寄りのない身体障害のある独居の方の支援について	17人
合計	1回	17人

3. 権利擁護事業 (令和6年4月～令和7年3月末日迄の実績)

福祉保健関係者とのネットワークを構築し、支援を要する方を早期発見し相談に繋げられるように体制を整備すると共に、研修に参加し業務遂行に必要な実践的知識・情報の習得に努めています。また、地域の方へ情報を提供しています。

認知症連絡会・虐待担当者会議(保土ケ谷区)

開催月	内 容	参加人数
5月10日	認知症担当者部会(区、包括、区社協)	15人
5月21日	虐待防止事業担当者会議	8人
7月12日	認知症担当者部会(区、包括、区社協)	13人
7月19日	認知症担当者部会認知症講演会打ち合わせ	5人
7月23日	虐待防止事業担当者会議	7人
7月24日	認知症担当者部会認知症講演会打ち合わせ(GrASP)	4人
8月14日	認知症担当者部会認知症講演会リハーサル	13人
8月21日	認知症担当者部会認知症講演会打ち合わせ	5人
8月28日	認知症担当者部会認知症講演会撮影(GrASP)	5人
9月3日	認知症担当者部会認知症講演会打ち合わせ	3人
9月13日	認知症担当者部会(区、包括、区社協)	16人
10月16日	虐待防止事業担当者会議	9人
11月8日	認知症担当者部会(区、包括、区社協)	15人
11月13日	虐待防止事業担当者会議	26人
12月18日	虐待防止事業担当者会議	3人
1月10日	認知症担当者部会(区、包括、区社協)	16人
2月17日	虐待防止事業担当者会議	37人
3月14日	認知症担当者部会(区、包括、区社協)	14人
合計	18回	147人

認知症・権利擁護関係研修

職員が研修に参加し業務遂行に必要な実践的知識・情報の習得に努めています。

開催月	内 容	参加者
7月1日	認知症サポーター養成講座説明会	社会福祉士
7月11日	虐待基礎研修～法律編～	社会福祉士
7月26日	権利擁護ネットワークの実践	社会福祉士
8月22日	キャラバン・メイト養成研修	社会福祉士
10月16日	虐待・拘束研修	社会福祉士
10月21日	相続・遺言・信託の基礎知識研修	社会福祉士
合計	6回	

権利擁護講座・相談会

事業所、地域の方への情報提供、普及啓発、利用促進のための事業です。

開催月	内 容	参加人数

合計	0回	0人

介護者のつどい

地域の方々を対象に介護に関する情報提供や医療に関する勉強会を開催し在宅生活の安定を図ります。

開催月	内 容	参加人数
10月15日	かいつど(参加者それぞれの介護の話)	8人
11月19日	かいつど(チラシの検討)	4人
12月17日	かいつど(さかいリハPT参加:介護者からの相談、今後の内容について検討)	2人
1月21日	かいつど(「介助のコツ講座」講師:さかいリハ林野PT)	4人
2月18日	かいつど(来年度にむけ内容検討)	5人
3月18日	かいつど(「フットケア講座」講師:さかいリハ神澤NS)	8人
合計	6回	31人

4. 包括的・継続的ケアマネジメント事業 (令和6年4月～令和7年3月末日迄の実績)

地域における包括ケア体制の構築のために地域の介護支援専門員を対象とした専門家との相談会、研修会・意見交換会(ケアマネ連絡会、合同ケアマネ連絡会、地域ケア会議)を実施しています。また、地域の方々へ情報発信とは別に介護・医療セミナーを開催しています。

ケアマネ連絡会

開催月	内 容	参加人数
5月15日	区内8包括合同ケアマネ連絡会「高次脳機能障害の症状と支援」	35人
6月13日	保土ケ谷地域ケアプラザ事例検討会「キーパーソンが不在で認知症の視覚障害者の今後をサポートする」	7人
6月19日	区内8包括合同ケアマネ連絡会「2024年度介護保険改正について制度の理解と深めよう」	35人
6月27日	保土ケ谷ケアマネ総会及び研修会「介護保険制度と障害福祉サービス」	42人
7月16日	保土ケ谷地域ケアプラザ民生ケアマネ連絡会「高齢者に多い病気～寝たきりにならない為に～」	41人
9月19日	区内8包括合同ケアマネ連絡会「パーソナリティ障害」	41人
10月23日	保土ケ谷ケアプラザ事例検討会「災害時に多職種で出来ることを考えてみよう」	133人
10月25日	保土ケ谷ケアプラザ事例検討会「訴えの多い利用者支援について」	8人
11月21日	保土ケ谷地域ケアプラザ事例検討会「昼カラオケにまた通えるようにしたい」	9人
12月19日	区内8包括合同主任ケアマネジャー研修「ファシリテーションの理解と実践」	18人
1月15日	区内8包括合同ケアマネ連絡会「介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務研修」	45人
3月11日	保土ケ谷地域ケアプラザ民生ケアマネ連絡会「保土ケ谷地域ケアプラザエリア内インフォーマルサービス紹介」	37人
	12回	451人

サービス担当者会議の開催支援や抱えている困難事例等への相談支援の実施。また新任・就労予定のケアマネジャーが円滑に業務が進められるよう、区単位で実習の受入調整・支援を実施しています。

ケアマネジャー相談支援

月	相談件数	介護保険制度 政サービス情報関連 行	地域情報関連	ケアプランの作成・内容等	相談内容										対応											
					支援困難事例への内訳										対応・他機関との調整											
					認知症	精神疾患	ターミナル	医療的支援	独居・高齢世帯介護力不足	サービス・支援拒否	家族の対応・支援	経済的問題	虐待	成年後見制度・ 者被害	その他	制度・行政サービス等の説明・情報提供	地域情報の提供	ケアプラン・ケアマネジメントの 助言・指導	居宅サービス事業者等	インフォーマル サービス	在宅医療連携拠点（在宅 医療相談室）	施設・医療機関	区役所	その他	同行訪問	その他
4月	13人	3	1	5	2	0	0	0	1	0	0	1	0	3	2	4	1	3	2	0	0	2	1	0	3	6
5月	10人	1	1	3	0	1	0	2	0	0	0	1	0	1	2	4	0	5	1	0	0	2	4	2	2	2

6月	8人	1	0	5	0	0	1	1	1	0	2	1	0	1	2	4	0	5	1	0	0	0	0	1	0	2
7月	15人	2	0	13	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	1	7	0	10	3	0	0	0	2	0	4	2
8月	8人	0	0	6	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	2	0	4	1	0	0	0	1	0	4	6
9月	9人	0	0	6	2	0	0	3	2	0	0	2	0	1	3	1	0	5	2	0	0	1	0	0	0	1
10月	18人	6	0	11	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	9	6	1	9	3	0	0	0	2	2	3	4
11月	13人	6	0	8	1	0	0	0	0	0	3	1	1	1	1	5	2	4	1	0	0	0	2	0	3	0
12月	15人	8	3	10	0	1	1	0	1	1	2	0	0	0	1	1	0	7	2	0	0	0	3	0	4	0
1月	11人	2	3	4	2	1	0	1	1	0	2	3	2	2	1	2	1	6	5	2	0	0	2	1	1	1
2月	15人	1	1	7	2	0	0	0	0	0	2	0	0	1	1	3	0	6	2	1	0	1	1	0	1	1
3月	11人	2	0	8	0	0	0	0	0	2	4	1	0	0	1	2	0	8	3	0	0	0	0	1	1	6
合計	146人	32人	9人	86人	10人	3人	2人	9人	9人	4人	17人	11人	3人	10人	25人	41人	5人	72人	26人	3人	0人	6人	18人	7人	26人	31人

新任・就労予定ケアマネジャー研修

	内 容	参加人数
第1日目	座学(精神保健福祉業務、生活保護制度及び生活困窮者自立支援事業、介護保険外サービスについて等)	19人
第2日目	実習(同行訪問、ケアプラザ(包括支援センター)について)	2人
第3日目	施設紹介及び反町福祉機器センター見学・講義&研修振り返り	12人
合計	3回	33人

地域密着型サービス運営推進会議他

地域密着型サービスの運営推進会議参加、運営状況等確認、アドバイスをを行っています。

開催月	内 容	参加人数
5月27日	天王町グループホームえん運営推進会議	3人
5月27日	天王町ケアホームえん運営推進会議	3人
6月25日	デイサービスコトコト(保土ヶ谷西口、初音ヶ丘)運営推進会議	6人
7月22日	天王町グループホームえん運営推進会議	3人
7月22日	天王町ケアホームえん運営推進会議	3人
9月24日	天王町グループホームえん運営推進会議	3人
9月24日	天王町ケアホームえん運営推進会議	3人
11月25日	天王町グループホームえん運営推進会議	3人
11月25日	天王町ケアホームえん運営推進会議	3人
11月27日	保土ヶ谷区在宅医療相談室下半期運営会議	33人
1月27日	天王町グループホームえん運営推進会議	2人
1月27日	天王町ケアホームえん運営推進会議	2人
3月18日	地域密着型デイサービスレコードブック	2人
3月24日	天王町グループホームえん運営推進会議	3人
3月24日	天王町ケアホームえん運営推進会議	3人
3月25日	フルライフ保土ヶ谷介護・医療連携推進会議	29人
合計	16回	104人

5. 介護予防事業 (令和6年4月～令和7年3月末日迄の実績)

地域において自主的な介護予防に資する活動が広く実施され、地域の高齢者が自ら活動に参加し、介護予防に向けた取組が自主的に実施されるような地域社会の構築を目指して、介護予防に関する活動の普及・啓発と育成・支援を実施しています。

介護予防事業実績

介護予防普及啓発事業 合計 398人

開催日	事業名	種別	参加人数
4月19日	Let's フラ♪	介護予防教室	13人
5月15日	せいいい健康講座	健康教育	13人
5月16日	きらっと！輝きニコニコ塾①	介護予防教室	14人

5月17日	Let's フラ♪	介護予防教室	10人
5月30日	きらっと！輝きニコニコ塾②	介護予防教室	12人
6月13日	きらっと！輝きニコニコ塾③	介護予防教室	13人
6月21日	Let's フラ♪	介護予防教室	9人
6月27日	レーヴいちのや懇談会	健康教育	31人
7月17日	せいいい健康講座	健康教育	24人
7月19日	Let's フラ♪	介護予防教室	10人
8月23日	Let's フラ♪	介護予防教室	8人
9月18日	せいいい健康講座	健康教育	14人
9月20日	Let's フラ♪	介護予防教室	12人
10月18日	Let's フラ♪	介護予防教室	12人
11月15日	Let's フラ♪	介護予防教室	11人
11月20日	せいいい健康講座	健康教育	11人
11月29日	きらっと！輝きニコニコ塾 メガロス天王町③	介護予防教室	12人
12月11日	みんなが気になる尿漏れ予防講座	介護予防教室	24人
12月20日	Let's フラ♪	介護予防教室	12人
1月17日	Let's フラ♪	介護予防教室	8人
1月29日	せいいい健康講座	健康教育	26人
2月18日	五感で楽しむアート体験	介護予防教室	14人
2月21日	Let's フラ♪	介護予防教室	9人
2月23日	リブラまつり2025 健康チェックブース	イベント	25人
3月11日	脳が若返る？！あたまと体のエクササイズ	介護予防教室	22人
3月19日	せいいい健康講座	健康教育	18人
3月21日	Let's フラ♪	介護予防教室	11人
合計	27回		398人

介護予防活動支援事業 合計 101人

開催日	事業名	種別	参加人数
5月22日	スポーツ愛好会活動支援	地域組織の育成・支援	8人
6月20日	ユーアイグループ活動支援	地域組織の育成・支援	5人
5月22日	やってみよう！体力測定①	地域組織の育成・支援	11人
7月10日	やってみよう！体力測定フォローアップ講座	地域組織の育成・支援	6人
7月26日	ユーアイグループ活動支援	地域組織の育成・支援	6人
10月23日	やってみよう！体力測定②	地域組織の育成・支援	8人
11月1日	きらっと！輝きニコニコ塾 メガロス天王町①	地域組織の育成・支援	8人
11月13日	霞台西部自治会 健康講座	地域組織の育成・支援	28人
11月22日	きらっと！輝きニコニコ塾 メガロス天王町②	地域組織の育成・支援	12人
1月23日	帷子町2丁目 慶和会お口の講座	地域組織の育成・支援	9人
合計	11回		101人

6. 介護予防支援、介護予防ケアマネジメント事業（令和6年4月～令和7年3月末日迄の実績）

「要支援1」「要支援2」に認定された方の介護予防支援サービス・支援計画書の作成を実施している。また、業務の一部を居宅介護支援事業者の介護支援専門員に委託できるとなっており、介護予防支援サービス・支援計画書作成委託契約の上、介護予防支援、介護予防ケアマネジメントをお願いし、管理・実施をしています。

介護予防支援、介護予防ケアマネジメント事業実績

指定居宅介護支援事業所に委託している件数 延合計 2742人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	委託利用者数
新規	5	9	9	8	7	8	8	5	6	8	7	7	87
継続	219	218	224	222	228	229	227	225	221	212	215	215	2655
合計	224	227	233	230	235	237	235	230	227	220	222	222	2742

	直 接				委 託				直接	委託	合計
	要支援1		要支援2		要支援1		要支援2				
	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続			
4月	0	0	1	0	2	56	3	163	1	224	225
5月	0	0	0	1	1	56	8	162	1	227	228
6月	0	0	0	1	5	55	4	169	1	233	234
7月	0	0	0	2	2	54	6	168	2	230	232
8月	0	0	0	2	3	57	4	171	2	235	237
9月	0	0	0	2	6	55	2	174	2	237	239
10月	1	0	0	2	4	58	4	169	3	235	238
11月	0	1	0	2	3	60	2	165	3	230	233
12月	0	1	0	2	2	56	4	165	3	227	230
1月	0	1	0	2	5	55	3	157	3	220	223
2月	0	1	0	1	4	60	3	155	2	222	224
3月	0	1	0	1	4	58	5	157	2	224	226
合計	1	5	1	18	41	680	48	1975	25	2744	2769

7. 協力医による相談 (令和6年4月～令和7年3月末日迄の実績)

無料医療相談

年に1～3回程度ケアプラザへ来所して頂き、地域活動交流事業・生活支援体制整備事業、地域包括支援センター事業に関する協力を予定しています。

開催日	区 分	相談内容等	相談人数
合計		0回	0人

8. 自主事業 (令和6年4月～令和7年3月末日迄の実績)

キャラバン・メイト連絡会

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り支援する市民(認知症サポーター)を一人でも多く増やすための普及啓発活動や認知症の人が住み慣れた地域で自立した生活を継続できるサポート体制の構築するための連絡会と講座を開催する予定です。

開催日	内 容	参加人数
9月20日	岩崎&保土ヶ谷地域ケアプラザ キャラバン・メイト連絡会	12人
10月25日	岩崎&保土ヶ谷地域ケアプラザ キャラバン・メイト連絡会	5人
11月15日	岩崎&保土ヶ谷地域ケアプラザ キャラバン・メイト連絡会	7人
12月20日	岩崎&保土ヶ谷地域ケアプラザ キャラバン・メイト連絡会	5人
2月21日	岩崎&保土ヶ谷地域ケアプラザ キャラバン・メイト連絡会	5人
3月21日	岩崎&保土ヶ谷地域ケアプラザ キャラバン・メイト連絡会	6人
合計	6回	40人

認知症サポーター養成講座

開催日	場 所	参加人数
9月11日	認知症サポーター養成講座	13人
9月25日	保土ヶ谷区認知症講演会(認知症サポーター養成講座)	351人
合計	2回	364人

出張講座

地域で行っているサロン等に参加し、ケアプラザが身近な存在であることの周知・啓発を行います。地域包括支援センターの役割を理解して頂き、介護保険制度・介護予防の必要性や取り組み方等、いざに備え安心して生活を送っていただくことを目的に実施しています。

開催日	内 容	場 所	参加人数
6月27日	ケアプラザの説明、夏に気を付けた方がいいこと(レーヴいちのや親睦会にて)	帷子町会館コミュニティルーム	35人
合計	1回		35人

情報啓発等

介護予防、介護保険制度、権利擁護の周知、啓発等

来所が難しい地域住民に対して健康相談、生活相談等を受け、必要な制度資源につなげます。

開催日	内 容	場 所	参加人数
10月26日	ひだまり茶屋(総合相談、情報提供)	リプラ保土ヶ谷地域交流スペース	16人
11月23日	ひだまり茶屋(総合相談、情報提供)	リプラ保土ヶ谷地域交流スペース	10人
1月25日	ひだまり茶屋(総合相談、情報提供)	リプラ保土ヶ谷地域交流スペース	12人
2月22日	ひだまり茶屋(総合相談、情報提供)	リプラ保土ヶ谷地域交流スペース	8人
3月22日	ひだまり茶屋(総合相談、情報提供)	リプラ保土ヶ谷地域交流スペース	11人
合計	5回		57人

Ⅱ. 地域活動・交流事業 事業報告

令和7年3月末現在

地域活動事業は、子どもや高齢者、障がい者等、地域に暮らす全ての人たちが、孤立することなく地域の一員として、自分らしく支え合って暮らせる地域づくりを推進できるよう努めています。住民主体の地域づくりが推進するよう、地域福祉保健計画を軸とした事業展開を行い、子育て、障がい、高齢、ボランティア等の福祉に関する事業を実施します。保土ケ谷地域ケアプラザは6連合地区を担当しておりますが、そのうち4地区は他のケアプラザと協働にて担当しております。駅前という立地にありますが、地域ケアプラザでの実施だけではなく地域に出向いた形での出張講座を地域ケアプラザ主催もしくは関係機関等と共催にて実施し、様々な交流の場を提供致します。また、福祉保健活動拠点としての役割を更に活かすため、地域のボランティア団体・自治会・地区社協との連携を図り、活動団体へ向けた部屋利用促進も図っています。

(1) 地区支援取組状況

第4期地域福祉保健計画地区別計画の推進に向けて、所長および地域包括支援課、地域生活支援課と協働し、区役所、区社会福祉協議会とともに各地域の状況やニーズ把握に努めています。地域住民主体の活動を後押しできるよう、地域住民と地域の目指す姿を共有し、住民主体の地域づくりが更に推進するよう努めています。

地 区	頻度	参 加	内 容
保土ケ谷地区	定例会は 2ヶ月に1回 (その他必要 に応じ随時)	18回	<ul style="list-style-type: none"> ・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・保土ケ谷地区ほっとなまちづくり実行委員会 ・保土ケ谷地区移動販売説明会/打合せ ・みんなでキッチン視察 ・落ち葉感謝祭 ・もみじ祭り
保土ケ谷中地区	定例会は 3ヶ月に1回 (その他必要 に応じ随時)	9回	<ul style="list-style-type: none"> ・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・地区社会福祉協議会定例会 ・保土ケ谷中地区社協ヒアリング ・わかば食堂視察
保土ケ谷南部地区	定例会は 月1回程度 (その他必要 に応じ随時)	30回	<ul style="list-style-type: none"> ・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・地区社会福祉協議会定例会(南部地区社協運営委員会) ・保土ケ谷南部地区社協ヒアリング ・瀬戸ケ谷自治会こども屋台村 ・勉強会チラン作成打合せ ・本陣フレンドシップ祭り ・地区社協コアメンバーヒアリング ・瀬戸ケ谷自治会すいとんの会参加 ・民生委員児童委員ヒアリング ・民生委員児童委員ボッチャ勉強会
保土ケ谷東部地区	役員会は 2ヶ月に1回 (その他必要 に応じて参加)	14回	<ul style="list-style-type: none"> ・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・地区社会福祉協議会役員会 ・ほっとなまちづくり委員会 ・こひつじ食堂視察 ・初音岩崎自治会お祭り ・健康講座
岩間地区	定例会は 毎月1回 (その他必要 に応じ随時)	18回	<ul style="list-style-type: none"> ・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・地区社会福祉協議会定例会 ・まごころホルダー実行委員会(まごころホルダー作業部会) ・ミニ運動会 ・勉強会
岩井町原地区	役員会は不定期 (その他必要 に応じ随時)	13回	<ul style="list-style-type: none"> ・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・みんなの食堂視察 ・岩井町原地区盆踊り大会 ・ほわり(親子の広場)参加 ・運動会 ・いわいっこ冬まつり ・わくワク体操×とくく講座 ・「はまっこ未来カンパニープロジェクト」学習発表会(富士見台小5-3) ・連合炊き出し ・イザ！カエルキャラバン！(富士見台小5-3)

他 地域のつどい 6/21、22 イコットハウス

(2) ネットワーク関係

○(ボランティア連絡会・CM連絡会・介護予防連絡会)

話し合いの場を持ち、問題を解決する方法を模索していくための連絡会です。

開催回数 1 回 参加者 41 名

- ・7月16日:【保土ヶ谷地域ケアプラザ民生ケアマネ連絡会「高齢者に多い病気～寝たきりにならない為に～」】(参加者41名)

○子育て支援連絡会全体会

全体会は区域で子育て支援を行っている施設や団体、個人のネットワークを広げたり、他のエリアの事例を聞き勉強し、地域の子育て支援を実施して行く目的で開催されています。

開催回数 2 回 参加者 240 名

- ・3月7日:【エリア別子育て支援連絡会より取組み発表、講師講演他】(参加者200名)

○岩崎・保土ヶ谷地域ケアプラザエリア子育て支援連絡会

子育て支援連絡会は地域で子育て支援を行っている施設や団体、個人のネットワークを広げ、地域の子育て支援を実施して行く目的で開催されています。

開催回数 2 回 参加者 59 名

- ・7月2日:【子育てアンケートの結果報告、情報シート、グループワーク他】(参加者36名 子ども2名含む)
- ・1月31日:【講師講義、意見交換 他】(参加者23名 子ども1名含む)

○岩崎・保土ヶ谷地域ケアプラザエリア子育て支援連絡会事務局会議

エリアの連絡会に向けての協議や地域状況の共有等を目的とした事務局会議を適宜実施しています。

開催回数 6 回 参加者 48 名

- ・4月26日:【R5年度振り返り他】(参加者8名)
- ・6月18日:【今年度打合せ】(参加者8名)
- ・7月18日:【連絡会講師依頼について】(参加者8名)
- ・9月20日:【連絡会講師との打ち合わせ】(参加者8名)
- ・7月18日:【連絡会講師依頼について】(参加者8名)
- ・2月20日:【振り返り、来年度の方向性他】(参加者8名)

○保土ヶ谷区障害者地域自立支援協議会全体会

障害を持つ方が地域で幸せに暮らしていくために取組を進めていく場として活用されており、様々な部会があり、地域ケアプラザはこども部会とこども余暇部会に所属しています。

開催回数 2 回 参加者 125 名

- ・5月16日:【R5年度振り返り、部会活動報告他】(参加者75名)
- ・10月1日:【部会中間報告、グループワーク他】(参加者50名)

○横浜市要保護児童対策地域協議会 保土ヶ谷実務者会議 岩崎・保土ヶ谷地域ケアプラザエリア

要保護児童等の早期発見や適切な保護や支援を図るため、関係機関が情報共有し、適切な連携の下で対応していく場として活用しております。

開催回数 1 回 参加者 60 名

- ・10月30日:【委員紹介、統計・個別ケース報告、事例検討他】(参加者60名)

(3) 自主事業(当初計画および状況報告)

計 画 事 業 名	実施予定頻度	講 師 など	参加者	内 容
親子のフリースペース	毎月第1水曜日	—	8名	親子の居場所作り、交流の場
知ってて良かった！ 子育てライフプラン講座	7月3日	ファイナンシャルプランナー:大高健太	1組(2名)	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代に向け、教育費等のライフプランの支援 ・親子のフリースペース内での実施とし、キッズスペース 使用また当日参加受入(当日参加なし) ・子育て世代のニーズ調査 ・反省と課題、調査結果より、次年度開催へつながる
リブラ健康体操	毎月第2金曜日	神田三枝子	93名	<ul style="list-style-type: none"> 【生活支援共催】 ・地域住民対象の健康体操 ・9月より開催 全7回

ハロウィンキャンドルナイト	10月26日	—	224名	【協力:アワーズ、キッズハーモニー・ほどがや、KiiTOS CAFÉ、ほわり、富士見台小子育てサロン、パルーンアートボランティア、横浜市住宅供給公社】 ・ケアプラザの周知啓発、夜間イベント開催の効果の調査実施 ・地域との関係性構築のきっかけとなる ・ボランティアの活動の場の提供、今後の活動へ発展 ・牛乳パックとLED電池キャンドル使用(約200個) ・事前に収集した牛乳パックの加工はボランティアを募集 9/12(2名)、9/22(0名)、処理持参(1名) ・キャンドルナイト:17:00～19:00(地域交流スペース) 当日持ち込み参加(50円):4名 ワークショップ:16:00～16:45(多目的ホール) ワークショップ参加(100円):9名
知ってて良かった！ 子育てライフプラン＆0歳からの性教育	3月20日	ファイナンシャルプランナー:大高健太 助産師:宮村佳子	9名	・1部:子育てライフプラン10:30～11:15 2部:0歳からの性教育12:15～12:20 ・キッズスペース用意 ・保育ボランティア(3名)
リブラ健康体操	毎月第2金曜日	神田三枝子	93名	【生活支援共催】 ・地域住民対象の健康体操 ・9月より開催 全7回
みんなで遊ぼう♪	10月2日	柿崎 美也子	22名	【地域包括・生活支援共催】 ・1部:幼児と高齢者交流 10:00～10:45 タンバリンと歌、ボール送りゲーム、冠作成 2部:高齢者対象 10:55～11:35 フレイル予防(歌いながら指運動、体操、トーンチャイム他)
秋の芸術祭	11月30日	ワークショップ 加藤 友美	参加者:21名 ワークショップ参加者:7名	【生活支援共催】 ・10:00～13:00 多目的ホール(団体作品展示、活動の様子を動画鑑賞) お茶、珈琲を無料フリードリンクにて提供 ・10:00～11:30 ボランティアルーム(ワークショップ) ・事前に調理室にて団体Ⅱの方に作成いただいたクッキー(先着25名)を配布 ・12/20まで作品は廊下へ展示
わくワク体操×とくトーク講座 11	12月4日	神田 三枝子	7名	【生活支援共催】 ・13:30～15:00 (岩井原会館) ・岩井町原地区における住民の健康意識の向上を図る。 ・保健活動推進員を中心に、住民主体で継続に活動

(4) 他ケアプラザ、関係機関等との共催事業(当初計画および状況報告)

計画事業名	実施日・実施予定日	参加者	内 容
ほっとフレンズ2024夏及び ボランティア研修	7月28日	16名	【共催:区内地域ケアプラザ、区社協、保土ヶ谷支援学校、ほどがや地域活動ホームゆめ、上菅田特別支援学校、保土ヶ谷区役所、保土ヶ谷区基幹相談支援センター、児童家庭支援センターゆめのね、地域活動ホームほどがや希望の家】 ・障害児に「新たな出会いの場」「生活経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供 ・障害に理解ある地域のボランティアや学生の育成 ・関係諸学校及び団体との協力関係を深め、障害児の支援における地域ネットワークの形成

			<p>・本事業の周知、報告及び地域ボランティア募集等を通じて、地域の方々の障害福祉に対する理解をより深めていただく機会を提供</p> <p>【実施内容】ほっとフレンズ実行委員会での共同開催。区内に在住・在学のハンディのある小学生～高校生の子と保護者を対象に運動会と名打ち身体を動かす楽しさを得る機会を設けながら</p>
福祉教育受け入れ	5月21日	35名	<p>富士見台小学校5年生</p> <p>・小学校とケアプラザの機能比較、ユニバーサルデザイン・パイアフリー、福祉避難所について説明及び施設見学を実施</p>
ほっとフレンズ2024春及びボランティア研修	3月23日	19名	<p>【共催：区内地域ケアプラザ、区社協、保土ヶ谷支援学校、ほ도가や地域活動ホームゆめ、上菅田特別支援学校、保土ヶ谷区役所、保土ヶ谷区基幹相談支援センター、児童家庭支援センターゆめのね、地域活動ホームほ도가や希望の家】</p> <p>・ほっとフレンズ実行委員会での共同開催。区内に在住・在学のハンディのある小学生～高校生の子と保護者を対象に、「ボッチャを楽しむ」テーマで、余暇支援を実施</p> <p>・地域への障害理解、地域のボランティアとの関係構築ができるよう、参加者にボランティアが付き添い、一緒に楽しむ活動となった</p> <p>・ボランティア説明会・研修：3月1日 実施日：3月23日</p>
みんなのあったまり場 ひだまり茶屋	10月26日 11月23日 1月25日 2月22日 3月22日	57名	<p>【地域包括・生活支援、横浜住宅供給公社、KiTOS CAFÉ共催 協力：いわまワークス、ほ도가や地域活動ホーム ゆめ、ハンディジャンプ保土ヶ谷】</p> <p>・地域住民が主体的に参加し、お互いを理解し交流を図る場、認知症や障害の当事者やご家族が過ごせる心の居場所づくり</p> <p>・障害事業所の販売参加および周知啓発</p> <p>・冒頭10～15分に活動団体による発表（アコーディオン、ギター演奏、手品、ウクレレ演奏、落語所作、手品他）</p>
プレパパ・プレママ 沐浴体験	11月9日～ 第2土曜日	71名	<p>【共催：こっころサテライト、協力：キッズハーモニー・保土ヶ谷】</p> <p>11月から3月 第2土曜日 13:30～15:00 多目的ホール開催 (11/9、12/14、1/11、2/8、3/8)</p> <p>・8組募集</p> <p>・2班各4組に分け、沐浴体験・妊婦ジャケット・キッズハーモニー見学を行う</p> <p>・アンケート実施、講座のお知らせの周知</p> <p>・講師：助産師 栢山 理子</p> <p>・次年度も引き続き開催へつながる</p>
よろず相談会	11月30日	4名	<p>【共催：地域包括、生活支援、保土ヶ谷区基幹相談支援センター】</p> <p>・リプラ保土ヶ谷1F地域交流スペースにて、地域ブース・高齢ブース・障害ブースにて相談対応 13:30～15:00</p> <p>・予約優先、当日参加可（事前予約1名、他当日3名）</p> <p>・相談者2名 精神障害の方</p> <p>・専門機関と地域の現状把握を共有し、来年度も引き続き開催へつながる</p>
リプラまつり2025	2月23日	4名	<p>【協力：横浜市住宅供給公社、地域交流スペース管理運営協議会】</p> <p>・地域の方々と連携イベントを開催</p> <p>・リプラ保土ヶ谷及び地域ケアプラザのさらなる普及、啓発を努めるとともに、模擬店の出店、貸館団体（演奏団体）出演、健康チェック、ほっとなまちづくり周知啓発、工作ワークショップ、ウクレレ体験ワークショップを実施</p> <p>ワークショップ講師：レザークラフト体験（世良田諭喜） ウクレレ体験（平田裕子）</p>

(5)後方支援事業

自主事業等から発足した団体等の後方支援を行い、活動団体運営の安定化を図っております。

(6)広報紙の発行

発行回数 毎月発行 発行部数 1400部/月
自主事業のパンフレットは、近隣自治会の掲示板の掲示や近隣施設にも配架しております。

又、事業参加者募集に関しては、区の広報誌にも掲載依頼を行っております。

(7) 貸し館状況

・件数実績 (R6.4-R7.3)

部屋別 四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計
多目的ホール	135件	143件	156件	148件	582件
調理室	11件	9件	15件	12件	47件
ボランティア室	86件	110件	110件	100件	406件
地域ケアルーム	99件	85件	102件	107件	393件
合計	331件	347件	383件	367件	1428件

・利用率 (R6.4-R7.3)

時間帯 部屋別	多目的ホール	調理室	ボランティア室	地域ケアルーム
9-12時	50%	5%	27%	25%
12-15時	70%	5%	42%	44%
15-18時	40%	3%	43%	42%
18-21時	10%	1%	6%	3%

※小数点以下四捨五入

(8) ボランティア関係

・個人ボランティア登録 1件 ・団体ボランティア登録 0件

(9) その他 取組状況

項目名	頻度	参加	内容
地域活動・交流Co連絡会	毎月1回	12回	保土ヶ谷区8ケアプラザコーディネーターとの情報共有、共催開催についての協議・検討、研修会等の実施（12月11日仏向CPにて福祉避難所研修後に実施）
ほっとフレンズ実行委員会	4月10日 5月8日 6月13日 7月10日 9月11日 10月9日 11月13日 1月8日 2月12日 3月12日	10回	・障害児余暇支援及びネットワーク構築のために実施するほっとフレンズのための実行委員会やその事前打ち合わせを実施 ・8月、12月は実施なし
港南区保土ヶ谷区地域Co交流会	2月13日	1回	【保土ヶ谷区社会福祉協議会、港南区社会福祉協議会、保土ヶ谷区8ケアプラザ、港南区10ケアプラザ】 ・人口や地形、高齢者率等が似ている港南区と保土ヶ谷区の地域活動・交流コーディネーターと交流を図り、情報共有やグループワークを実施（港南区役所） ・打合せ:8/13 振り返り:3/4(港南区社協)

(10) その他 研修

- 令和6年度横浜市地域ケアプラザ施設マニュアル説明会
- ・5月14日 横浜市福祉保健センター
- 第5期 横浜市地域福祉保健計画研修
- ・6月7日 横浜市健康福祉総合センター
- 令和6年度保土ヶ谷ほとなまちづくり 新任地区支援チーム職員説明会
- ・5月9日 保土ヶ谷区役所
- 令和6年度保土ヶ谷ほとなまちづくり支援チーム研修
- ・6月27日 保土ヶ谷公会堂

- 令和6年度横浜市地域ケアプラザコーディネーター共通研修(基礎編:全7回)
 - ・5月27日 ウィリング横浜
 - ・6月12日 ウィリング横浜
 - ・7月4日 ウィリング横浜
 - ・8月2日 ウィリング横浜
 - ・9月9日 ウィリング横浜
 - ・9月17日 波止場会館
 - ・10月10日 ウィリング横浜
- 令和6年度よこはまシニアボランティアポイント事業 講師認定研修会
 - ・8月1日 磯子公会堂
- 令和6年度生涯学習支援研修「ファシリテーション・グラフィック」
 - ・6月20日 eラーニング(動画視聴)
- 令和6年度保土ケ谷区自立協・相談支援部会「意思決定支援」勉強会
 - ・7月26日 保土ケ谷区役所
- 活動が一目でわかる広報紙の作り方講座(保土ケ谷地区社協・南部地区社協参加のため)
 - ・7月31日 保土ケ谷区福祉保健活動拠点かるがも
- 第9回よこはま地域福祉フォーラム
 - ・12月5日 横浜関内ホール
- 令和6年度 地域交流研究会研修「コーディネーター学校とつながろう！SSWさん教えて！学校のこと、こどものこと」
 - ・11月29日 日本丸メモリアルパーク
- 令和6年度 横浜市西部地域若者支援セミナー・相談会 不登校やひきこもりの状況と支援を知る
 - ・11月14日 保土ケ谷区役所
- 令和6年度 保土ケ谷区障害者地域自立支援協議会 こども部会
 - 「障害児に関する児童虐待と現状と支援について」
 - ・11月27日 保土ケ谷区役所
- 地域交流研究会 研修班「こどもまんなか社会にむけて～地域ケアプラザにも求められるもの～」
 - ・1月20日 ウィリング横浜

Ⅲ. 生活支援体制整備事業 事業報告

令和7年3月末現在

担当区域の地区社協定例会や支援チーム会議、区社協主催の地区社協ヒアリングには極力参加し、其々の地区の特徴などの把握を実施しました。把握した状況は、アセスメントシートに落とし込み既存のデータの更新を行いました。

「交流・居場所作り」の視点から自主事業を企画・実施、「介護予防」の視点から保健師と共催の事業に参加いたしました。更に、近隣の聖隷横浜病院と保健師と共催で、地域住民への疾病に関する正しい知識の普及と健康増進に向けた健康講座を開催いたしました。

また、昨年度に引き続き地域の方々に向けケアプラザ周知を目的とし、保土ケ谷駅周辺の郵便局・薬局・病院へ広報誌の配架を実施しました。

今年度は貸館団体を中心に横浜市のWebサイト上に活動情報掲載の依頼を実施、幾つかの団体が情報提供を行っていただきました。また、ケアプラザ以外を拠点としている住民の通いの場への視察を行いました。

(1) 自主事業(生活支援課共催事業【他事業所共催含】)

事業名	実施日	講師など	参加者	内 容	開催
保土ケ谷の歴史を知ろう	9月7日 10月13日 11月2日	近藤 博昭	7名 6名 6名	3回に渡り保土ケ谷の宿場や歴史をもっと知っていただく。参加者の方々には地域に関心を持っていただき、地域で活動していただける人材の発掘を試みた。	生活支援自主
リプラ健康体操	9月13日 10月11日 11月8日 12月13日 1月10日 2月14日 3月14日	神田三枝子	15名 15名 14名 13名 11名 14名 11名	地域住民対象の健康体操。	地域活動交流 共催
せいれい健康講座	5月15日 7月17日 9月18日 11月20日 1月29日 3月19日	聖隷横浜病院 所属専門職など	13名 24名 14名 11名 26名 18名	地域住民への疾病に関する正しい知識の普及と健康増進に向けた健康講座を開催。	聖隷横浜病院・ 地域包括支援 センター 共催
Let's フラ♪	4月19日 5月17日 6月21日 7月19日 8月23日 9月20日 10月18日 11月15日 12月20日 1月17日 2月21日 3月21日	寺田 まり子	13名 10名 9名 10名 6名 11名 12名 11名 12名 8名 9名 10名	地域住民が楽しみながら運動し、仲間づくりができる。高齢者に対しては介護予防・認知症予防の効果も狙う。次年度から自主化となる。	地域包括支援 共催
若生会3B体操	4月16日 5月21日 6月18日 7月16日 9月3日	臼井 みさ	8名 9名 7名 3名 10名	講師の指導による若生会会員の3B体操。下期からは団体の自主化となった。	若生会共催
やってみよう！体力測定	5月22日	林野翔太	12名	リハビリテーション専門職派遣を利用し、講師より体力測定の実施方法や自宅でできる体力・筋力アップのトレーニングを学んだ。	地域包括支援 共催

やってみよう！体力測定 フォローアップ講座	7月10日	林野翔太	6名	第1回「やってみよう！体力測定」で指導した運動の自宅での実施状況を確認し、再度運動の指導を行う。 また、実施に対する疑問点があれば、講師より説明、指導していただいた。	地域包括支援 共催
みんなで遊ぼう♪	10月2日	柿崎美也子	22名 未就園児と親子 の高齢者交流 (16名) 高齢者のみ (6名)	未就園児と高齢者の多世代交流。世代間交流を通し未就園児の親子には、高齢者に対する「支え合い」の気持ちの醸成、高齢者には、自身の役割と介護予防と社会参加を目的とし開催した。	地域活動交流 地域包括支援 共催
わくワク体操× とくトーク講座11	12月4日	神田三枝子	7名	岩井町原地区の住民を対象とした、 保健活動推進員による健康体操	岩井町原地区保健活 動推進員 地域活動交流 共催
秋の芸術祭	11月30日	ワークショップ 加藤 友美	参加者21名 ワークショップ 参加者 7名	地域の皆さまにケアプラザを知ってもらう。貸館団体の日頃の作品や活動内容をお披露目する場を設けることで、作品作りや活動への意欲を高めていただいた。貸館団体の方に多世代交をも兼ね絵画のワークショップを開催いただいた。	地域活動交流 共催
リプラまつり2025	2月23日	工作ワークショップ (世良田諭喜) ウクレレ体験ワーク ショップ (平田裕子)	約400名	地域の方々と連携しイベントを開催し、リプラ保土ヶ谷及び地域ケアプラザのさらなる普及、啓発につとめた。模擬店の出店、貸館団体(演奏団体)出演、健康チェック、ほっとなまづくり周知啓発、工作ワークショップ、ウクレレ体験ワークショップを実施した。	保土ヶ谷地域ケ アプラザ主催
ひだまり茶屋	10月26日 11月23日 1月25日 2月22日 3月22日	アコーディオン・ギターの演奏 手品(地域住民) ウクレレ演奏(貸館団体)/ 落語所作 手品(地域住民) ウクレレ演奏(地域 住民)	16名 10名 12名 8名 11名	地域住民が主体的に参加し、相互に情報を共有しながら、お互いを理解し合うきっかけづくり。住民同士のふれあいを通じて、利用される方々の生きがいや心の居場所、仲間の輪を広げる拠点となる。認知症の当事者・家族・支援者だけでなく、あらゆる人が、属性や障害にとらわれず、過ごせる居場所となる。どんな人も自分のペースに合わせて参加でき、「人」がつながることを目的とする。社会活動参加の機会とする。 参加者の方々の集まるきっかけ作りや地域貢献を目的に、貸館団体や地域住民の方々に開催冒頭に演奏や得意な芸などをお披露目いただいた。	地域活動交流 地域包括支援 共催
よろず相談会	10月26日	-	4名	地域生活支援課と地域活動事業課が「地域ブース」を、地域包括支援課が「高齢ブース」を、保土ヶ谷区基幹相談支援センターが「障害ブース」を担当し、地域の方の相談を受ける。必要に応じ、適切な機関や窓口を紹介した。	保土ヶ谷区基幹相談 支援センター地域活 動交流 地域包括支援 共催

(2) 地域活動・団体立ち上げ・継続支援(保土ヶ谷地域ケアプラザ以外での活動等)

団体・活動名	地区	運営	対象	内 容	支援
まごころホルダー	岩間地区	岩間地区 社会福祉協 議会	岩間地区	まごころホルダー(見守りキーホルダー)の継続から運営までを支援	継続支援 運営支援
移動販売 (東伸ふれあい公園)	保土ヶ谷地区	東伸自治会 保土ヶ谷地区社会福祉協 議会	主として 東伸自治 会エリア	移動販売を自治会で開始することとなった。支援チームは住民が主体となり買い物困難への課題解決への取組を遂行できるような協力体制を取っている。	団体立ち上げ 継続支援 運営支援

(3) 地区支援取組状況

担当する6地区の会議等に参加し、地域のニーズや目指す方向性の確認、検討を行っております。

地 区	頻度	参 加	内 容
保土ヶ谷地区	定例会は 2ヶ月に1回 (その他必要 に応じ随時)	18回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・保土ヶ谷地区ほっとなまづくり実行委員会 ・保土ヶ谷地区移動販売説明会/打合せ ・みんなでキッチン視察 ・落ち葉感謝祭 ・もみじ祭り
保土ヶ谷中地区	定例会は 3ヶ月に1回 (その他必要 に応じ随時)	9回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・地区社会福祉協議会定例会 ・保土ヶ谷中地区社協ヒアリング ・わかば食堂視察
保土ヶ谷南部地区	定例会は 月1回程度 (その他必要 に応じ随時)	30回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・地区社会福祉協議会定例会(南部地区社協運営委員会) ・保土ヶ谷南部地区社協ヒアリング ・瀬戸ヶ谷自治会こども屋台村 ・勉強会チラシ作成打合せ ・本陣フレンドシップ祭り ・地区社協コアメンバーヒアリング ・瀬戸ヶ谷自治会すいとんの会参加 ・民生委員児童委員ヒアリング ・民生委員児童委員ポッチャ勉強会

保土ヶ谷東部地区	役員会は 2ヶ月に1回 (その他必要に 応じて参加)	14回	<ul style="list-style-type: none"> ・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・地区社会福祉協議会役員会 ・ほっとなまちづくり委員会 ・こひつじ食堂視察 ・初音岩崎自治会お祭り ・健康講座
岩間地区	定例会は 毎月1回 (その他必要 に応じ随時)	18回	<ul style="list-style-type: none"> ・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・地区社会福祉協議会定例会 ・まごころホルダー実行委員会(まごころホルダー作業部会) ・ミニ運動会 ・勉強会
岩井町原地区	役員会は不定 期(その他必要 に応じ随時)	13回	<ul style="list-style-type: none"> ・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・みんなの食堂視察 ・岩井町原地区盆踊り大会 ・ほわり(親子の広場)参加 ・運動会 ・いわいっこ冬まつり ・わくワク体操×とくく講座

(4) 生活支援取組状況

生活支援関係のニーズ把握や、地域との関係作りの為、下記の取組を行って参りました。
また、地域包括支援センター、地域活動交流事業と連携を図り、地域からの講座依頼等には、積極的に協力をしております。6地区担当をメリットと捉え、他地区の情報や知識を活かしながら、活動しております。

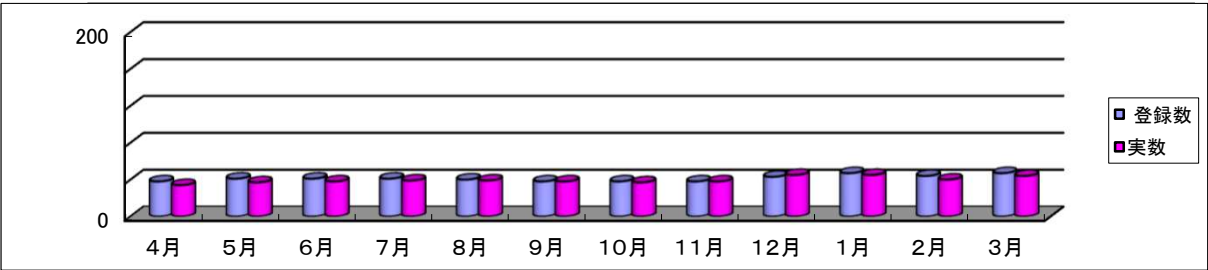
参加項目名	内容	頻度	参加
生活支援Co連絡会の開催	他のコーディネーターの「生活支援・通いの場・見守り」の取組や移動販売導入地区の生活支援コーディネーターの関りの情報交換、研修報告などを実施。	毎月1回	11回 (1月開催無)
地域の取組への参加	地域食堂の視察、お祭り等への参加。近隣小学校の福祉教育の実施 ・住民の通いの場の視察:ふれあいカフェ(保土ヶ谷地区)/健康麻雀・カラオケ愛好会・いわい会(岩井町原地区)	随時開催	必要に応じて
研修及び学習会、講座への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援コーディネーターオンライン応用研修 ・ほっとなまちづくり支援チーム研修 ・移動支援制度改正の学習会 ・キャラバンメイト養成研修 ・チランづくりの講座 ・第1回生活支援体制整備事業研修 ・チームオレンジ事業説明/報告会 ・BCPシミュレーション研修 ・JAGES研修 ・地区概況シート勉強会(活用編) ・よこはま地域福祉フォーラム/分科会2 	随時開催	11回
区役所・区社会福祉協議会との合同カンファレンス	地域包括支援課3職種、地域活動・交流Co、生活支援Co、区役所、区社協と生活支援についての合同カンファレンス	毎月1回	12回
コーディネーター会議への参加	地域活動事業課と合同で開催。貸館団体/CP事業内容の共有や業務内容の検討など。また、運営委員会の情報共有。	毎月1回	12回
所内6職種会議への参加	地域包括・地域活動・生活支援での合同会議により、各課の情報共有と業務の進捗状況の把握	毎月1回	12回
民生ケアマネ連絡会参加	介護支援専門員と民生委員との連携強化及び情報交換、ネットワーク支援。介護支援専門員と民生委員の方々に、状況に応じて担当の利用者の方々などへインフォーマルサービスを紹介していただくための情報の提供を行った。	3月11日	1回

IV. 居宅介護支援事業 事業報告

令和7年3月末現在

1. サービス利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録数	38	41	41	41	40	38	38	38	43	47	44	47	496
実数	34	37	38	39	39	38	37	38	45	45	40	44	474
割合	89.5%	90.2%	92.6%	95.1%	97.5%	100.0%	97.3%	100.0%	104.6%	95.7%	90.9%	93.6%	95.6%
前年実数	22	28	36	39	41	40	41	41	39	34	33	34	428

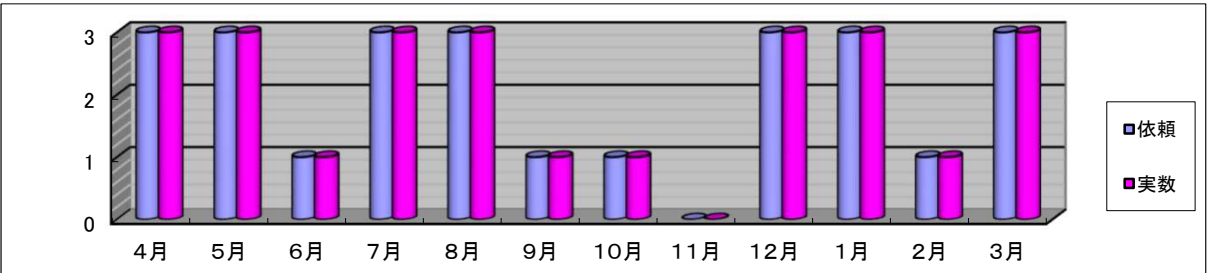


2. 新規サービス開始

令和7年3月末現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
依頼	5	4	1	6	3	1	1	0	5	5	1	3	35
実数	5	4	1	6	3	1	1	0	5	5	1	3	35
割合	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

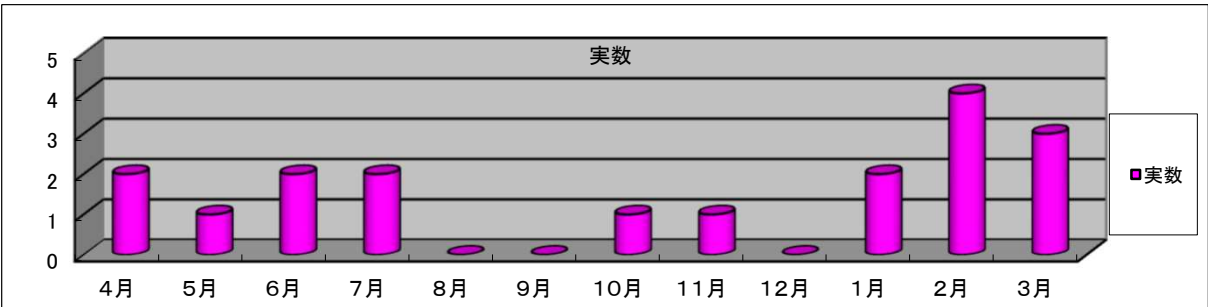
担当件数は、介護給付35件、予防給付8件とします。入院・入所者等の状況に合わせて件数を調整します。



3. サービス利用中止

令和7年3月末現在

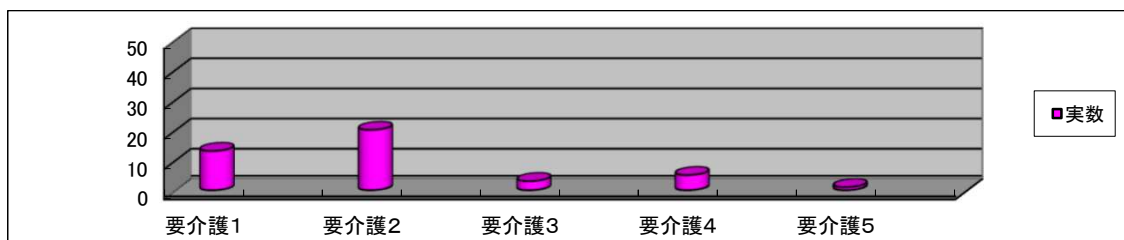
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録数	38	41	41	41	40	38	38	38	43	47	44	47	496
実数	2	1	2	2	0	0	1	1	0	2	4	3	18



4. 介護度別実績

令和7年3月末現在

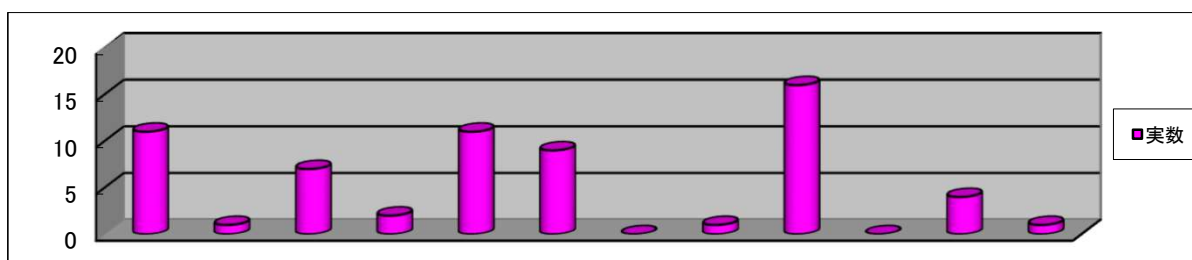
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
実数	14	21	4	6	2	47



5. サービス種類別分布

令和7年3月末現在

	訪問介護	訪問入浴	訪問看護	訪問リハ	通所介護	通所地域	通所認知	通所リハ	福祉用具	療養管理	短期入所生活介護	短期入所療養介護	合計
業者数	11	1	7	2	11	9	0	1	16	0	4	1	63
実数	11	1	7	2	11	9	0	1	16	0	4	1	63
割合	17.5%	1.6%	11.1%	3.2%	17.5%	14.3%	0.0%	1.6%	25.4%	0.0%	6.3%	1.6%	100.0%

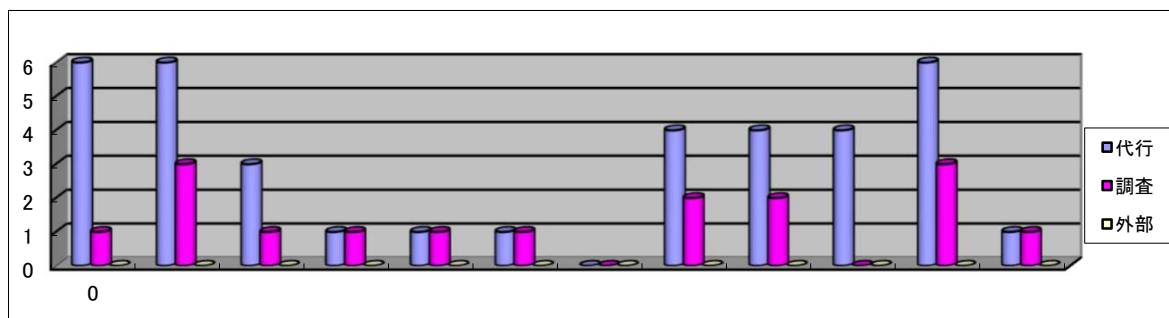


6. 認定調査申請代行件数・認定調査(調査:通常 外部:市外等)実施件数

令和7年3月末現在

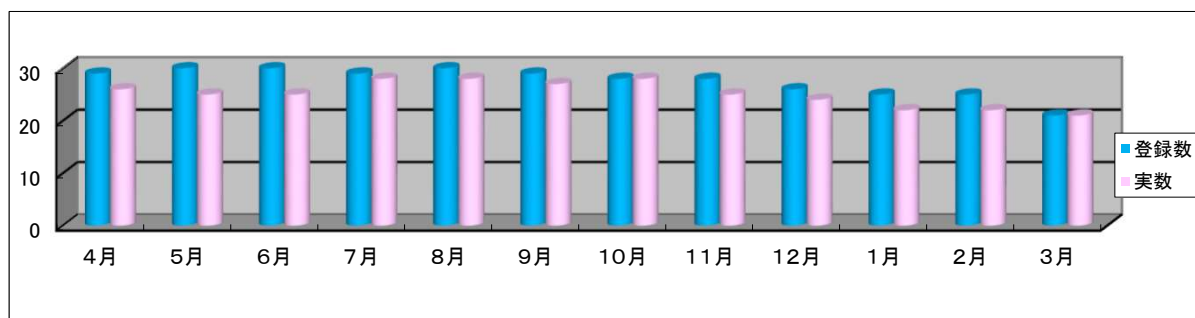
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
代行	6	6	3	1	1	1	0	4	4	4	6	1	37
調査	1	3	1	1	1	1	0	2	2	0	3	1	16
外部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

申請代行は、担当している件数です。認定調査は、担当者分＋地域包括支援課からの依頼分含みます。



7. 介護予防利用者実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録数	29	30	30	29	30	29	28	28	26	25	25	21	330
実数	26	25	25	28	28	27	28	25	24	22	22	21	301
割数	89.7%	83.3%	83.3%	96.6%	93.3%	93.1%	100.0%	89.2%	92.3%	88.0%	88.0%	100.0%	91.2%
前年実数	11	15	15	15	16	17	19	18	19	21	23	24	213



8. まとめ

開所して二年、地域に根差すケアマネジメントを心がけ日々頑張っています。
 昨年と同様にケアマネジメントの依頼は主に地域包括支援センターから受けています。
 要介護の認定で更新後、要支援に認定される方が増えています。
 また、ご夫婦で認定を受け介護保険を利用開始されるケースが多くなっています。

風邪など感染予防対策を行い引き続き自宅訪問をしております。
 感染予防から外出を控え体力筋力が低下してしまった方や認知症が進行してしまった方が多く
 おります。

認定調査は、更新申請後認定調査に伺い聞き取り内容をまとめて提出させていただいています。
 一人一人の更新に合わせる調査の為、月により認定調査数は増減があります。
 医師の意見書と認定調査による聞き取り調査の内容が認定審査会で相違がないよう
 ご本人やご家族の認識の違いなども考慮しつつ正しい認定が下されるよう丁寧な調査を心がけて
 います。要介護度別に見ると、要介護1・2が多く、要介護4・5は入院、入所になり人数は減少
 しています。

支援困難、介護の負担の大きい利用者支援のため、スキルアップや業務の効率化を図れるように
 しています。月1回の会議を行い、各ケースの把握や困難ケースへの対応について情報共有し、
 3ケアプラザ居宅介護支援課の合同会議を行い制度改正などに対応すべく協議を重ねています。
 1年を通じてスキルアップを心掛け研修へ参加しています。